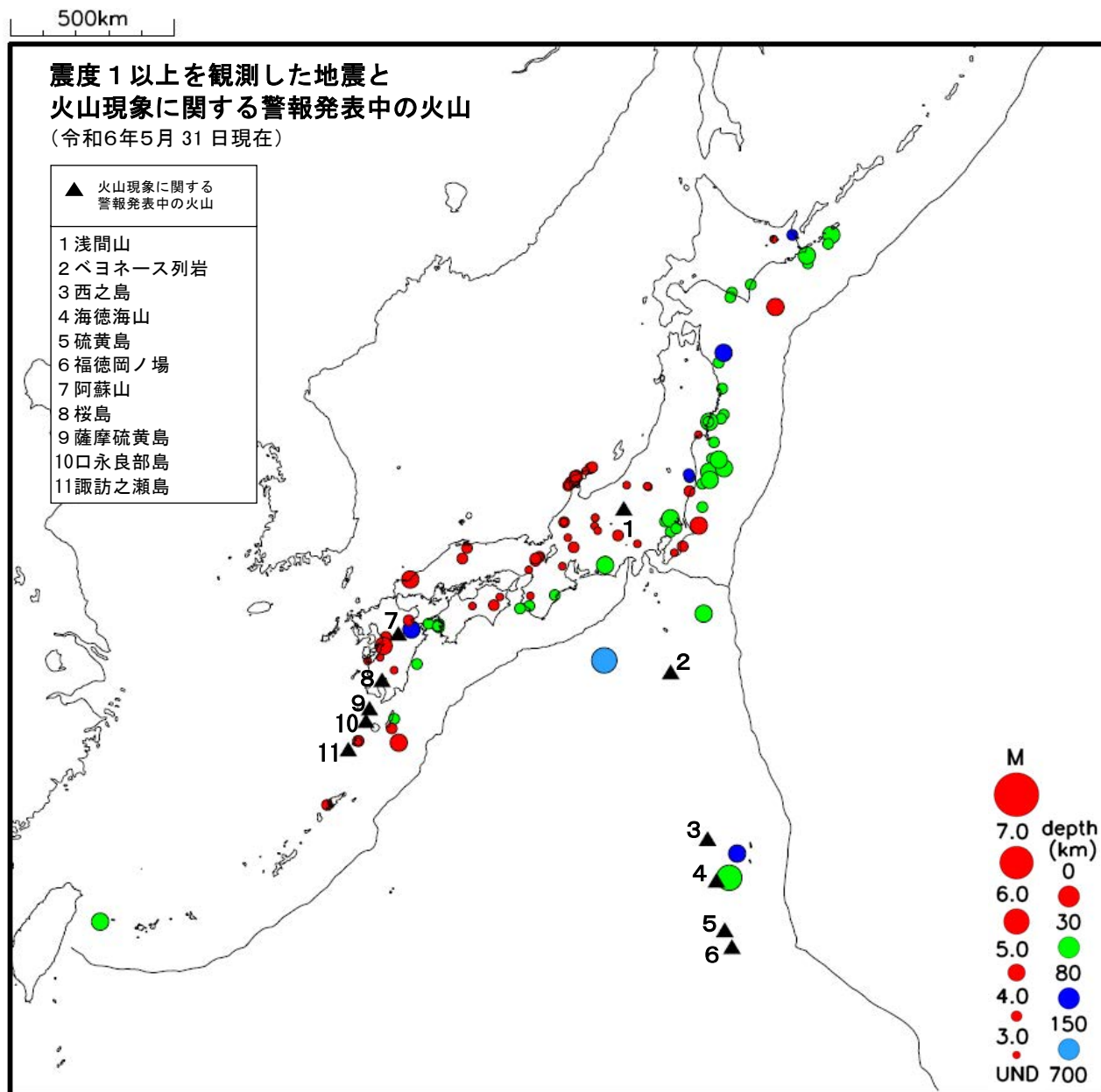


令和6年5月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

May 2024



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

※ 本資料中のデータについて

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

注* 令和6年5月31日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、8政令指定都市。

注** 令和6年5月31日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 本資料中の図について

本資料中の地図は、『数値地図25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。

また、一部の図版作成にはGMT(Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W.H.F.Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol.79 (47), pp.579, 1998])を使用した。

※ 本資料利用上の注意

・資料中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N= xx, yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右上に示してある）。ZZは回数の総数を表し、xx, yyは期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

発震機構解の図は下半球投影である。また、特にことわりがない限り、P波初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えてCMT解を掲載する場合がある。

・発震機構解の図中の語句について

P：P軸（圧力軸） T：T軸（張力軸） N：N軸（中立軸）

・Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震のCMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図で、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本資料での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020年9月以降に発生した地震を含む図については、2020年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、日本海溝海底地震津波観測網（S-net）や紀伊水道沖の地震・津波観測監視システム（DONET2）による海域観測網の観測データの活用、震源計算処理における海域速度構造の導入及び標高を考慮した震源決定等それまでのデータ処理方法との違いにより、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがある。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁CMT 解のセントロイドの深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

なお、本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	5
東北地方の地震活動	6
最近の日本海溝・千島海溝周辺の地震活動	7
関東・中部地方の地震活動	8
近畿・中国・四国地方の地震活動	14
九州地方の地震活動	16
沖縄地方の地震活動	18
その他の地域の地震活動	20
● 南海トラフ周辺の地殻活動	22
● 日本の主な火山活動	25
北海道地方の火山活動	36
東北地方の火山活動	38
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	40
近畿・中国・四国地方の火山活動	44
九州地方の火山活動	45
沖縄地方の火山活動	49
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	50
● 世界の主な地震	52
● 世界の主な火山活動	53
● 付録	
1. 震度1以上を観測した地震の表	54
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	70
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	71
4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	72
5. 緊急地震速報の提供状況	73

● 日本及びその周辺での主な地震活動

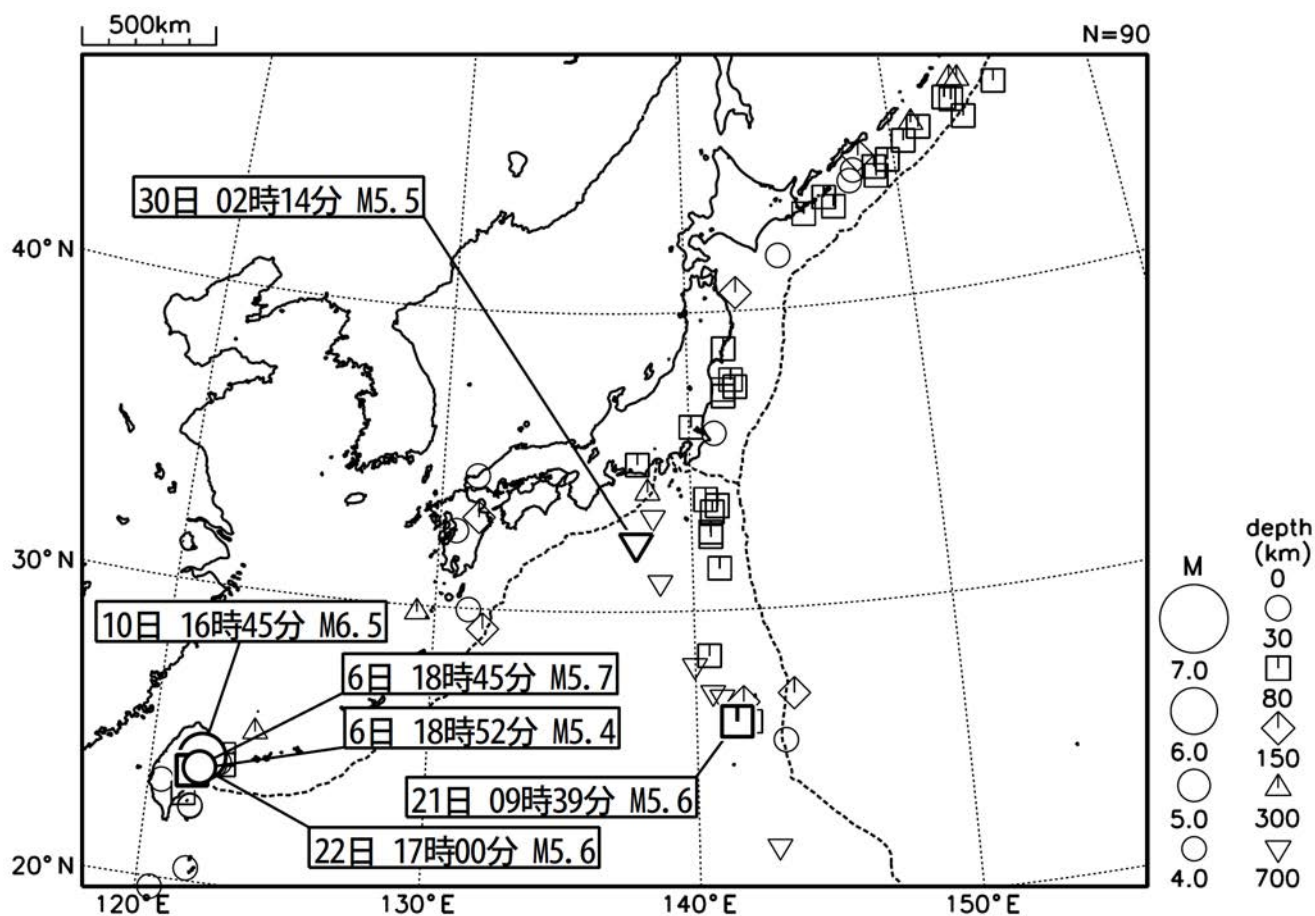


図1 令和6年5月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

（図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。）

令和6年（2024年）5月に日本国内で震度4以上を観測した地震は2回（4月は7回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は90回（4月は272回）であった（図1）。

4月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。5月中に震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった（4月は震度5弱以上を観測した地震は3回、津波を観測した地震は1回であった）。

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和6年5月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6）	掲載 ページ
1	5 10 16 45	台湾付近	6.5	5.8	M . . .	日本国内で震度1以上を観測した地点はなし 津波予報（若干の海面変動）を宮古島・八重山地方に発表	19
2	5 21 9 39	父島近海	5.6	5.4	. . S .	4：東京都 小笠原村母島	4、21
3	5 26 0 55	茨城県南部	4.7	4.8		3：茨城県 水戸市内原町＊ 土浦市常名 など1都5県53地点	13
4	5 31 4 46	熊本県熊本地方	4.7	4.6	. . S .	4：熊本県 八代市平山新町 八代市新地町＊ など2県6地点	4、17
		「令和6年能登半島地震」の地震活動				「令和6年能登半島地震」の地震活動 2024年5月中に震度1以上を観測する地震が 28回（震度3：2回、震度2：6回、震度 1：20回）	9～12
		豊後水道の地震活動				4月17日から続く豊後水道の地震活動 5月中に震度1以上を観測した地震が13回 （震度3：2回、震度2：1回、震度1：10 回）	15

- （注1）主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度3、④海域 M5.0 以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。
- （注2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- （注3）空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- （注4）Mw欄の「—」はMwが求められていないことを示す。
- （注5）M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- （注6）最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

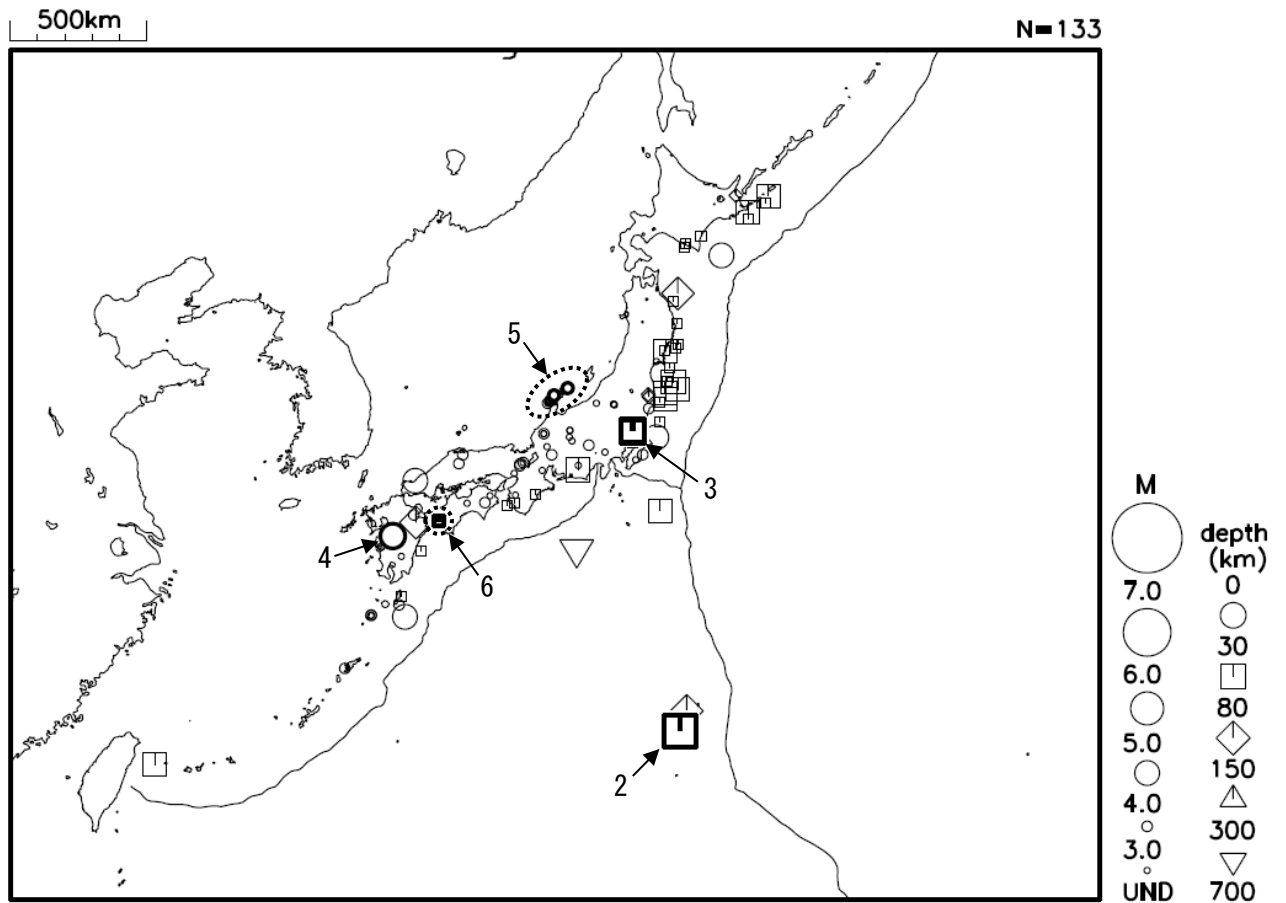


図2 令和6年5月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

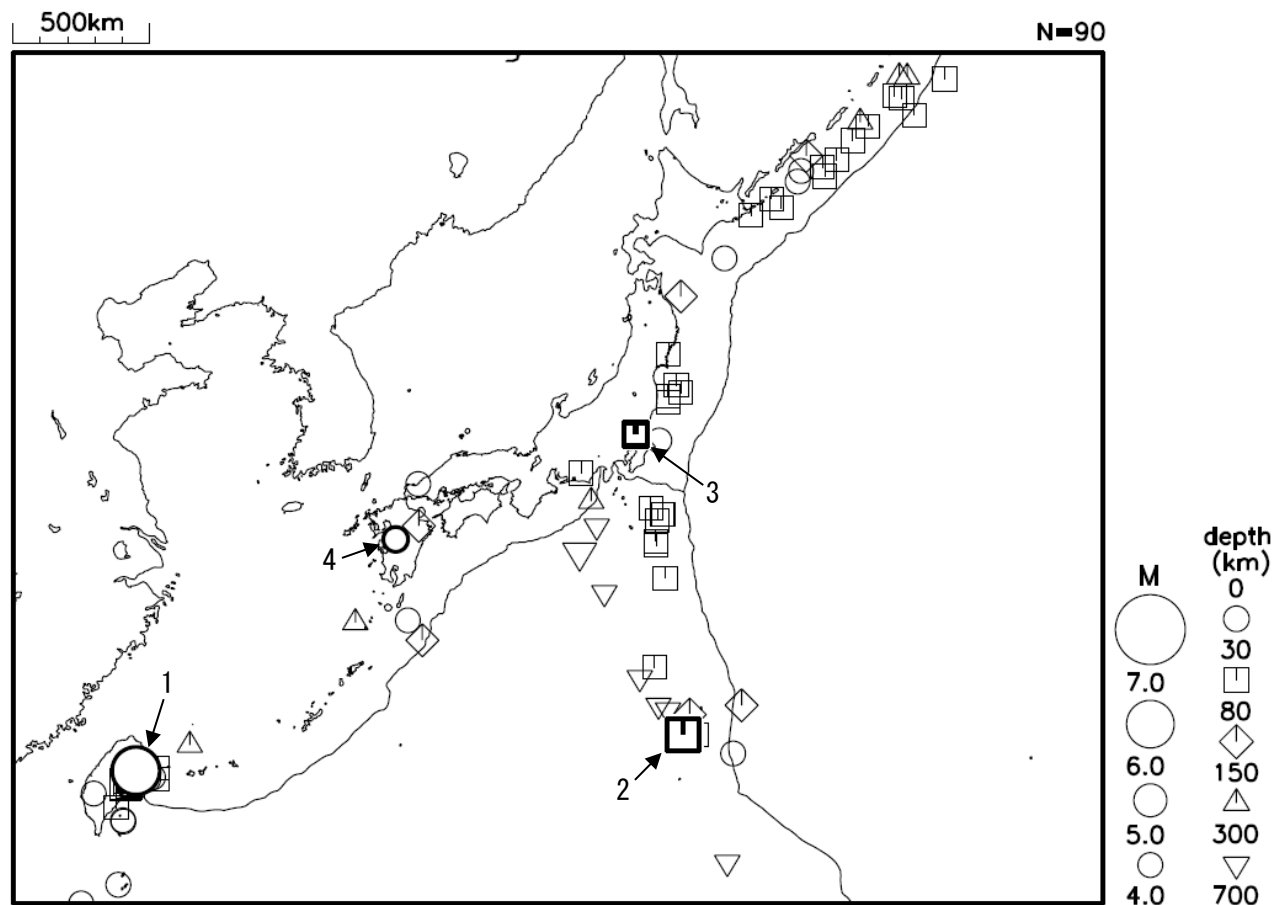
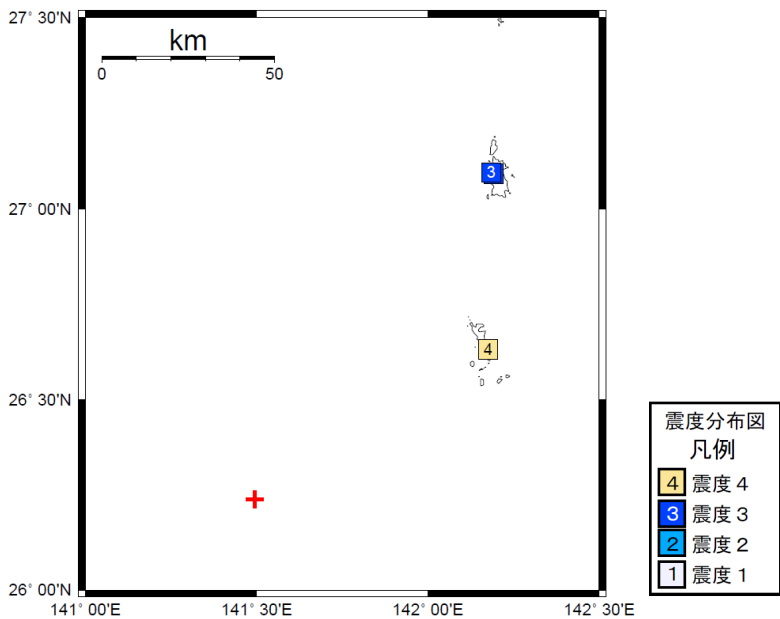


図3 令和6年5月に発生した M4.0 以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

- 2 5 月 21 日 09 時 39 分 父島近海
(M5.6、深さ 49km^(注)、最大震度 4)
(注) 気象庁の CMT 解による



- 4 5 月 31 日 04 時 46 分 熊本県熊本地方
(M4.7、深さ 13km、最大震度 4)

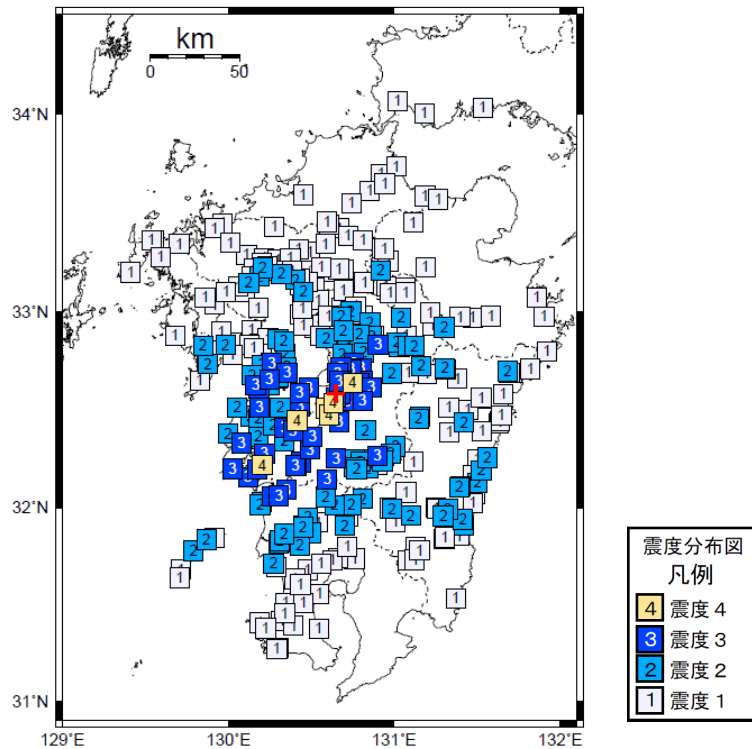


図 4 震度分布図

(各図の左上の数字は表 1、図 2、図 3 の番号に対応する。赤の + 印は震央を示す)

※その他の地震の震度分布図については、気象庁 HP の震度データベース

(<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

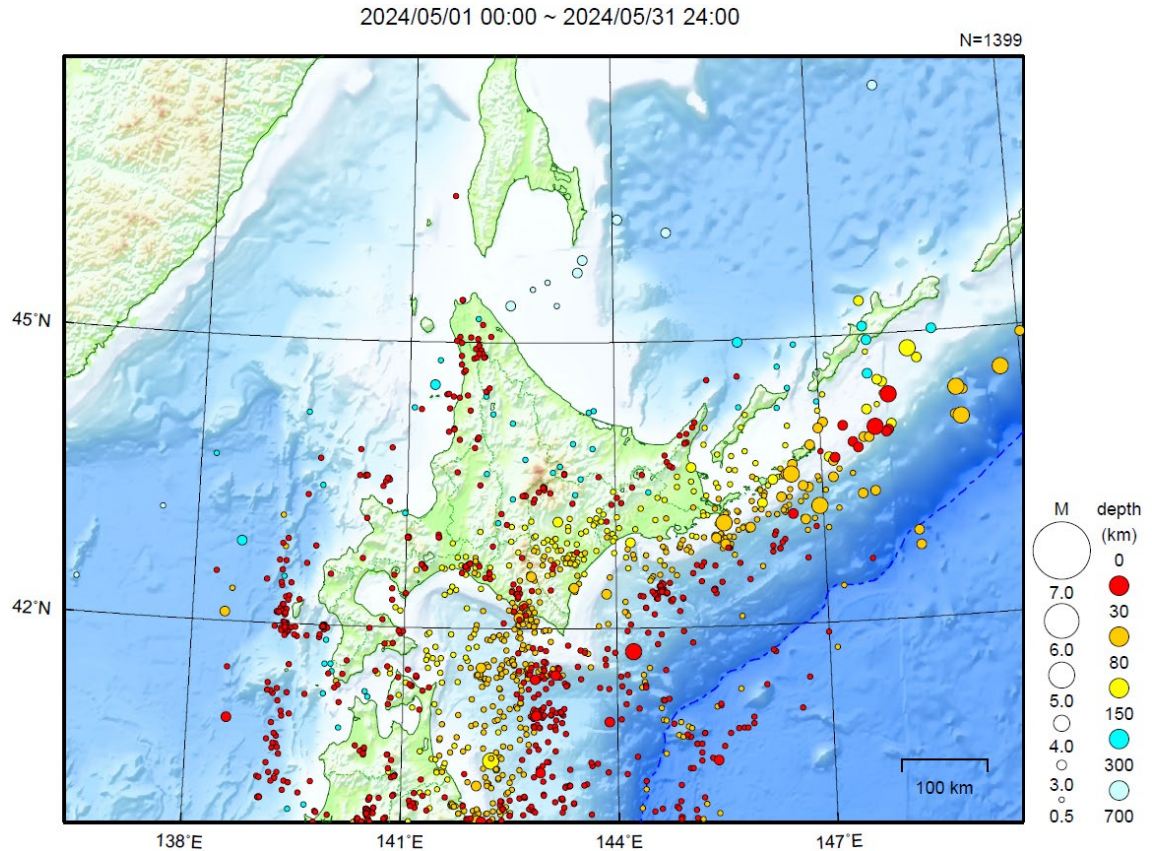


図5 北海道地方の震央分布図（2024年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

[概況]

5月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は10回（4月は19回）であった。

5月中、特に目立った活動はなかった。

○東北地方の地震活動

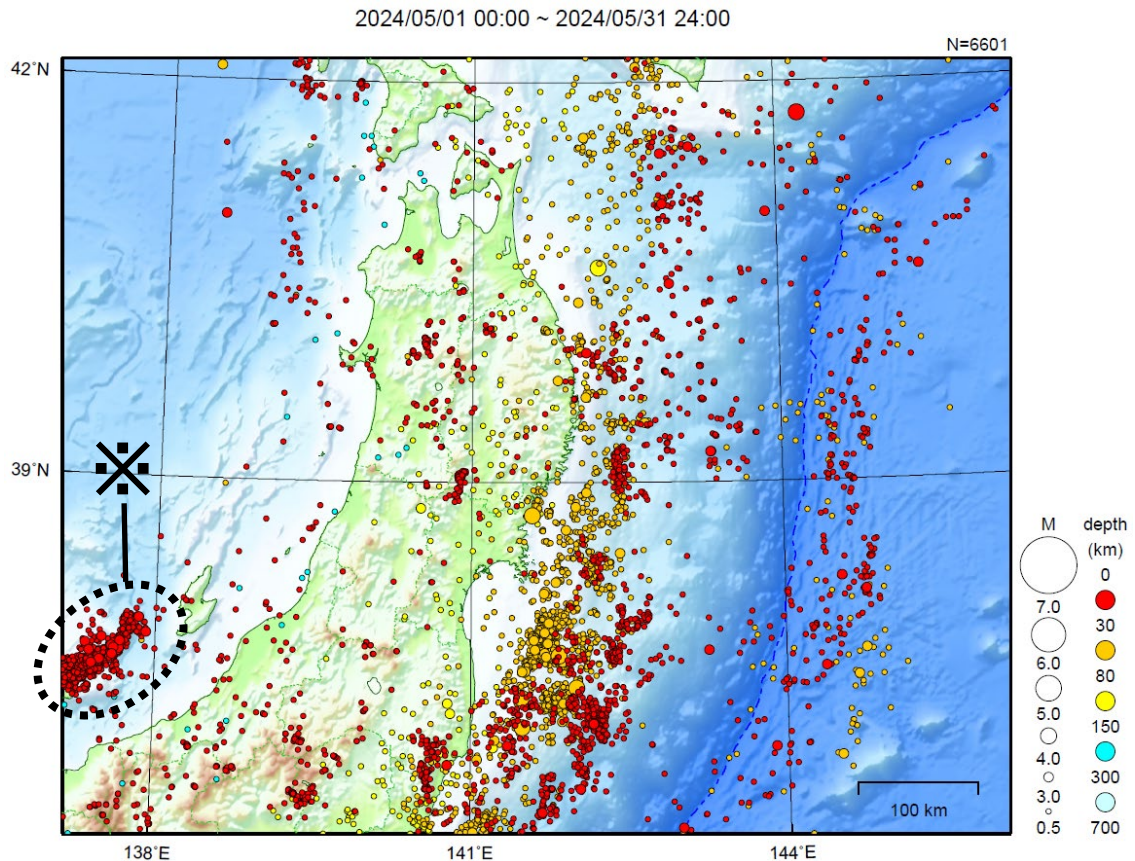


図6 東北地方の震央分布図（2024年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

[概況]

5月に東北地方で震度1以上を観測した地震は23回（4月は40回）であった。

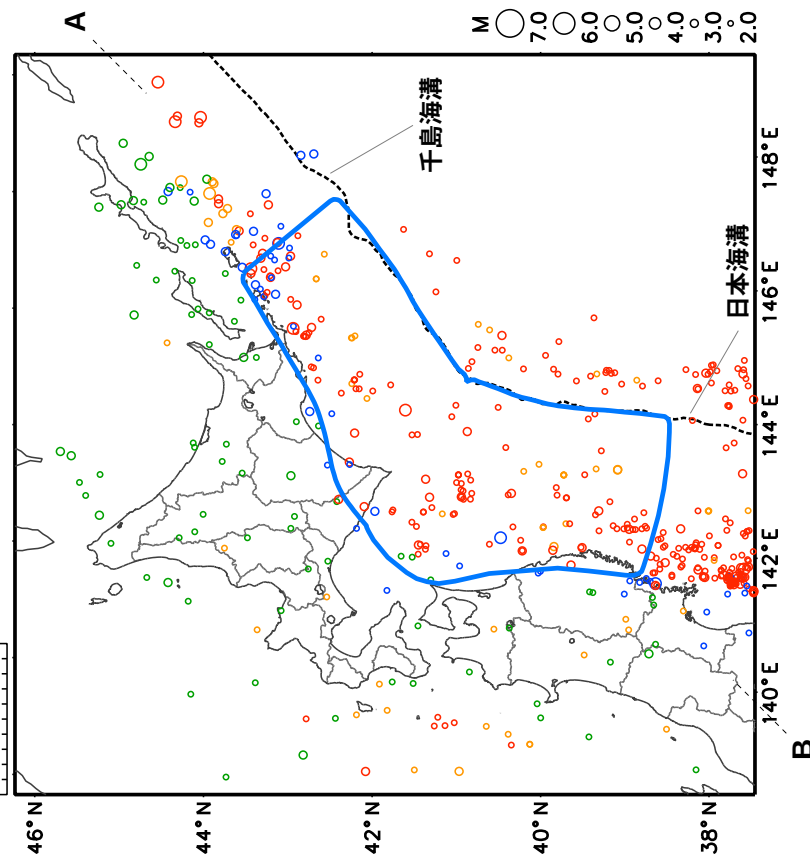
5月中、特に目立った活動はなかった。

※ 関東・中部地方の地震活動を参照（p. 8～12 参照）。

最近の日本海溝・千島海溝周辺の地震活動

2024年5月1日～5月31日

震央分布図 (2024年5月1日～5月31日、M $\geq$ 2.0、深さ0～500km)



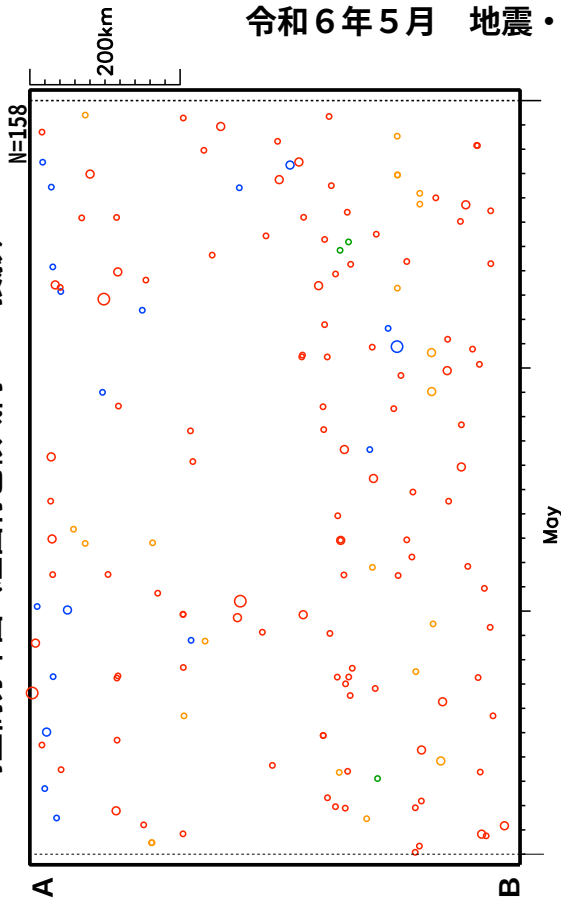
青の実線は日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域のうちの「日高・三陸沖」及び「十勝・根室沖」の領域です。震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがあります。

[主な地震活動]

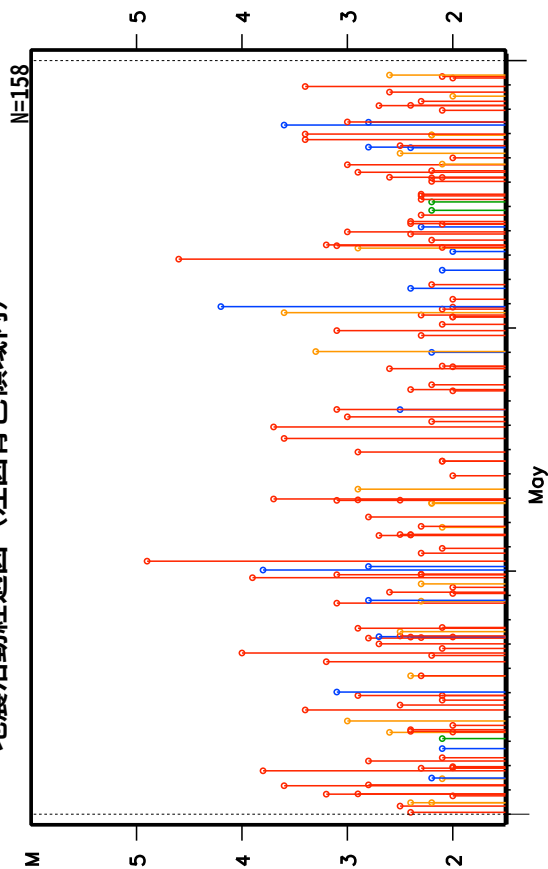
- ・ 上図青色領域内で発生したM5.0以上の地震 (最大5つ)
- ・ 近接して発生した地震については、最大規模の地震のみ記載

— 特に目立った活動はありませんでした —

時空間分布図 (左図青色領域内: A-B投影)



地震活動経過図 (左図青色領域内)



○関東・中部地方の地震活動

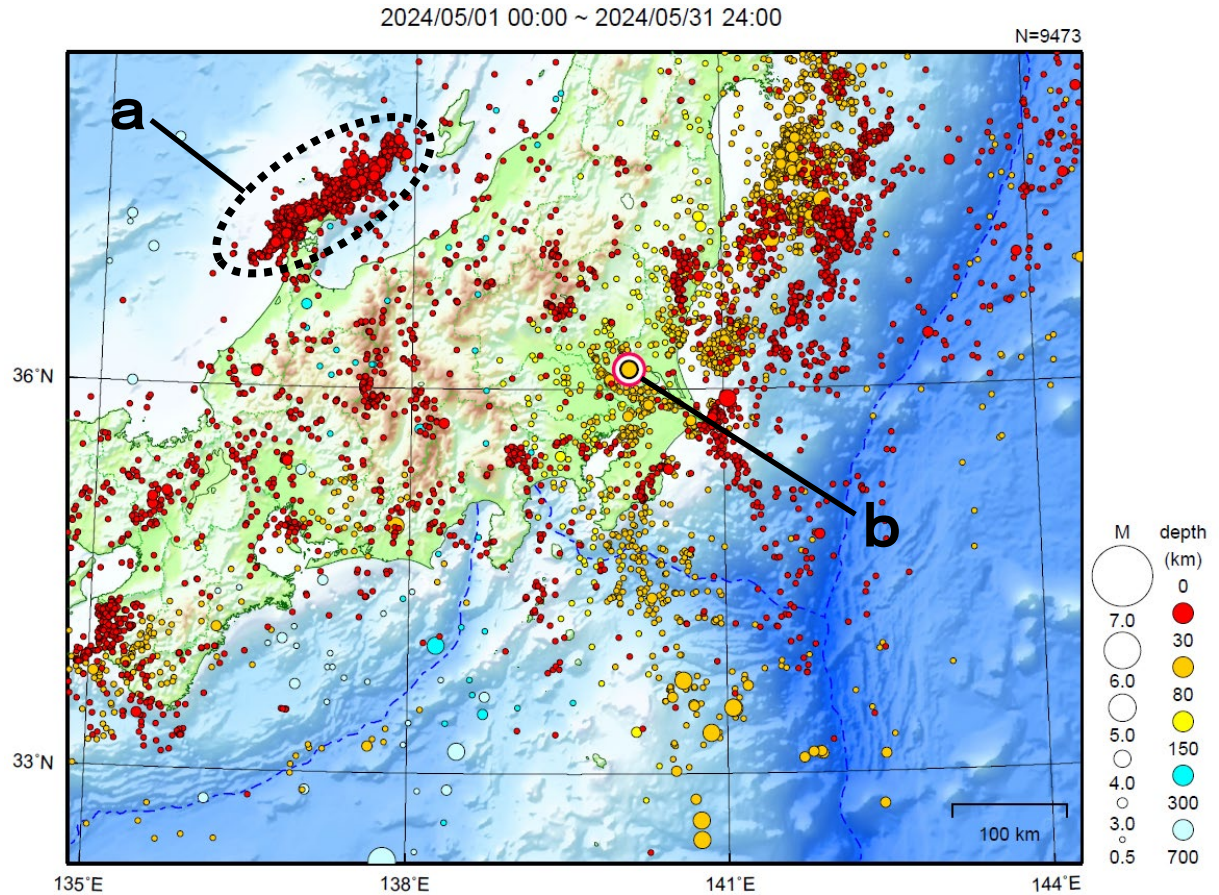


図7 関東・中部地方の震央分布図（2024年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

〔概況〕

5月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は60回（4月は81回）であった。

5月中の主な活動は次のとおりである。

- a 「令和6年能登半島地震」の地震活動域では、5月中に震度1以上を観測した地震が28回（震度3：2回、震度2：6回、震度1：20回）発生した。このうち最大規模の地震は、10日18時50分に石川県能登地方の深さ11kmで発生したM3.8の地震及び10日19時40分に能登半島沖の深さ14kmで発生したM3.8の地震である。10日18時50分の地震では石川県輪島市で震度3を観測したほか、石川県で震度2～1を観測した。10日19時40分の地震では石川県珠洲市で震度1を観測した（p.9～12参照）。
- b 26日00時55分に茨城県南部の深さ66kmでM4.7の地震が発生し、関東地方で震度3を観測したほか、東北地方南部から中部地方にかけて及び伊豆諸島で震度2～1を観測した（p.13）。

「令和6年能登半島地震」の地震活動

震央分布図

（2020年12月1日～2024年5月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 3.0$ ）

震源のプロット

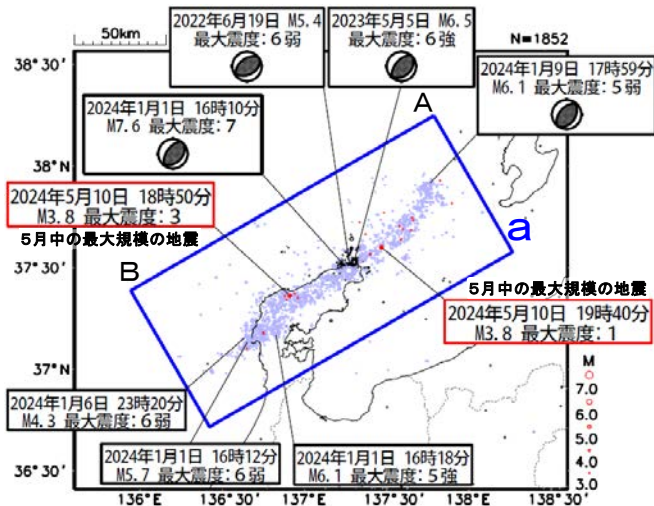
黒色 2020年12月1日～2023年12月31日

水色 2024年1月1日～4月30日

赤色 2024年5月1日～5月31日

吹き出しは最大震度6弱以上の地震、 $M6.0$ 以上の地震
及び5月中の最大規模の地震

図中の発震機構はCMT解

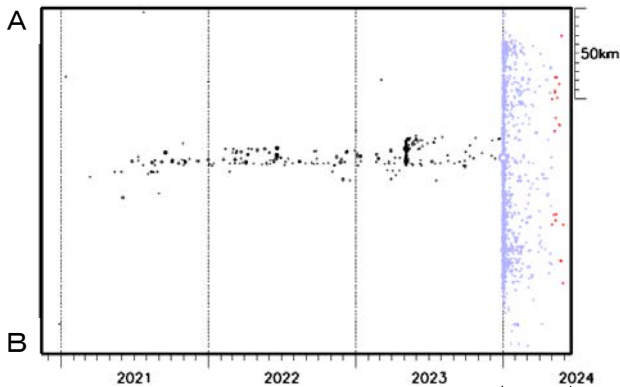


能登半島では2020年12月から地震活動が活発になっており、2023年5月5日には $M6.5$ の地震（最大震度6強）が発生していた。2023年12月までの活動域は、能登半島北東部の概ね30km四方の範囲であった。

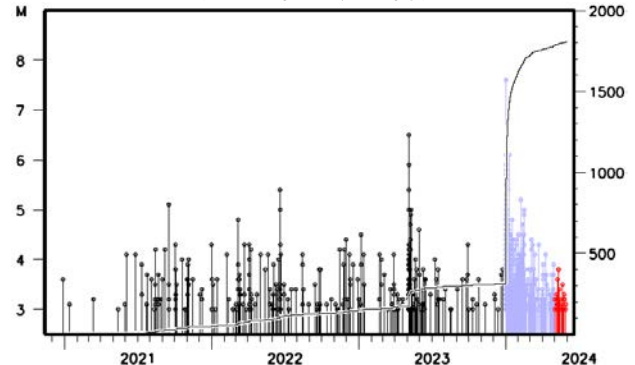
2024年1月1日16時10分に石川県能登地方の深さ16kmで $M7.6$ （最大震度7）の地震が発生した後、地震活動はさらに活発になり、活動域は、能登半島及びその北東側の海域を中心とする北東－南西に延びる150km程度の範囲に広がっている。

2024年5月中の最大規模の地震は、10日18時50分及び19時40分に発生した $M3.8$ の地震（18時50分の地震は最大震度3、19時40分の地震は最大震度1）である。地震の発生数は増減を繰り返しながら大局的には緩やかに減少してきているが、5月中に震度1以上を観測した地震が28回発生するなど活発な状態が続いている。

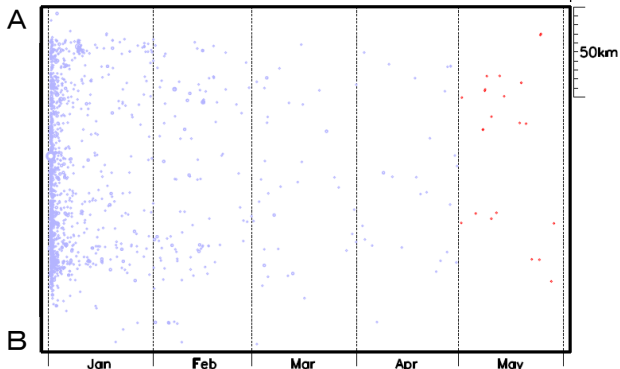
領域a内の時空間分布図
（A－B投影、2020年12月以降）



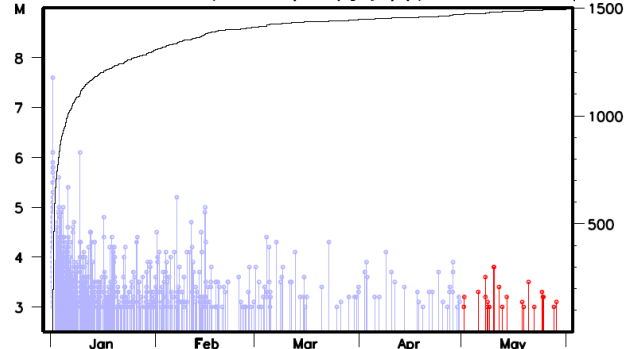
領域a内のM－T図及び回数積算図
（2020年12月以降）



（2024年1月以降）



（2024年1月以降）



令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

令和6年5月31日24時現在

「令和6年能登半島地震」の最大震度別地震回数表

（注）掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合がある。

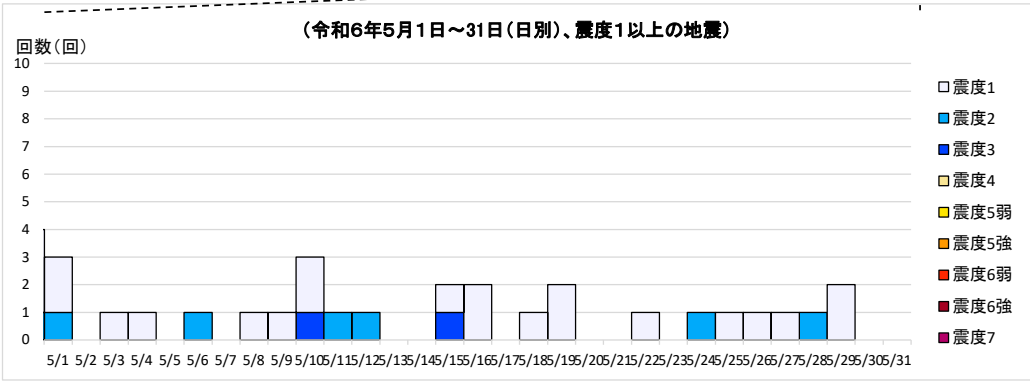
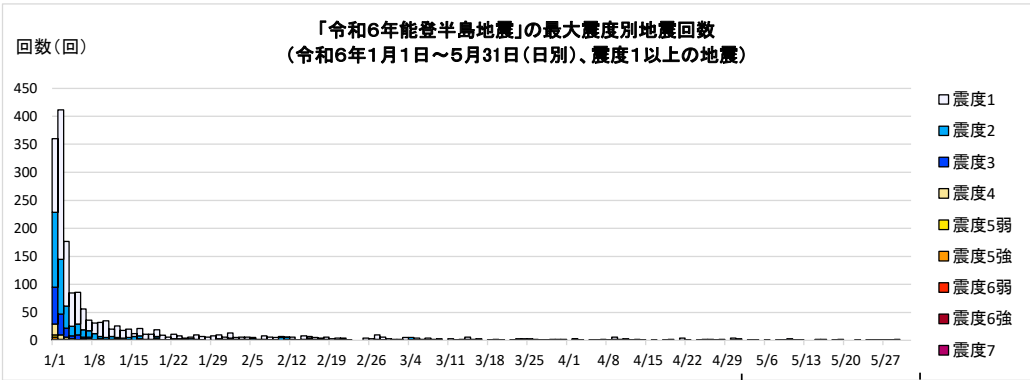
【令和6年1月1日以降の日別発生回数】

日別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7		回数	累計	
1/1	131	134	66	19	4	4	1	0	1		360	360	
1/2	266	98	37	8	1	1	0	0	0		411	771	
1/3	116	39	16	4	0	2	0	0	0		177	948	
1/4	60	17	5	3	0	0	0	0	0		85	1033	
1/5	57	19	9	1	0	0	0	0	0		86	1119	
1/6	37	13	3	1	0	1	1	0	0		56	1175	
1/7	19	11	3	3	0	0	0	0	0		36	1211	
1/8	19	11	1	0	0	0	0	0	0		31	1242	
1/9	25	4	2	0	1	0	0	0	0		32	1274	
1/10	30	3	2	0	0	0	0	0	0		35	1309	
1/11	13	5	2	0	0	0	0	0	0		20	1329	
1/12	21	2	2	1	0	0	0	0	0		26	1355	
1/13	14	3	0	1	0	0	0	0	0		18	1373	
1/14	15	4	1	0	0	0	0	0	0		20	1393	
1/15	5	7	0	0	0	0	0	0	0		12	1405	
1/16	13	5	1	1	1	0	0	0	0		21	1426	
1/17	9	1	1	0	0	0	0	0	0		11	1437	
1/18	9	2	0	0	0	0	0	0	0		11	1448	
1/19	12	3	2	2	0	0	0	0	0		19	1467	
1/20	8	1	0	0	0	0	0	0	0		9	1476	
1/21	5	1	0	0	0	0	0	0	0		6	1482	
1/22	8	2	1	0	0	0	0	0	0		11	1493	
1/23	5	1	2	0	0	0	0	0	0		8	1501	
1/24	2	1	1	0	0	0	0	0	0		4	1505	
1/25	3	3	0	0	0	0	0	0	0		6	1511	
1/26	8	0	1	1	0	0	0	0	0		10	1521	
1/27	6	1	0	0	0	0	0	0	0		7	1528	
1/28	6	0	0	0	0	0	0	0	0		6	1534	
1/29	8	0	0	0	0	0	0	0	0		8	1542	
1/30	7	2	1	0	0	0	0	0	0		10	1552	
1/31	4	2	0	0	0	0	0	0	0		6	1558	
2/1	9	2	2	0	0	0	0	0	0		13	1571	
2/2	3	1	1	0	0	0	0	0	0		5	1576	
2/3	4	2	0	0	0	0	0	0	0		6	1582	
2/4	4	1	1	0	0	0	0	0	0		6	1588	
2/5	2	3	0	0	0	0	0	0	0		5	1593	
2/6	0	1	1	0	0	0	0	0	0		2	1595	
2/7	6	1	0	1	0	0	0	0	0		8	1603	
2/8	5	1	0	0	0	0	0	0	0		6	1609	
2/9	4	1	0	0	0	0	0	0	0		5	1614	
2/10	2	5	0	0	0	0	0	0	0		7	1621	
2/11	1	4	0	1	0	0	0	0	0		6	1627	
2/12	4	2	0	0	0	0	0	0	0		6	1633	
2/13	1	0	0	0	0	0	0	0	0		1	1634	
2/14	6	1	0	1	0	0	0	0	0		8	1642	
2/15	3	2	2	0	0	0	0	0	0		7	1649	
2/16	3	2	0	0	0	0	0	0	0		5	1654	
2/17	2	1	1	0	0	0	0	0	0		4	1658	
2/18	4	2	0	0	0	0	0	0	0		6	1664	
2/19	3	0	0	0	0	0	0	0	0		3	1667	
2/20	3	1	0	0	0	0	0	0	0		4	1671	
2/21	2	1	1	0	0	0	0	0	0		4	1675	
2/22	1	0	0	0	0	0	0	0	0		1	1676	
2/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	1676	
2/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	1676	
2/25	4	0	0	0	0	0	0	0	0		4	1680	
2/26	3	0	0	0	0	0	0	0	0		3	1683	
2/27	8	0	2	0	0	0	0	0	0		10	1693	
2/28	5	0	1	0	0	0	0	0	0		6	1699	
2/29	3	0	0	0	0	0	0	0	0		3	1702	
3/1	1	1	0	0	0	0	0	0	0		2	1704	
3/2	2	0	0	0	0	0	0	0	0		2	1706	
3/3	5	0	0	0	0	0	0	0	0		5	1711	
3/4	0	4	1	0	0	0	0	0	0		5	1716	
3/5	3	1	0	0	0	0	0	0	0		4	1720	
3/6	2	0	0	0	0	0	0	0	0		2	1722	
3/7	3	0	1	0	0	0	0	0	0		4	1726	
3/8	1	1	0	0	0	0	0	0	0		2	1728	
3/9	2	1	0	0	0	0	0	0	0		3	1731	
3/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	1731	
3/11	3	0	0	0	0	0	0	0	0		3	1734	
3/12	1	0	0	0	0	0	0	0	0		1	1735	
3/13	1	0	1	0	0	0	0	0	0		2	1737	
3/14	4	2	0	0	0	0	0	0	0		6	1743	
3/15	1	1	0	0	0	0	0	0	0		2	1745	
3/16	2	1	0	0	0	0	0	0	0		3	1748	

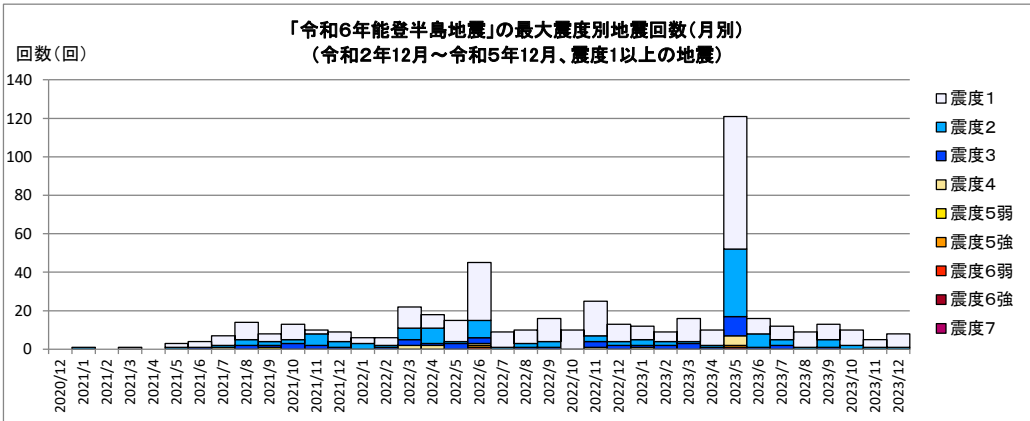
令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

3/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1748
3/18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1749
3/19	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1751
3/20	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1752
3/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1752
3/22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1753
3/23	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1756
3/24	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1759
3/25	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1762
3/26	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1764
3/27	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1765
3/28	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1766
3/29	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1768
3/30	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1770
3/31	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1772
4/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1772
4/2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1775
4/3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1776
4/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1776
4/5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1777
4/6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1778
4/7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1780
4/8	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1781
4/9	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1787
4/10	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1789
4/11	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1792
4/12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1793
4/13	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1795
4/14	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1796
4/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1796
4/16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1797
4/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1797
4/18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1798
4/19	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1800
4/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1800
4/21	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1804
4/22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1805
4/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1805
4/24	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1806
4/25	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1808
4/26	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1810
4/27	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1811
4/28	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1813
4/29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1813
4/30	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1817
5/1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1820
5/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1820
5/3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1821
5/4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1822
5/5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1822
5/6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1823
5/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1823
5/8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1824
5/9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1825
5/10	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1828
5/11	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1829
5/12	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1830
5/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1830
5/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1830
5/15	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1832
5/16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1834
5/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1834
5/18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1835
5/19	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1837
5/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1837
5/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1837
5/22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1838
5/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1838
5/24	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1839
5/25	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1840
5/26	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1841
5/27	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1842
5/28	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1843
5/29	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1845
5/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1845
5/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1845
総計(1月1日～5/31)	1137	461	181	48	7	8	2	0	1		1845

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）



【令和2(2020)年12月～令和5(2023)年12月の発生回数(月別)】



【令和2(2020)年12月以降の発生回数(年別)】

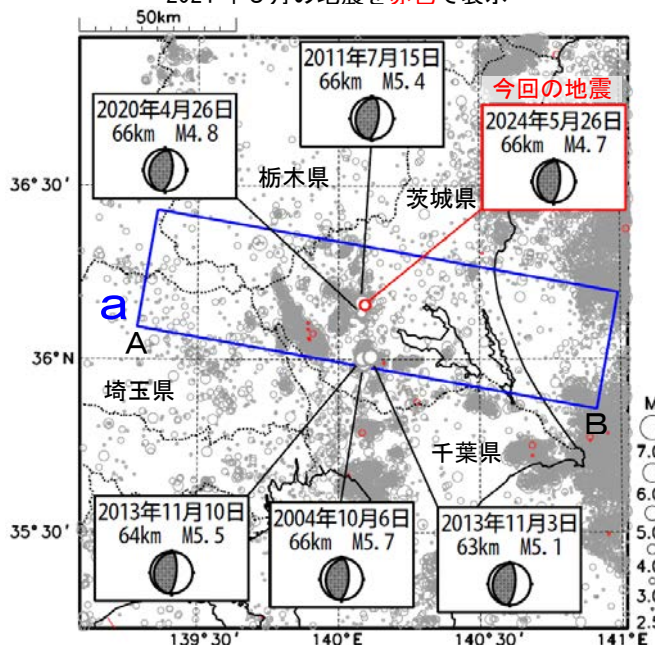
年別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
2020/12/1 - 12/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2021/1/1 - 12/31	39	19	10	1	1	0	0	0	0	70	70		
2022/1/1 - 12/31	130	39	18	6	0	1	1	0	0	195	265		
2023/1/1 - 12/31	151	61	21	6	0	1	0	1	0	241	506	2023/6/1～ 12/31の震度1 以上を観測した 回数 合計73回 月平均10.4回 月中央値10.0回	
総計(2020～2023)	320	119	49	13	1	2	1	1	0	506			

2020～2023	320	119	49	13	1	2	1	1	0	506	506	
2024/1/1 - 31	941	395	159	45	7	8	2	0	1	1558	2064	
2024/2/1 - 29	95	34	12	3	0	0	0	0	0	144	2208	
2024/3/1 - 31	49	17	4	0	0	0	0	0	0	70	2278	
2024/4/1 - 30	32	9	4	0	0	0	0	0	0	45	2323	
2024/5/1 - 31	20	6	2	0	0	0	0	0	0	28	2351	
総計(2020/12/1～2024/5/31)	1457	580	230	61	8	10	3	1	1		2351	

※2024/1/1以降は領域を広げてカウントしている。

5月26日 茨城県南部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2024年5月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 2.5$)
2024年5月の地震を赤色で表示

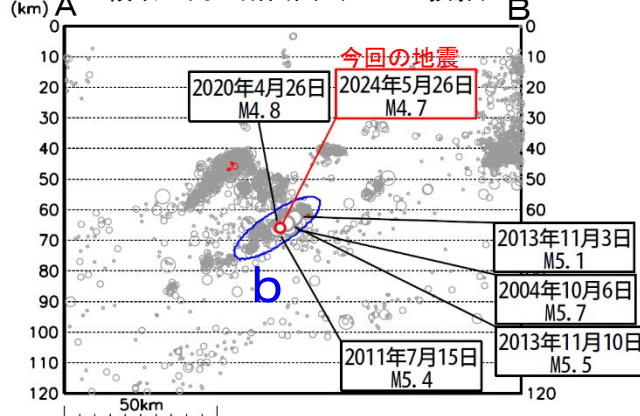


2024年5月26日00時55分に、茨城県南部の深さ66kmでM4.7の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

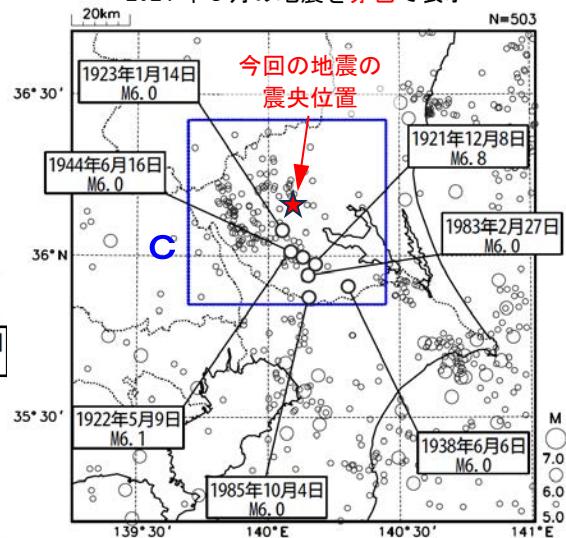
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M4.0以上の地震が時々発生している。2004年10月6日にはM5.7の地震（最大震度5弱）が発生し、負傷者4人などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。また、この領域では「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）発生以降、地震活動がより活発になった。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0程度の地震が時々発生している。1983年2月27日にはM6.0の地震が発生し、負傷者11人などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

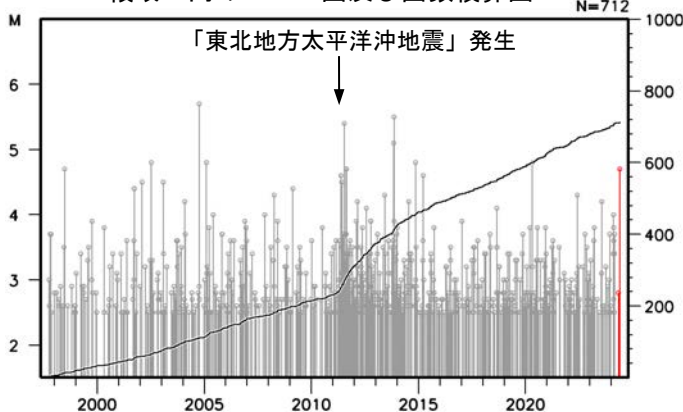
領域a内の断面図（A-B投影）



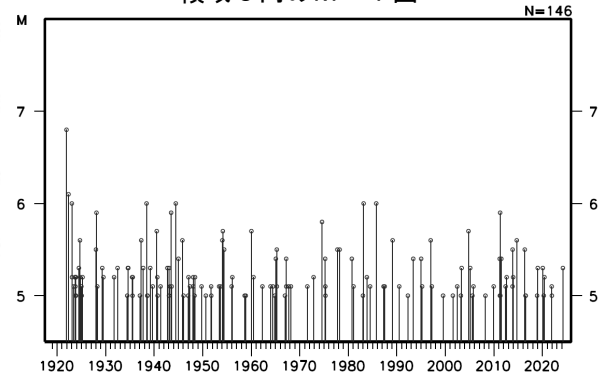
震央分布図
(1919年1月1日～2024年5月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)
2024年5月の地震を赤色で表示



領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



○近畿・中国・四国地方の地震活動

2024/05/01 00:00 ~ 2024/05/31 24:00

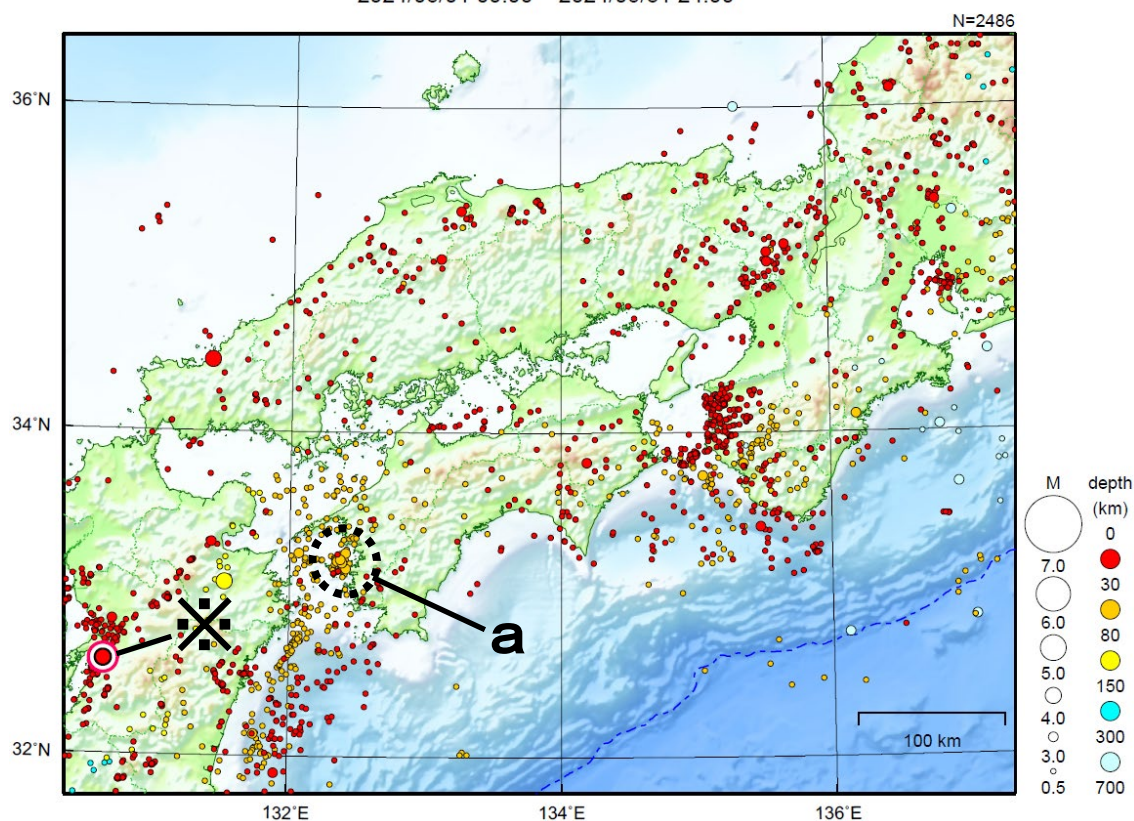


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2024年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

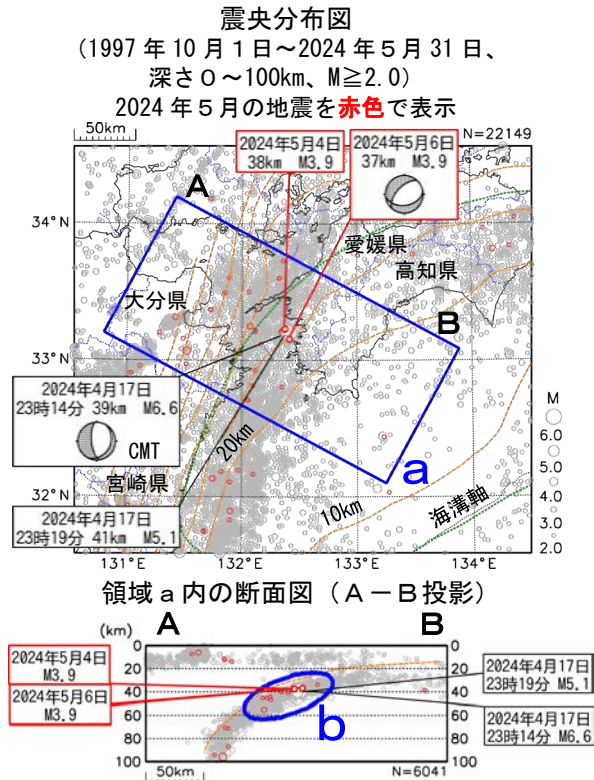
[概況]

5月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は31回（4月は72回）であった。
5月中の主な活動は次のとおりである。

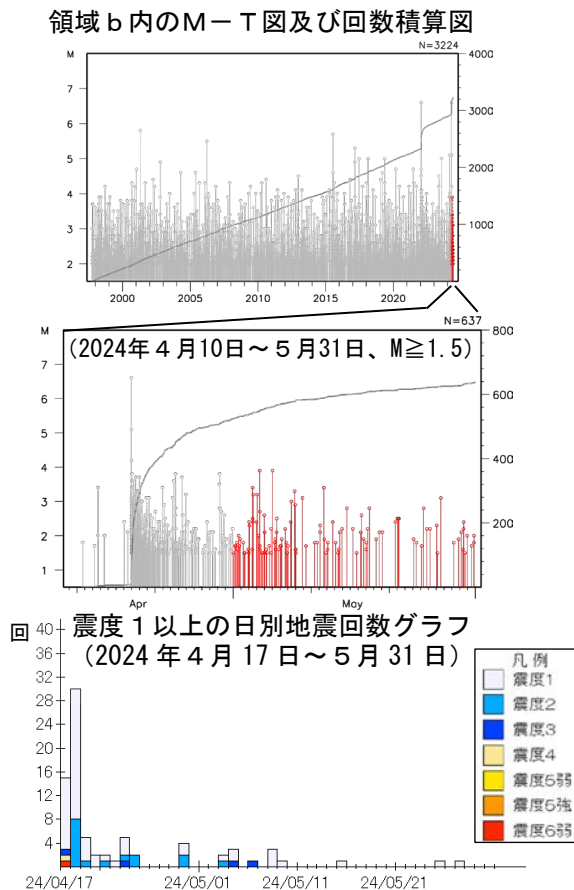
- a 豊後水道では、5月中に震度1以上を観測する地震が13回（震度3：2回、震度2：1回、震度1：10回）発生した。このうち最大規模の地震は、4日09時40分に深さ38kmで発生したM3.9の地震及び6日00時50分に深さ37kmで発生したM3.9の地震である。4日09時40分の地震では、愛媛県宇和島市及び高知県宿毛市で震度3を観測したほか、愛媛県、高知県、大分県及び宮崎県で震度2～1を観測した。また、6日00時50分の地震では、愛媛県宇和島市及び高知県宿毛市で震度3を観測したほか、愛媛県、高知県、山口県、大分県及び宮崎県で震度2～1を観測した。（p.15 参照）。

※ 九州地方の地震活動を参照（p.16、17 参照）。

4月17日からの豊後水道の地震活動



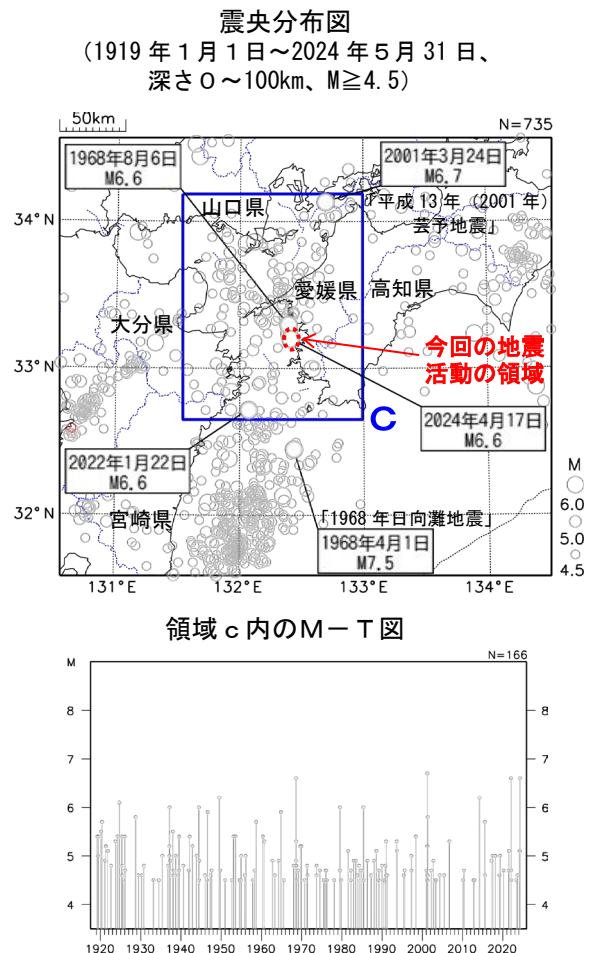
橙色の破線は、Baba et al. (2002)、Hirose et al. (2008)、Nakajima and Hasegawa (2007)によるフィリピン海プレート上面のおおよその深さを示す。
緑色の破線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。



豊後水道では、4月17日のM6.6の地震（最大震度6弱）の発生後、地震活動が活発となり、4月17日23時から5月31日までに震度1以上を観測した地震は79回（震度6弱：1回、震度4：1回、震度3：4回、震度2：16回、震度1：57回）発生した。このうち、5月中の最大規模の地震は、4日09時40分に豊後水道の深さ38kmで発生したM3.9の地震（最大震度3）及び6日00時50分に深さ37kmで発生したM3.9の地震（最大震度3）である。これらの地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構は、5月6日の地震は北北西－南南東方向に張力軸を持つ正断層型である。地震回数は減少してきているものの、地震活動は継続している。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震が時々発生している。「平成13年（2001年）芸予地震」では、死者2人、負傷者288人、住家全壊70棟などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。



○九州地方の地震活動

2024/05/01 00:00 ~ 2024/05/31 24:00

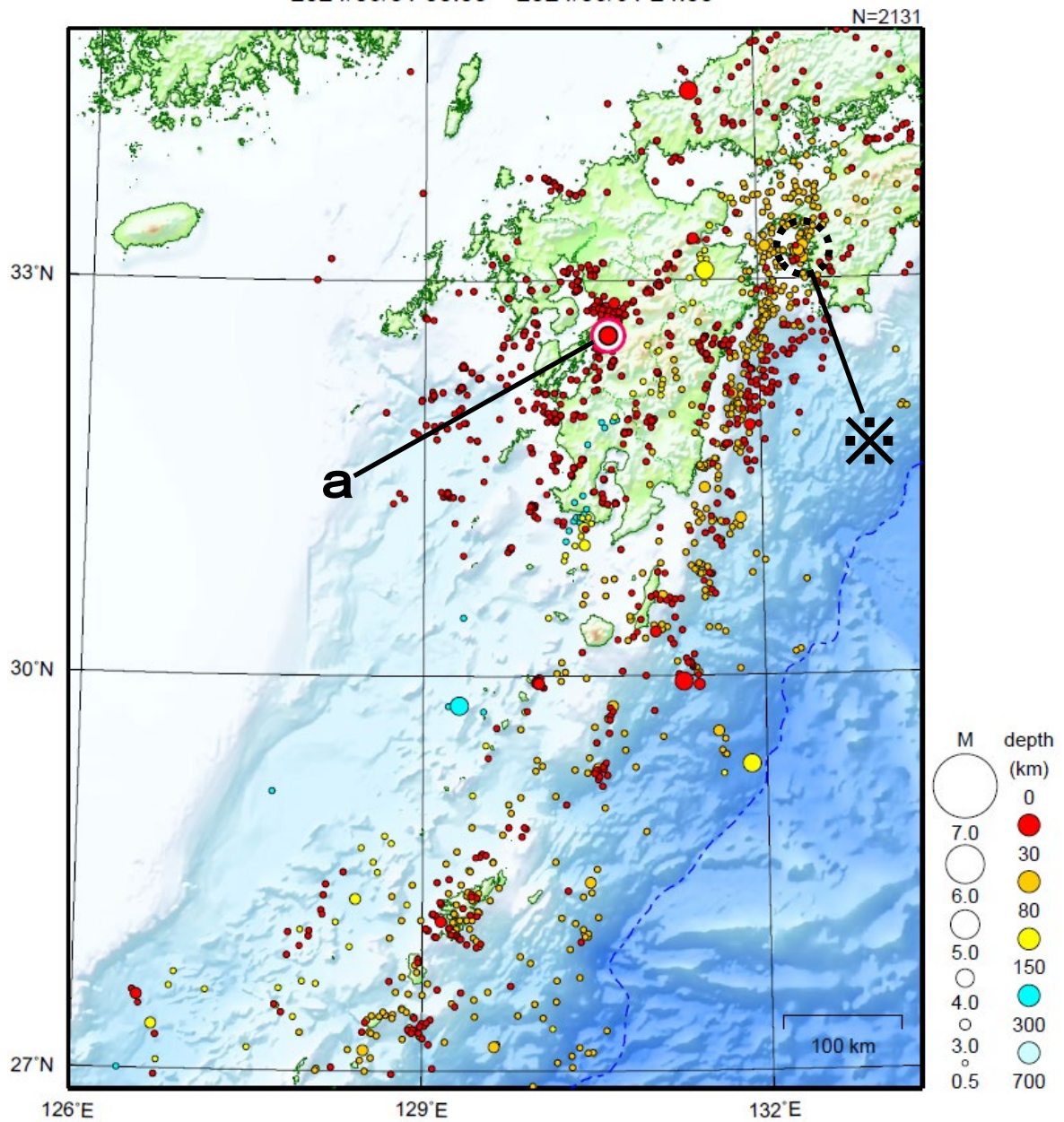


図9 九州地方の震央分布図（2024年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

[概況]

5月に九州地方で震度1以上を観測した地震は21回（4月は49回）であった。

5月中の主な活動は次のとおりである。

- a 31日04時46分に熊本県熊本地方の深さ13kmでM4.7の地震が発生し、熊本県及び鹿児島県で震度4を観測したほか、九州地方及び山口県で震度3～1を観測した（p. 4、17参照）。

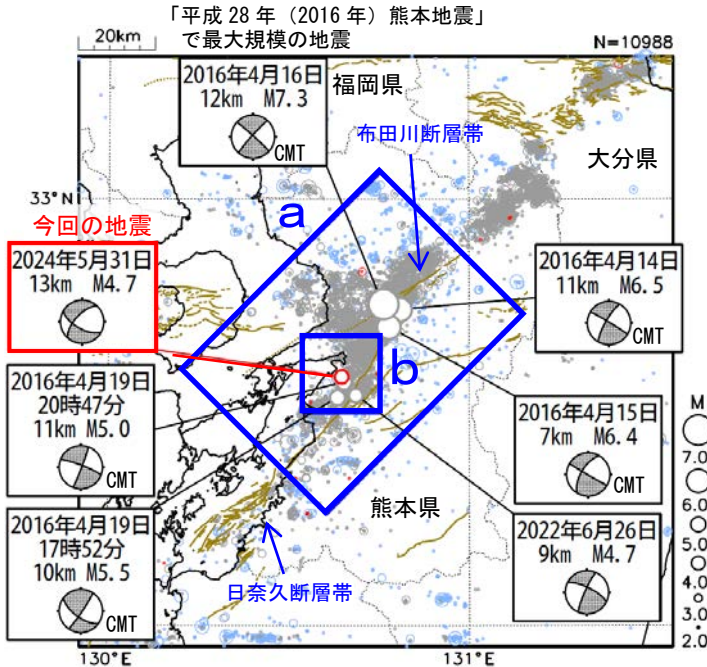
※ 近畿・中国・四国地方の地震活動を参照（p. 14、15参照）。

5月31日 熊本県熊本地方の地震

震央分布図

(2000年10月1日～2024年5月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)

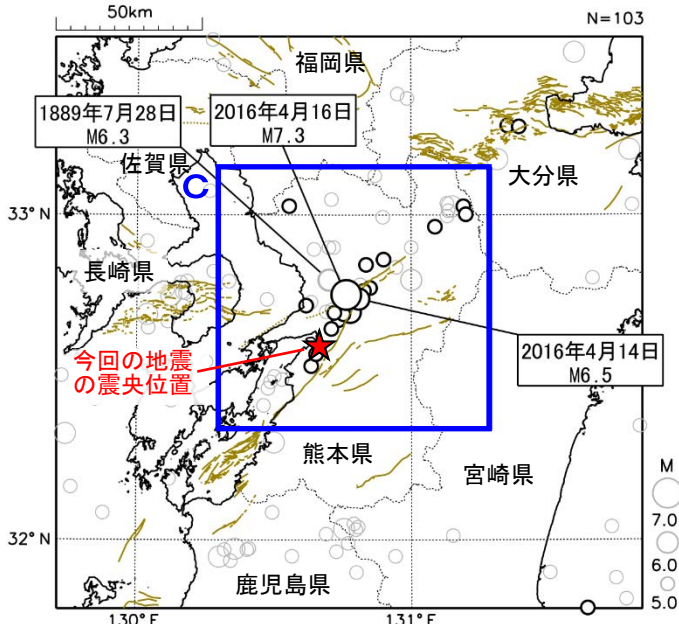
2016年4月14日21時より前に発生した地震を薄青色○、
2016年4月14日21時以降に発生した地震を灰色○、
2024年5月に発生した地震を赤色○で表示



震央分布図

(1885年1月1日～2024年5月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 5.0$)

2016年4月14日21時より前に発生した地震を灰色○、
2016年4月14日21時以降に発生した地震を黒色○で表示



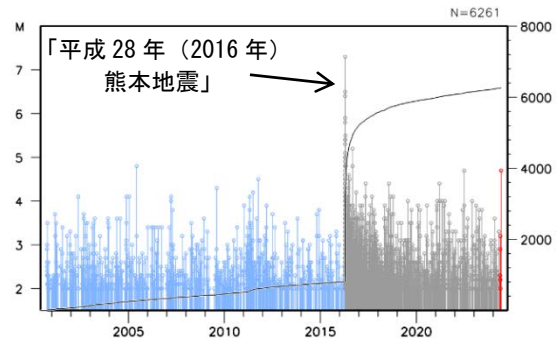
図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す
(震源要素は、1885年～1918年は茅野・宇津
(2001)、宇津 (1982, 1985) による※)

2024年5月31日04時46分に熊本県熊本地方の深さ13kmでM4.7の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は、南北方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

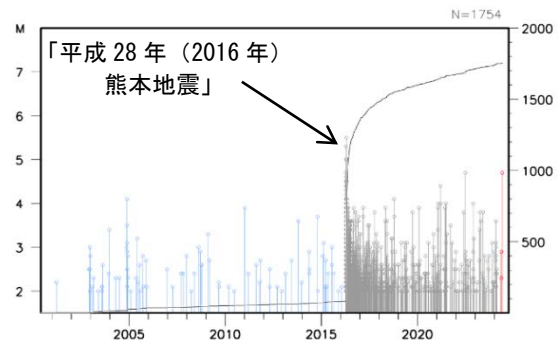
2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では「平成28年（2016年）熊本地震」が発生している。この地震により、熊本県で死者273人、大分県で死者3人などの被害が生じた（熊本県は2024年5月13日現在、熊本県による、その他は2019年4月12日現在、総務省消防庁による）。また、最近の領域b内の活動では、2022年6月26日にM4.7の地震（深さ9km、最大震度5弱）が発生している。

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M5.0以上の地震が時々発生している。このうち、1889年7月28日にはM6.3の地震が発生し、熊本県で死者19人、家屋全倒234棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

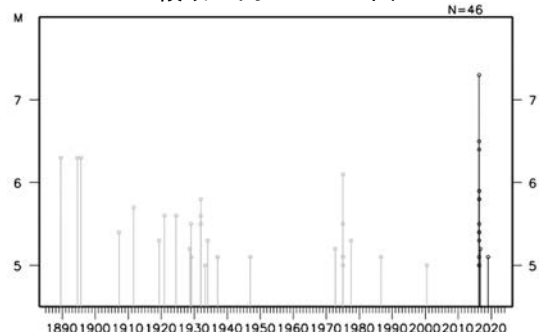
領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



※宇津徳治（1982）：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年、震研彙報、56、401～463。

宇津徳治（1985）：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年（訂正と追加）、震研彙報、60、639～642。

茅野一郎・宇津徳治（2001）：日本の主な地震の表、「地震の事典」第2版、朝倉書店、657pp。

○沖縄地方の地震活動

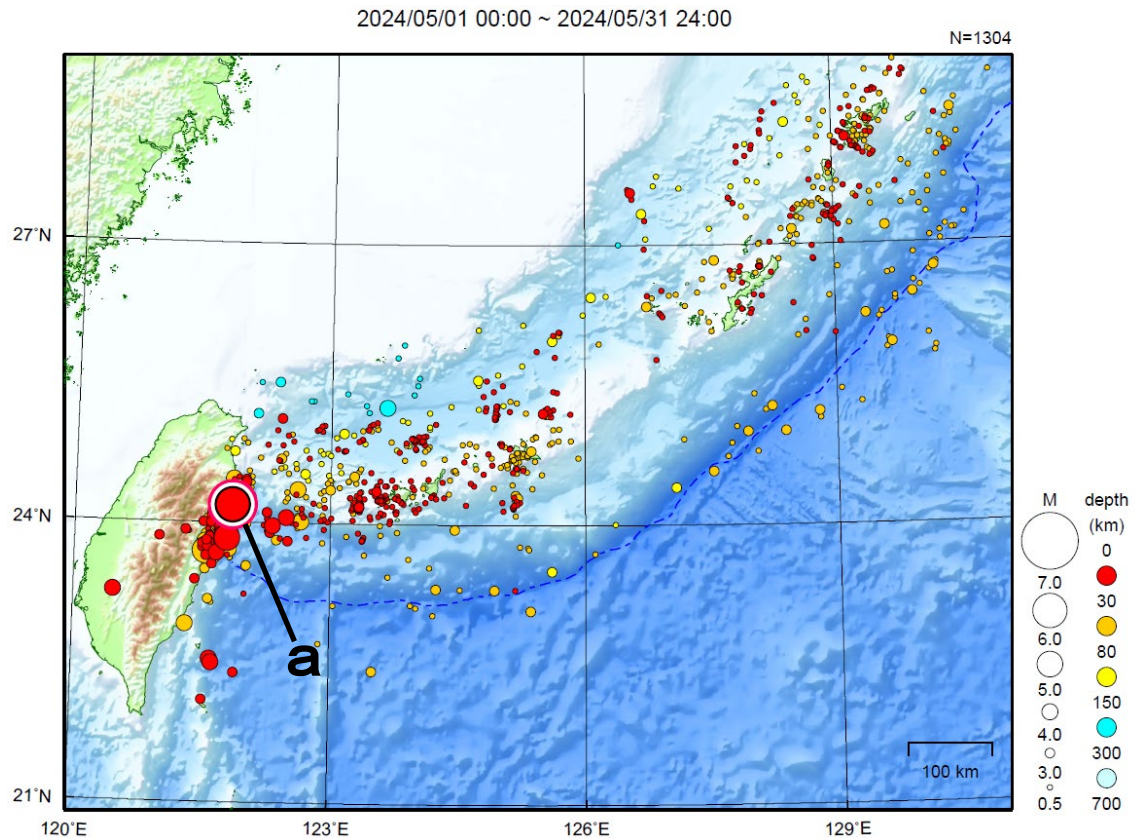


図 10 沖縄地方の震央分布図（2024 年 5 月 1 日～5 月 31 日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

〔概況〕

5 月に沖縄地方で震度 1 以上を観測した地震は 1 回（4 月は 12 回）であった。

5 月中の主な活動は次のとおりである。

- a 10 日 16 時 45 分に台湾付近の深さ 13km で $M6.5$ の地震（日本国内で震度 1 以上を観測した地点はなし）が発生した（p. 19 参照）。

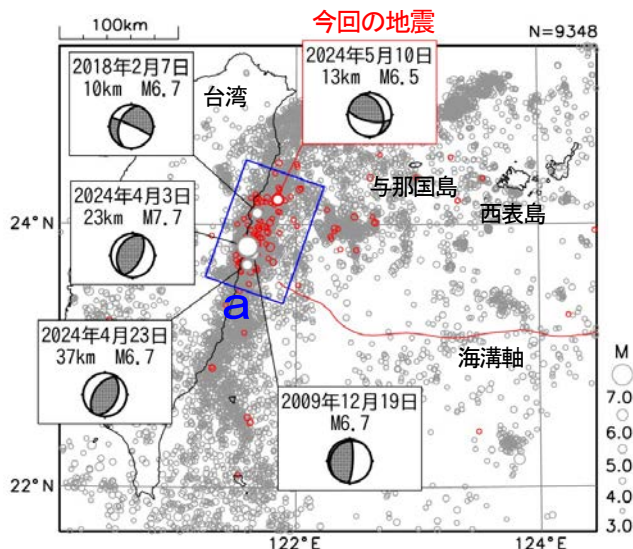
5月10日 台湾付近の地震

震央分布図

(2009年9月1日～2024年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2024年5月の地震を赤く表示

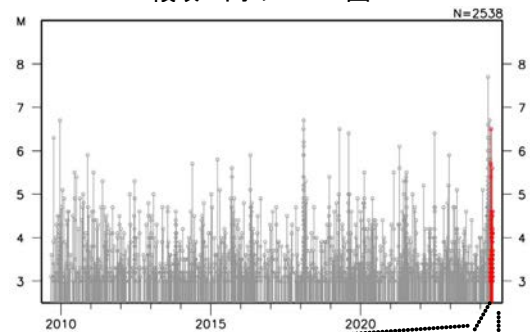
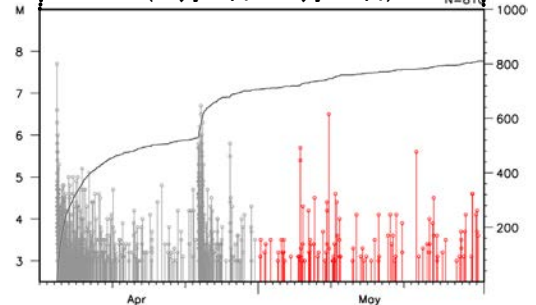
図中の発震機構はCMT解



2024年5月10日16時45分に台湾付近の深さ13kmで $M 6.5$ の地震（日本国内で震度1以上を観測した地点はなし）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、北東—南西方向に圧力軸を持つ型である。この地震の震央付近（領域a）では、4月3日08時58分に $M 7.7$ の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度4）が、4月23日に $M 6.7$ の地震（日本国内で震度1以上を観測した地点なし）が発生するなど、地震活動が活発化している。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央付近（領域a）では、2009年12月19日の $M 6.7$ の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）や、2018年2月7日の $M 6.7$ の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度2）が発生するなど、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。

領域a内のM—T図

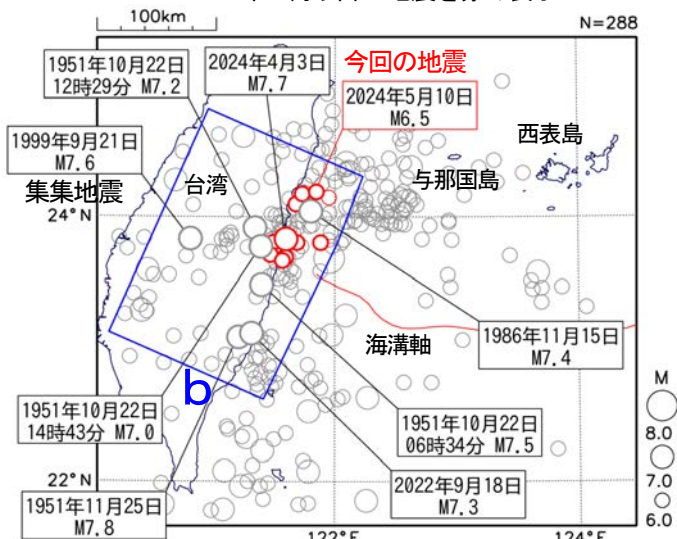
領域a内の回数積算及びM—T図
(4月1日～5月31日)

1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、過去に $M 7.0$ 以上の地震が時々発生している。1951年10月から11月にかけて $M 7.0$ 以上の地震が4回発生した。1986年11月15日の $M 7.4$ の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）により、宮古島平良で30cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人などの被害が生じた。1999年9月21日に集集地震（ $M 7.6$ 、日本国内で観測された最大の揺れは震度2）が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人などの被害が生じた。また、2022年9月18日の $M 7.3$ の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度1）では、宮古島・八重山地方に津波注意報を発表したが、津波は観測されなかった（被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による）。

震央分布図

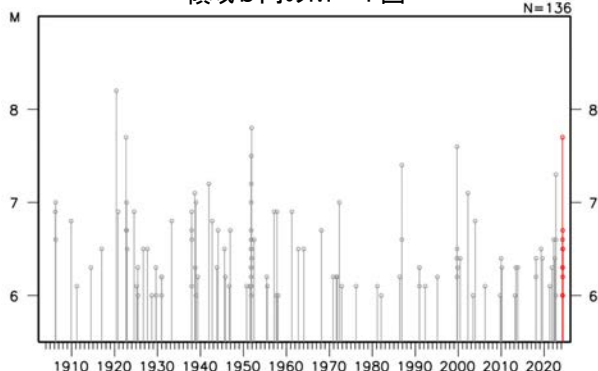
(1904年1月1日～2024年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

2024年4月以降の地震を赤く表示



2018年までの震源要素はISC—GEM、2019年以降の地震の震源要素は気象庁による。

領域b内のM—T図



○その他の地域の地震活動

2024/05/01 00:00 ~ 2024/05/31 24:00

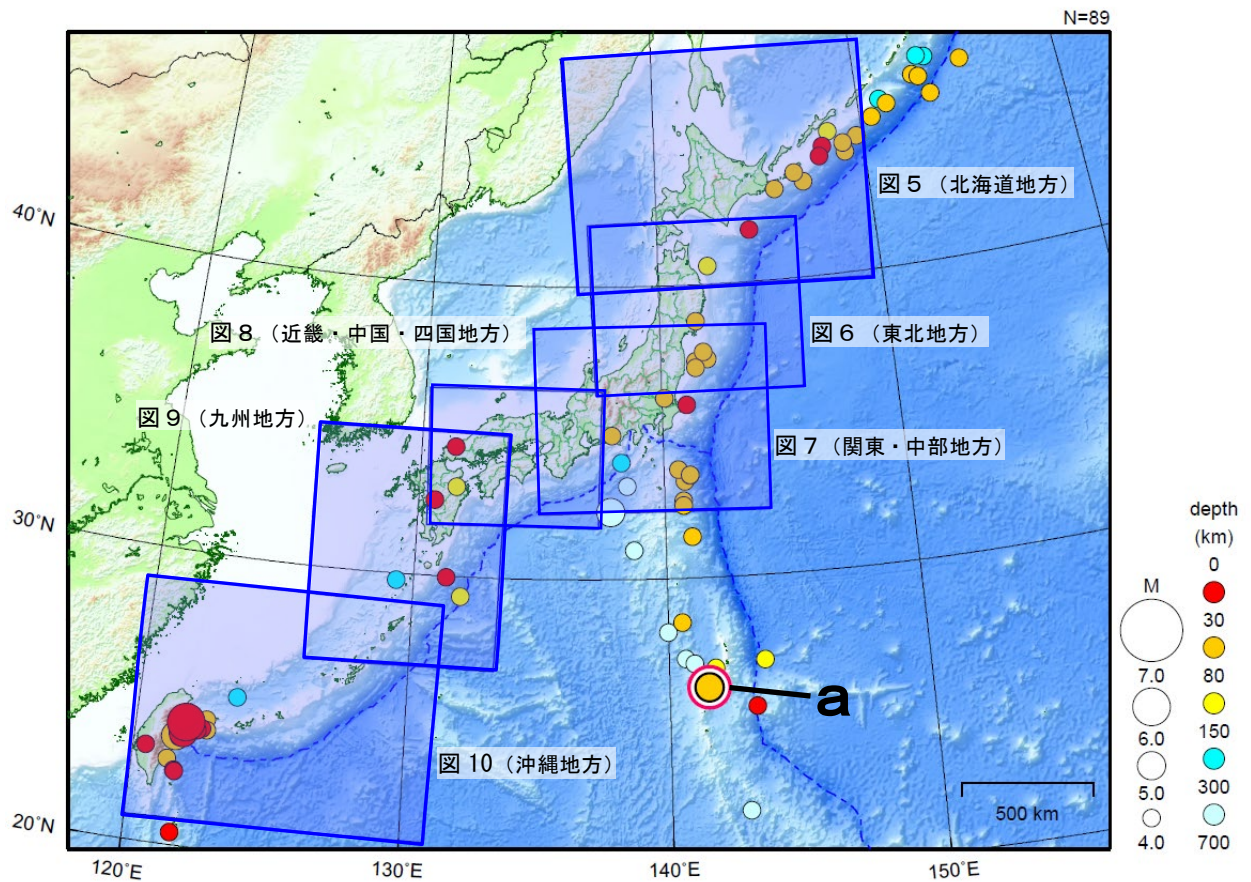


図11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2024年5月1日～5月31日、 $M \geq 4.0$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

[概況]

5月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震は1回（4月は14回）であった。

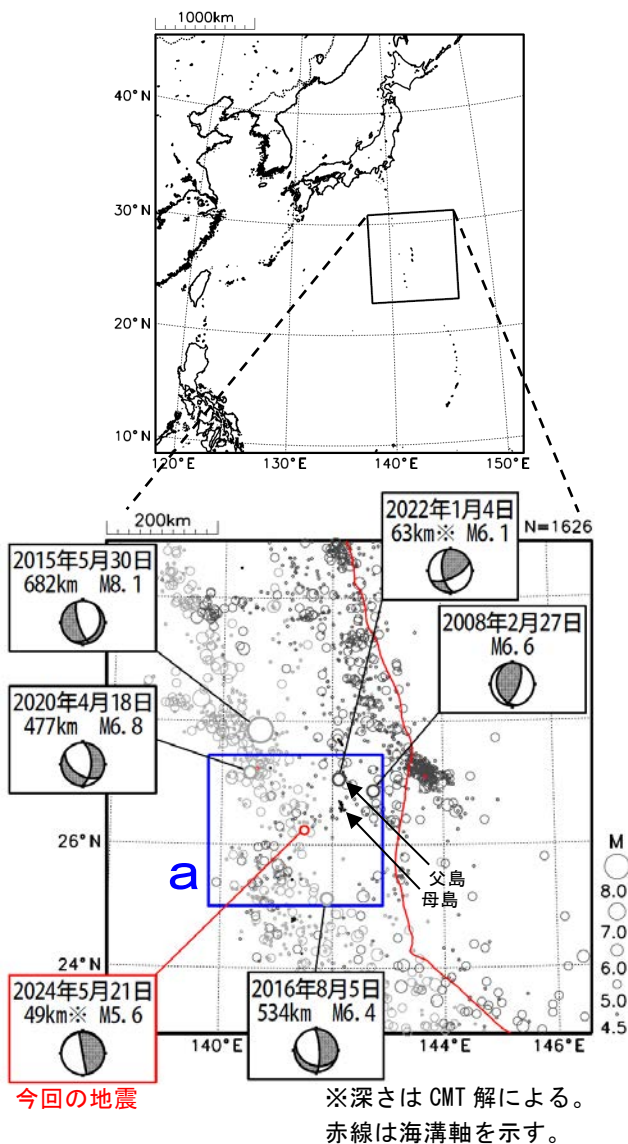
5月中に図5～10の領域外で発生した主な地震活動は次のとおりである。

- a 21日09時39分に父島近海の深さ49km(CMT解による)で $M5.6$ の地震が発生し、東京都小笠原村（母島）で震度4を観測したほか、小笠原村（父島）で震度3を観測した（p.4、21参照）。

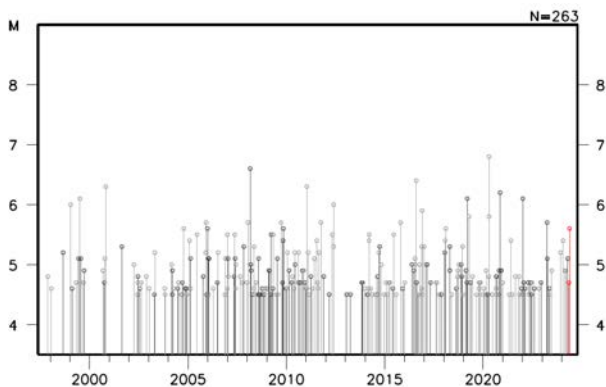
5月21日 父島近海の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2024年5月31日、
深さ0～700km、 $M \geq 4.5$)
2024年5月の地震を赤く表示
100kmより浅い地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内のM-T図



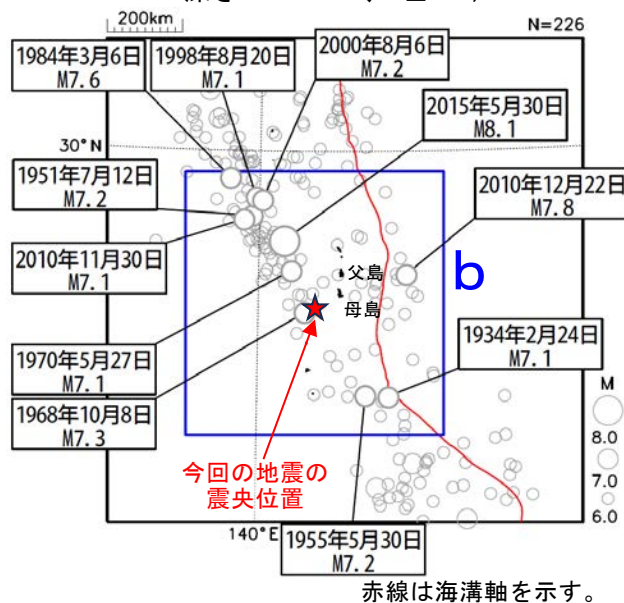
2024年5月21日09時39分に父島近海の深さ49km（CMT解による）で $M 5.6$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は東北東－西南西方向に圧力軸を持つ型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、2022年1月4日に $M 6.1$ の地震（最大震度5強）が発生するなど、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。

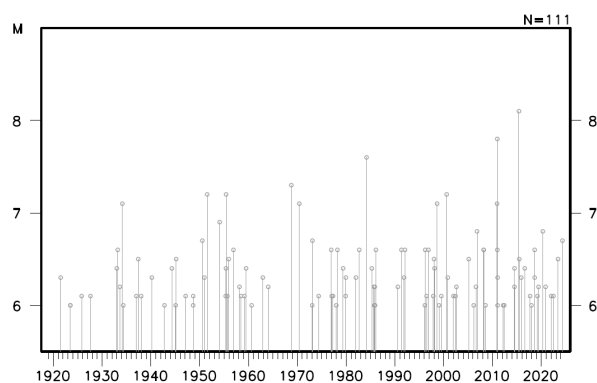
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、 $M 7.0$ 以上の地震が時々発生している。2015年5月30日に深さ682kmで発生した $M 8.1$ の地震（最大震度5強）では、関東地方で軽傷8人などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。また、1984年3月6日の $M 7.6$ の地震（最大震度4）では、関東地方を中心に死者1人、負傷者1人などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図

(1919年1月1日～2024年5月31日、
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$)



領域b内のM-T図



● 南海トラフ周辺の地殻活動

気象庁は、第80回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第458回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、令和6年6月7日に「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した^(注)。これに関連する概要資料をp.24に掲載する。

（注）<https://www.jma.go.jp/jma/press/hantei.html>

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

（注）南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

（1）紀伊半島中部から紀伊半島西部：5月30日から6月2日

2. 地殻変動の観測状況

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しています。周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られています。

GNS観測によると、2019年春頃から四国中部で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、2023年秋頃から一時的に鈍化していましたが、最近は継続しているように見えます。また、2022年初頭から、静岡県西部から愛知県東部にかけて、それまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。

（長期的な地殻変動）

GNS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2019年春頃からの四国中部の地殻変動及び2022年初頭からの静岡県西部から愛知県東部にかけての地殻変動は、それぞれ四国中部周辺及び渥美半島周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。このうち、四国中部周辺の長期的ゆっくりすべりは、2023年秋頃から一時的に鈍化していましたが、最近は継続して

います。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、及び長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートとの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

〔「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語〕

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されと考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3 km 以内で、相互の発生時間差が7 日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1 つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000 年秋頃～2005 年夏頃にかけて発生し、前回は2013 年はじめ頃から2017 年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約30 km～40 km で発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P 波やS 波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

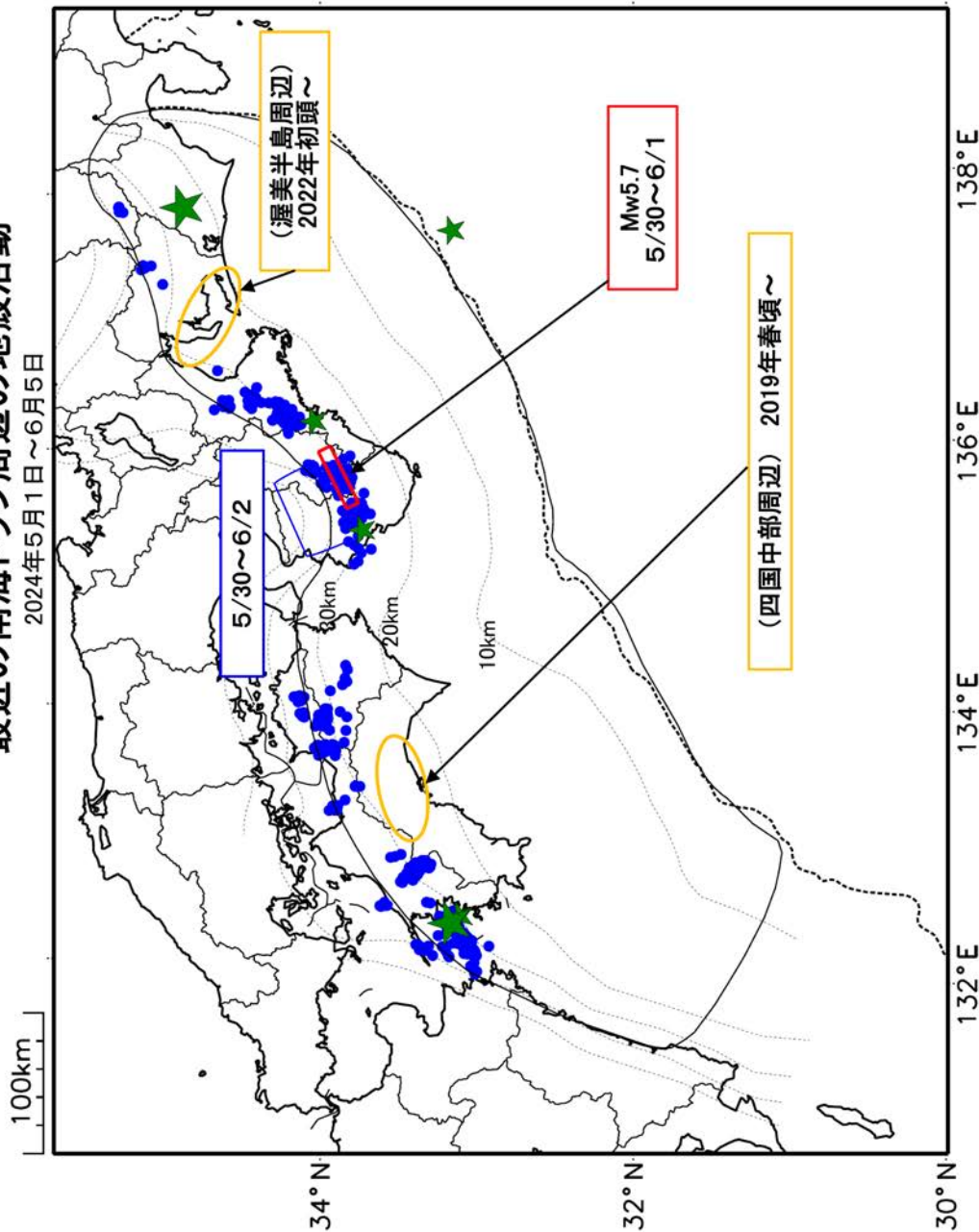
「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1 週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1 年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2024年5月1日～6月5日



- 緑(★)
通常の地震(最大震度3
以上もしくはM3.5以上、
大きさはMの大きさを示す)
- 青(●)
深部低周波地震(微動)
- 赤(□)
短期的ゆっくりすべり
- 黄(○)
長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、Baba et al.(2002)、Hirose et al.(2008)、Nakajima and Hasegawa(2007)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
短期的ゆっくりすべり.....産業技術総合研究所の解析結果を示す。
長期的ゆっくりすべり.....【渥美半島周辺、四国中部周辺】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和6年5月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下のとおりです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和6年6月10日14時現在）。

阿蘇山では、15日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

表1 令和6年6月10日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島※
	入山危険	西之島※
	レベル2 （火口周辺規制）	浅間山、阿蘇山、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ペヨネース列岩※、海徳海山※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山である ことに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、俱多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田崩山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（5月1日～31日）

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

浅間山【火口周辺警戒（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

山体浅部を震源とする火山性地震は、4月中旬以降増加した状態が続いています。3月中旬から認められていた山体の西側での膨張を示すと考えられる傾斜変動は、4月下旬から鈍化し、5月に入り停滞しています。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、1日あたり500トン前後で推移しており、2023年3月以前に比べて多い状態が続いています。引き続き、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

ベヨネース列岩【噴火警戒（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では2023年2月に変色水が認められていることから、引き続き、海底噴火が発生する可能性があります。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島【火口周辺警戒（入山危険）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、噴火は観測されていませんが、2022年10月以降しばしば噴火が観測されており、比較的活

発な火山活動は継続していると考えられます。

山頂火口から概ね 1.5km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

海德海山【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、噴火は認められないものの、2023 年 1 月に変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海德海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

硫黄島【火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報】

3 日から 19 日にかけて島北西部の井戸ヶ浜で断続的に噴火が認められました。

GNSS 連続観測によると、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生していることから、従来から小規模な噴火が見られていた領域も含め、噴火に警戒してください。

福德岡ノ場【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

2021 年 8 月下旬以降、噴火は認められないものの、引き続き、変色水域が確認されています。活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性あります。

福德岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

阿蘇山【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】←15 日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引上げ。

阿蘇山では、15 日に火山性微動の振幅の増大が見られ、一時的にやや大きな状態となりました。また、9 日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が 1 日あたり 1,600 トンとやや多い状態でした。

このため、火山活動が高まっていると判断し、15 日 10 時 30 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引き上げました。

その後、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量には急激な増加傾向は認められませんが、27 日から 28 日には火山性微動の振幅が大きな状態となるなど、火山活動の高まりが認められています。

GNSS 連続観測では、2023 年 12 月頃から深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線において伸びの傾向が認められていましたが、1 月下旬以降、伸びの傾向は停滞しています。

中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

桜島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）】

南岳山頂火口では、噴火¹⁾が 12 回発生し、このうち爆発は 5 回でした。噴煙は最高で火口縁上 3,000 m まで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で 6 合目（南岳山頂火口から約 1,100m）まで達しました。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域の GNSS 連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後噴火活動が再び活発化すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）及び火山現象に関する海上警報】

口永良部島では、4月以降、火山性地震が多い状態で経過しています。火山性地震は主に古岳火口付近の浅いところで発生しました。

GNSS連続観測では、2023年6月下旬頃から11月頃にかけて古岳付近の膨張を示す変動が観測されており、現在も膨張した状態が維持されています。

口永良部島では、火口付近の浅いところで地震活動が活発となっており、引き続き、新岳火口及び古岳火口の周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

新岳火口及び古岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が続いています。

噴火に伴う噴煙は最高で火口縁上1,300mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は火口中心から最大で約300mまで飛散しました。

GNSS連続観測では、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の更なる増加と推定される変動は認められません。島の西側で発生していると推定される火山性地震は概ね少ない状態で経過しています。

御岳火口中心から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

- 1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

（1）主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
東北地方	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八甲田山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年8月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年11月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年6月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年8月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2022年5月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月12日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年2月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替 2022年6月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意） 2023年1月26日噴火警報（周辺海域警戒）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月5日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替 2020年12月18日火口周辺警報（入山危険）切替
	海德海山	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年8月23日噴火警報（周辺海域警戒）
	噴火浅根	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月27日噴火警報（周辺海域警戒） 2023年9月21日噴火予報（活火山であることに留意）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒） 2021年8月16日噴火警報（周辺海域警戒）切替

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年3月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年3月29日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年4月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年8月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年5月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月9日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年10月13日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年10月20日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年2月24日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年3月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年1月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年4月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年5月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年7月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（大幡池）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2021年3月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山(新燃岳) (つづき)		2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年12月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年1月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月11日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年12月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年8月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	桜島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2022年7月24日噴火警報（レベル5、避難） 2022年7月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年5月29日噴火警報（レベル5、避難） 2015年10月21日噴火警報（レベル5、避難）切替 2016年6月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2018年8月29日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年6月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年5月25日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年6月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年7月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2024年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年4月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月23日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月29日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年9月17日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年7月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年1月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年6月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年1月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2024年1月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替

注）特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（２）その他の活火山

以下の活火山（＊印及び＊＊印を除く）では 2007 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。また、＊印の活火山では、活火山として選定された 2011 年 6 月 7 日に噴火予報（平常）を発表し、＊＊印の活火山では、活火山として選定された後の 2017 年 12 月 5 日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山＊、摩周、雄阿寒岳＊、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山＊＊、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015 年 5 月 18 日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

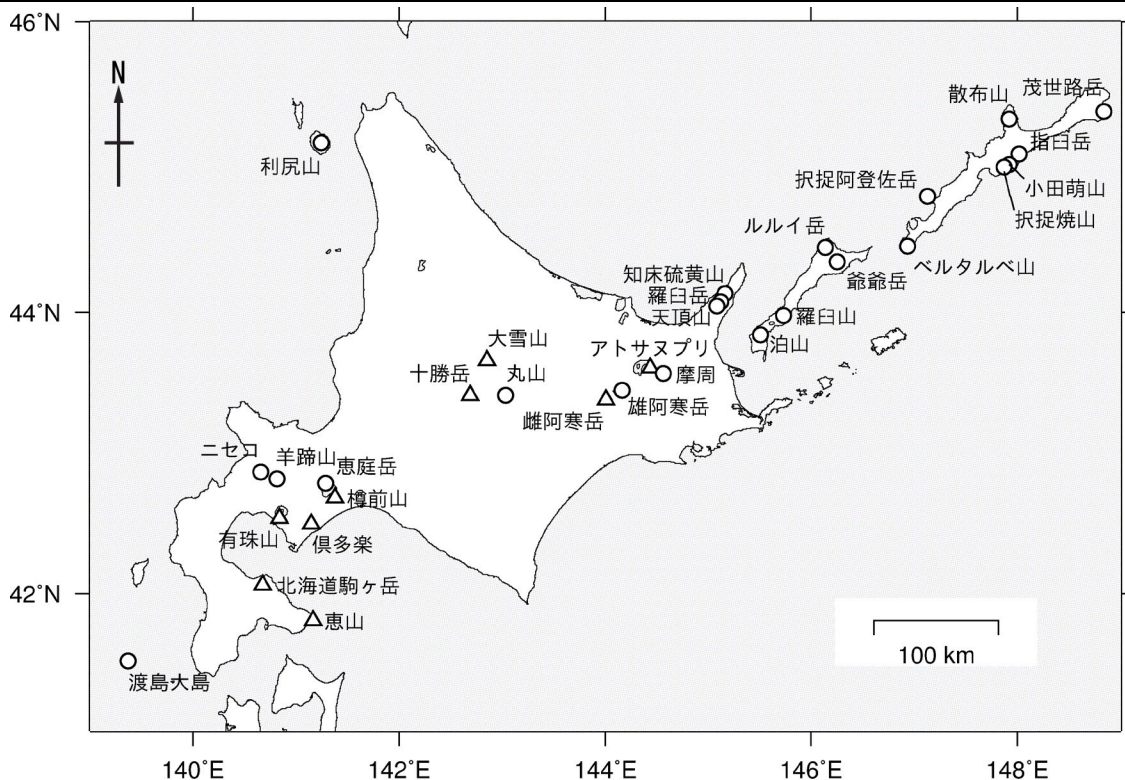
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和6年5月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（5月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡 例

噴火警戒レベル対象火山

▲：噴火警報発表中

△：噴火予報発表中

噴火警戒レベル対象外の火山

●：噴火警報発表中

○：噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道及び地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所のデータも利用して作成しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（5月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

62-2 火口、振子沢噴気孔群及びその周辺では引き続き噴煙・噴気が多く、熱活動が活発な状態が続いています。今後の火山活動の推移には注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

2023年12月から2024年3月頃にかけて、山頂火口原浅部（海拔下1 km付近）を震源とする振幅の小さな低周波地震や火山性微動が発生しましたが、その後の地震活動は低調です。

火山活動は概ね静穏に経過していますが、長期的には噴気活動や地殻変動に活発化の傾向がわずかに認められており、今後の推移には注意が必要です。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和6年5月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（5月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（5月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測で認められていた 2020 年中頃からの秋田焼山を挟む基線の伸びの変化は、2022 年終わり頃から鈍化しています。地震活動や噴気、地熱域等には特段の変化はみられません。火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

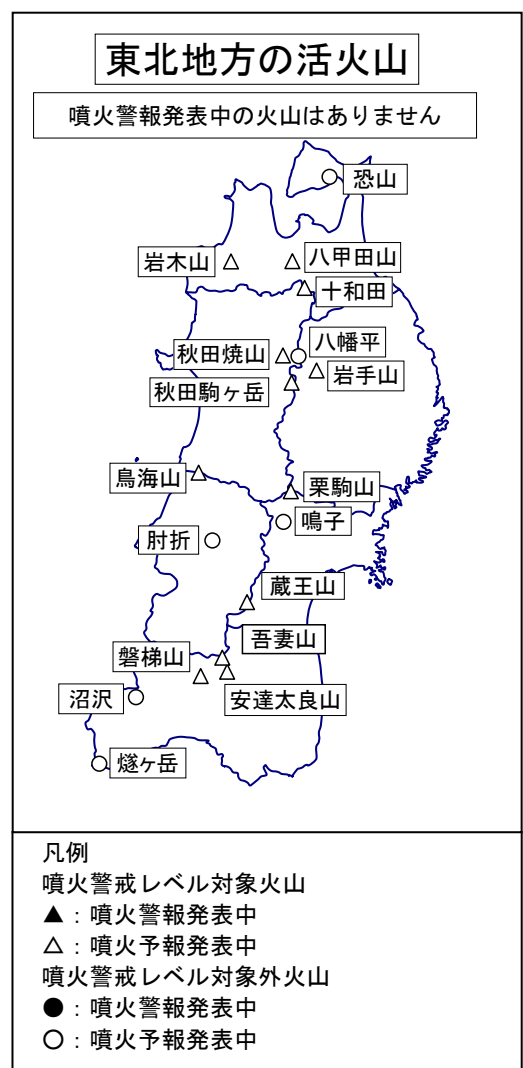
岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では、火山性地震の発生頻度がやや高い状態で推移しています。そのうち ^{めだけ} 女岳 付近では



2015年頃にかけて地熱域の拡大がみられ、その後大きな変化は認められていませんが、地震活動や熱活動がやや高まった状態で経過していることから、今後の火山活動の推移に留意が必要です。

鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震は少ない状態で経過しており、また、大穴火口周辺では緩やかな地盤の収縮を示唆する変化がみられていることから、山体浅部の熱水活動は低下しているとみられます。一方で、火山ガスや噴気・地熱の活動は継続していますので、今後の火山活動の推移には留意が必要です。また、入山する際には火山ガスに注意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山活動に特段の変化はありませんでした。

GNSS連続観測で認められていた2022年後半からの山体膨張を示すわずかな変化は2023年10月頃から停滞していますが、火山性地震は2022年10月以前に比べて多い状態で経過していますので、今後の火山活動の推移に留意してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

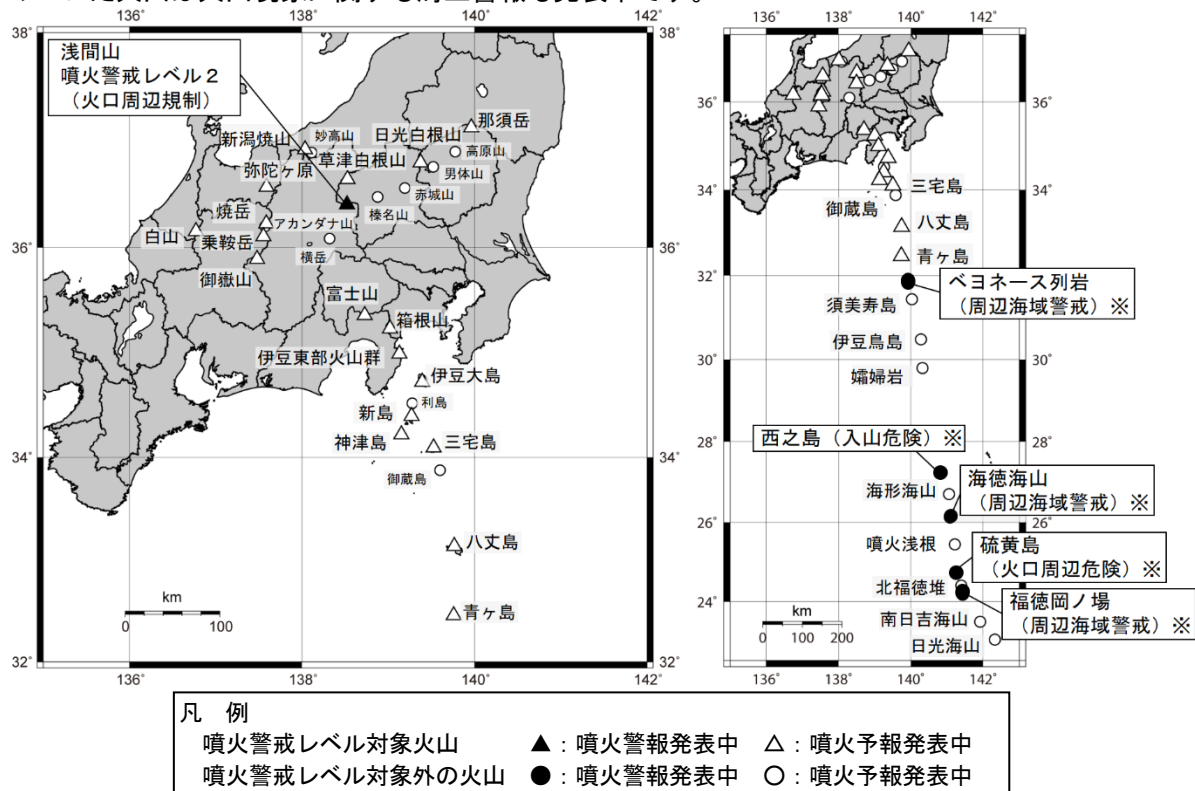
管内月間火山概況（令和6年5月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（5月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	浅間山
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、海德海山※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（5月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

湯釜周辺の地震活動は低調で浅部の膨張を示す明瞭な地殻変動もみられず、火山活動は静穏に経過しましたが、下旬から地震回数がやや増加しています。また、湯釜付近の浅部の熱水活動は継続しており、中長期的には再活発化も考えられるため、今後も火山活動の推移に十分注意が必要です。

湯釜火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があります。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、湯釜火口周辺では火山ガスの噴出がみられ、その周辺のくぼ地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがありますので注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

山体浅部を震源とする火山性地震は、4月中旬以降増加した状態が続いています。3月中旬から認められていた山体の西側での膨張を示すと考えられる傾斜変動は、4月下旬から鈍化し、5月に入り停滞しています。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、1日あたり500トン前後で推移しており、2023年3月以前に比べて多い状態が続いています。引き続き、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

新湯焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地獄谷周辺の地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動もみられませんが、地獄谷では活発な熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、地獄谷付近では火山ガスに注意が必要です。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

山頂付近の微小な地震が、3月下旬以降やや多い状態となっています。山頂付近の噴気の状況に変化は認められません。

GNSS連続観測では、山頂付近での緩やかな膨張を示すと考えられる変化は継続しており、焼岳周辺では数年おきに震度1以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられることから、中長期的に焼岳の火山活動は高まってきている可能性がありますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。また、噴気地帯にはとどまらないでください。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

剣ヶ峰南西斜面の一部の噴気孔では引き続き勢いよく噴気が出ており、地熱域の温度は高い状態が継続していますが、長期的には温度の低下傾向がみられます。

地震活動も長期的に低下傾向がみられ、火山活動は静穏な状態に戻る傾向が続いています。

GNSS 及び傾斜計による連続観測では、火山活動によるとみられる特段の地殻変動は認められません。

火山活動は静穏な状態に戻る傾向が続いていますが、地獄谷火口内では、突発的な火山灰等の噴出に引き続き注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に従い、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調に経過しています。GNSS 連続観測の一部基線でみられていた伸びの変化は、2024 年1 月頃から停滞しています。

大涌谷周辺の想定火口域では、活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意が必要です。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

熱活動、地震活動は低調に経過し、火山性微動も発生しておらず、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。地下深部へのマグマ供給によると考えられる長期的な島全体の膨張は、2018 年頃からほぼ停滞しています。これまでに供給されたマグマは地下深部に蓄積されていると考えられることから、今後火山活動が活発化する可能性がありますので、火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測で山体深部の膨張を示す伸びが続いています。2019 年4 月頃からみられた山体浅部の膨張を示すと考えられる伸びの傾向は 2023 年に入り停滞していますが、引き続き地下のマグマの蓄積は進んでいると考えられることから、今後火山活動が活発化する可能性があります。

現在も、主火孔の噴煙活動は弱いながらも続いており、火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性があります。山頂火口内及び主火孔から 500m 以内では火山灰噴出に警戒してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では 2023 年2 月に変色水が認められていることから、引き続き、海底噴火が発生する可能性があります。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してくだ

さい。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は観測されていませんが、2022年10月以降しばしば噴火が観測されており、比較的活発な火山活動は継続していると考えられます。

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

海徳海山〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められないものの、2023年1月に変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

3日から19日にかけて島北西部の井戸ヶ浜で断続的に噴火が認められました。

GNSS連続観測によると、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生していることから、従来から小規模な噴火が見られていた領域も含め、噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、引き続き、変色水域が確認されています。活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

管内月間火山概況（令和6年5月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

○ 九州地方の火山活動

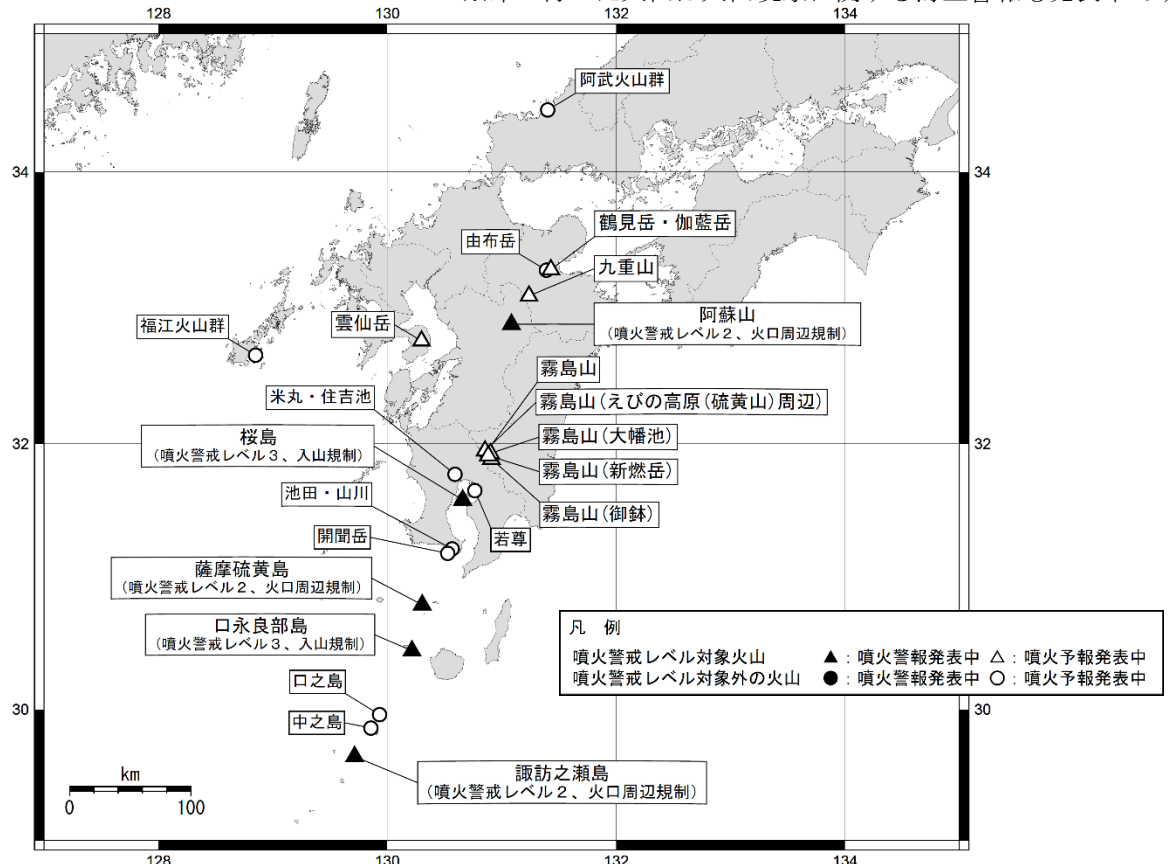
管内月間火山概況（令和6年5月）

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和6年5月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島※
	レベル2（火口周辺規制）	阿蘇山、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島

※印の付いた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たって、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『電子地形図（タイル）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（5月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

阿蘇山では、15日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、26日には伽藍岳付近のやや深い場所を震源とする振幅の大きな地震が発生しました。長期的にはB型地震¹⁾が時々発生しています。その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

鶴見岳・伽藍岳の想定火口域内では、噴気、火山ガス等の噴出が見られますので、注意してください。

九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態であり、噴気地帯の状況にも特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。長期的には地熱域の温度は低下していますが、硫黄山付近の噴気地帯地下の温度上昇を示す全磁力の変化は継続しています。今後の火山活動に留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] ←15日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に上げ。

阿蘇山では、15日に火山性微動の振幅の増大が見られ、一時的にやや大きな状態となりました。また、9日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が1日あたり1,600トンとやや多い状態でした。

このため、火山活動が高まっていると判断し、15日10時30分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

その後、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量には急激な増加傾向は認められませんが、27日から28日には火山性微動の振幅が大きな状態となるなど、火山活動の高まりが認められています。

GNSS連続観測では、2023年12月頃から深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線において伸びの傾向が認められていましたが、1月下旬以降、伸びの傾向は停滞しています。

中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1～2km付近を震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

硫黄山では、活発な噴気活動が続いています。硫黄山付近の浅いところを震源とする火山性地震は少ない状態で経過しています。

硫黄山では、現時点では噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山火口内、及び硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くにはとどまらないでください。

霧島山（大幡池）^{きりしまやま おおはたいけ} [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

霧島山（新燃岳）^{きりしまやま しんもえだけ} [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震は少ない状態で経過しています。

GNSS 連続観測では、霧島山を挟む基線において、2022 年 11 月頃から、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる伸びがみられていましたが、2023 年 4 月以降は停滞しています。

火山活動に高まりは認められず、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、新燃岳火口内、火口縁及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰の噴出や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

霧島山（御鉢）^{きりしまやま おはち} [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、火口内でごく少量の火山灰等を噴出する規模の小さな現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

桜島^{さくらじま} [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

南岳山頂火口では、噴火¹⁾が 12 回発生し、このうち爆発²⁾は 5 回でした。噴煙は最高で火口縁上 3,000m まで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で 6 合目（南岳山頂火口から約 1,100m）まで達しました。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域の GNSS 連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後噴火活動が再び活発化すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩 硫黄島^{さつまいおうじま} [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 1 日あたり 1,000 トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね 0.5km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

くちのえらぶじま

口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）及び火山現象に関する海上警報]

口永良部島では、4月以降、火山性地震が多い状態で経過しています。火山性地震は主に古岳火口付近の浅いところで発生しました。

GNSS連続観測では、2023年6月下旬頃から11月頃にかけて古岳付近の膨張を示す変動が観測されており、現在も膨張した状態が維持されています。

口永良部島では、火口付近の浅いところで地震活動が活発となっており、引き続き、新岳火口及び古岳火口の周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

新岳火口及び古岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が続いています。

噴火に伴う噴煙は最高で火口縁上1,300mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は火口中心から最大で約300mまで飛散しました。

GNSS連続観測では、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の更なる増加と推定される変動は認められません。島の西側で発生していると推定される火山性地震は概ね少ない状態で経過しています。

御岳火口中心から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 一般的に、火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長いものをB型地震と呼んでいます。火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられています。
- 2) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 3) 桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、気象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した場合に爆発としています。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和6年5月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

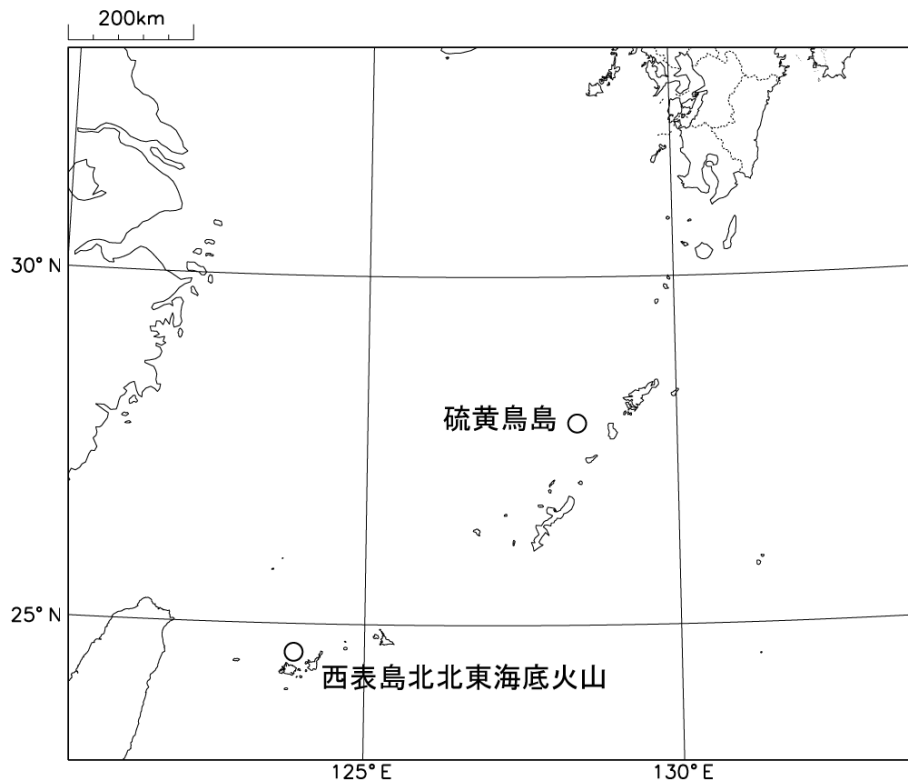
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

硫黄島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

表 令和6年5月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第37～45号	3日、6日、10日、13日、17日、20日、24日、27日、31日 16時00分	噴火活動が継続。南岳山頂火口の爆発、噴火、噴煙、大きな噴石飛散、火映の状況。昭和火口では噴火及び火映は観測されていない。 現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）放出量（7日、17日、30日）は、2000、700、2000トン/日で、やや少ない～多い。 火山性地震、微動の発生状況。 GNSS連続観測では、島内の一部の基線で2023年1月頃から山体膨張とみられるわずかな伸びが認められたが、同年4月頃から停滞。始良カルデラ（鹿児島湾奥部）を挟む基線では、長期にわたり地下深部の膨張を示す緩やかな伸びがみられる。始良カルデラ地下深部にマグマが蓄積した状態で、火山ガス放出量も概ね多いことから、今後噴火活動が再び活発化すると考えられる。
		降灰予報(速報)	20日 01時40分 22日 17時31分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	20日 01時56分 22日 17時45分	噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 火口周辺規制)	解説情報 第40～48号	3日、6日、10日、13日、17日、20日、24日 16時00分 27日 16時05分 31日 16時00分	古岳火口付近浅部の火山性地震は多い状態。新岳付近の火山性地震は少ない状態。新岳火口で白色噴煙を観測。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は少ない状態。 GNSS観測で、2023年11月頃にかけてみられた古岳付近の膨張を示す変動で膨張した状態が維持されている。 火口付近浅部の地震活動はやや活発で、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量や古岳の地熱活動は2023年6月からの活動以前の状態より高まった状態で推移。新岳火口及び古岳火口の周辺において噴火が発生する可能性がある。

令和 6 年 5 月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
阿蘇山	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、 活火山であることに留意)	解説情報(臨時) 第 19～20 号	15 日 09 時 20 分, 35 分	15 日 06 時過ぎから火山性微動の振幅がやや大きい。9 日の火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 1600 トン/日でやや多い。活動がやや高まっている可能性あり。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	火口周辺警報	15 日 10 時 30 分	15 日 09 時過ぎから火山性微動の振幅が $1.5 \mu\text{m/s}$ を超えてやや大きい状態で継続。9 日の火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が 1600 トン/日でやや多い。火山活動が高まっている。中岳第一火口から概ね 1 km の範囲に影響を及ぼす噴火の可能性はある。
		解説情報 第 21～26 号	15 日 11 時 25 分 15 日 16 時 30 分 16 日、17 日、24 日 16 時 00 分 27 日 13 時 45 分	火山性微動の振幅が 15 日 06 時過ぎからやや大きくなり、その後、増減を繰り返し、16 日 07 時頃からは小さな状態。27 日 10 時頃から振幅が増減を繰り返す。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 15 日以降少ない状態。火山性微動の一時的な増大により火山活動に高まりが認められる。中岳第一火口から概ね 1 km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がある。
		解説情報(臨時) 第 27～29 号	27 日 15 時 25 分 28 日、29 日 16 時 00 分	火山性微動の振幅が 27 日 10 時頃から増大し 14 時頃にさらに増大し急激に減少。その後は増減を繰り返し大きな状態、28 日に入り低下傾向がみられ 20 時過ぎから小さな状態。29 日、機動調査班の現地調査で火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 1000 トン/日と前回から急激な増加はみられず。地殻変動観測では特段の変化は認められず。火山活動のさらなる活発化は認められない。
		解説情報 第 30 号	31 日 16 時 00 分	火山性微動の振幅は 31 日に一時的にやや大きくなったが、概ね小さい状態。中岳第一火口では、5 日以降、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 500～から 1600 トン/日で推移。15 日以降、火山性微動の振幅に時々増大がみられ、火山活動に高まりが認められる。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報 第 36～44 号	3 日、6 日、10 日、13 日、17 日、20 日、24 日、 27 日、31 日 16 時 00 分	火山性地震は、4 月中旬以降増加。2023 年 11 月頃より停滞していた山体の西側での膨張を示すと考えられる傾斜変動が、3 月中旬から再び認められている。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 2023 年 3 月以前に比べて多い状態。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報 第 19～22 号	6 日、13 日、20 日 16 時 00 分 27 日 16 時 05 分	火山性地震は少ない状態。火山性微動はなし。GNSS 連続観測で島内の一部の基線で 2023 年 10 月頃から縮みの変化がみられる。噴煙、火映、地殻変動等の火山活動の状況。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報 第 25～28 号	6 日、13 日、20 日 16 時 00 分 27 日 16 時 05 分	噴火活動が継続。爆発及び大きな噴石の飛散、噴煙、火映の状況。集落周辺での降灰の状況。火山性地震、微動の発生状況。GNSS では、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の増加を示す変動は認められない。
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から 1 時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	(今期間発表なし)	噴火発生から 6 時間先まで (1 時間ごと) に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。

注 1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注 2) 浅間山、阿蘇山、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。阿蘇山では 15 日 11 時に開始した。

● 世界の主な地震

令和6年（2024年）5月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

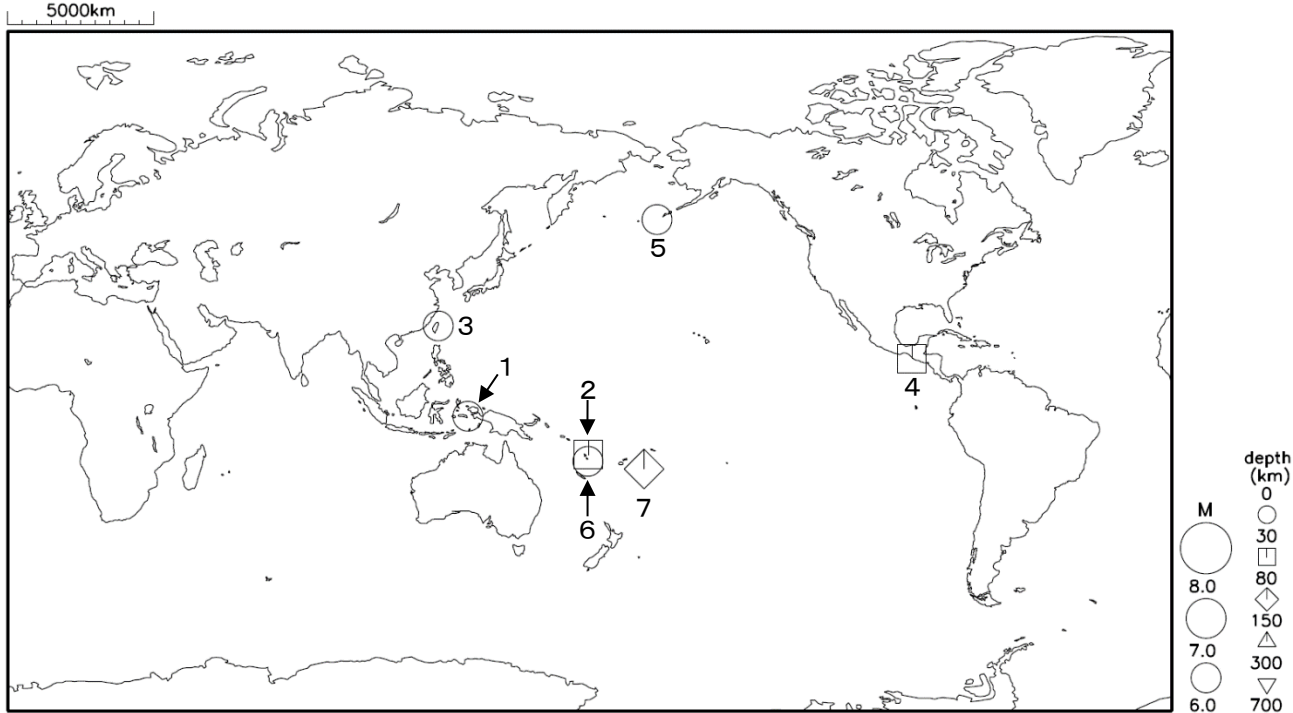


図1 令和6年（2024年）5月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和6年（2024年）5月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	05月06日03時33分	S 3° 18.8′	E130° 57.8′	13			6.1	インドネシア、セラム			
2	05月08日17時17分	S15° 9.3′	E168° 1.3′	41			6.1	パヌアツ諸島			
3	05月10日16時45分	N24° 11.4′	E121° 50.8′	13		6.5	(5.8)	台湾付近			
4	05月12日20時39分	N14° 27.1′	W 92° 26.8′	58			6.4	メキシコ、チアパス州沿岸			
5	05月19日18時35分	N52° 9.5′	W170° 52.0′	28			6.0	アリューシャン列島フォックス諸島			
6	05月26日07時23分	S17° 6.5′	E167° 53.0′	29			6.3	パヌアツ諸島			
7	05月27日05時47分	S19° 25.0′	W174° 52.0′	127			6.6	トンガ諸島			

- 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2024年6月6日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMTによる。
- 被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2024年6月6日現在) による。
- 地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」 (<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

● 世界の主な火山活動

令和6年（2024年）5月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。



図 令和6年（2024年）5月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ “Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (https://volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。

● 付録1. 震度1以上を観測した地震の表

令和6年5月中に震度1以上を観測した地震は133回であった。

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成25年12月 地震・火山月報（防災編）の付録2参照）を記す。なお、*のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域ではほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さにCMT解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模
1	1 02 53	石川県能登地方 37° 31.2' N 137° 18.8' E 13km M: 2.6 石川県 1 珠洲市正院町*=1.3
2	1 08 28	石川県能登地方 37° 10.4' N 136° 44.9' E 6km M: 2.8 石川県 1 志賀町富来領家町=1.2
3	1 18 16	三重県南部 34° 06.6' N 136° 11.5' E 36km M: 3.5 三重県 2 熊野市紀和町板屋*=1.5 1 熊野市有馬町*=0.9 尾鷲市南浦*=0.7 三重紀北町相賀*=0.5 奈良県 1 山添村大西*=0.9 宇陀市大字陀迫間*=0.9 黒滝村寺戸*=0.5
4	1 21 54	石川県能登地方 37° 22.2' N 136° 52.6' E 8km M: 3.0 石川県 2 輪島市鳳至町=1.8 1 輪島市河井町*=0.9 輪島市門前町走出*=0.5
5	2 02 27	岐阜県飛騨地方 35° 59.9' N 137° 31.7' E 9km M: 2.5 長野県 1 木曽町開田高原西野*=0.6 岐阜県 1 高山市高根町*=1.2
6	2 02 35	福島県沖 37° 44.5' N 141° 36.3' E 58km M: 3.6 宮城県 1 石巻市桃生町*=1.0 大崎市田尻*=0.7 山元町浅生原*=0.6 角田市角田*=0.6 福島県 1 相馬市中村*=0.8 南相馬市原町区高見町*=0.7 田村市船引町=0.6 川内村下川内=0.6 浪江町幾世橋=0.6 南相馬市原町区三島町=0.6
7	2 02 37	種子島近海 30° 36.1' N 131° 06.2' E 31km M: 3.2 鹿児島県 2 中種子町野間*=1.5 1 西之表市住吉=1.2
8	2 04 06	宮城県沖 38° 55.4' N 142° 06.1' E 44km M: 3.6 岩手県 1 住田町世田米*=0.7 大槌町上町*=0.7 大船渡市大船渡町=0.7 釜石市中妻町*=0.5 陸前高田市高田町*=0.5 宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=0.9
9	2 08 20	山口県北西沖 34° 26.2' N 131° 24.3' E 17km M: 4.2 山口県 3 萩市川上*=3.0 長門市三隅*=2.8 阿武町奈古*=2.8 2 萩市福井*=2.4 萩市土原=2.2 山口市阿東生雲*=2.2 萩市明木*=1.9 萩市吉部*=1.9 美祢市秋芳町秋吉*=1.9 萩市須佐*=1.9 長門市深川中学校*=1.7 山口市阿東徳佐*=1.7 美祢市美東町大田*=1.6 萩市江向*=1.6 山口市龜山町*=1.6 美祢市大嶺町*=1.6 防府市西浦*=1.6 長門市日置*=1.5 防府市寿=1.5 萩市下田万*=1.5 1 岩国市美川町高ヶ原*=1.4 山口市徳地堀*=1.4 長門市東深川*=1.3 山口市前町=1.3 山口市秋徳東*=1.2 岩国市錦町広瀬*=1.2 光市中央*=1.2 下関市清末陣屋*=1.1 下松市大手町*=1.1 田布施町下田布施=1.1 下関市豊浦町川棚=1.0 周南市桜馬場通り*=1.0 周南市熊毛中央町*=1.0 萩市見島本村*=1.0 平生町平生*=1.0 下関市竹崎=1.0 山陽小野田市日の出*=0.9 岩国市玖珂町阿山*=0.9 岩国市本郷町本郷*=0.9 岩国市周東町下久原*=0.9 下関市豊田町殿敷*=0.9 周南市鹿野上*=0.9 周南市岐山通り*=0.8 周南市富田*=0.8 周防大島町東和総合支所*=0.8 山陽小野田市鴨庄*=0.8 山口市小郡下郷*=0.8 山口市阿知須*=0.8 岩国市玖珂支所*=0.8 光市岩田*=0.8 下関市豊北町角島*=0.8 周防大島町平野*=0.7 周防大島町久賀*=0.7 山口市秋穂二島*=0.7 宇部市東須恵*=0.7 岩国市今津=0.6 岩国市横山*=0.6 柳井市南町*=0.6 岩国市由宇町*=0.6 周防大島町西安下庄*=0.6 柳井市大島*=0.5 岩国市美川町四馬神*=0.5 宇部市常盤町*=0.5 萩市見島宇津=0.5 広島県 2 呉市二河町*=2.0 1 廿日市市大野*=1.1 広島安佐北区可部南*=1.0 江田島市江田島町*=0.9 広島西区己斐*=0.9 江田島市能美町*=0.8 呉市宝町=0.8 大竹市小方*=0.7 呉市広*=0.6 江田島市沖美町*=0.6 廿日市市津田*=0.6 熊野町役場*=0.6 広島佐伯区利松*=0.6 広島安芸区中野*=0.5 呉市下蒲刈町*=0.5 呉市川尻町*=0.5 広島安佐南区祇園*=0.5 福岡県 2 行橋市今井*=1.5 1 朝倉市杷木池田*=1.3 行橋市中央*=1.2 みやこ町犀川本庄*=1.1 みやこ町勝山上田*=1.0 飯塚市立岩*=1.0 添田町添田*=1.0 赤村内田*=1.0 春日市原町*=0.9 荻田町若久=0.9

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		北九州小倉南区横代東町※=0.8 北九州小倉南区若園※=0.7 苅田町京町※=0.7 福岡川崎町田原※=0.7 福岡空港=0.7 福岡市井城※=0.7 嘉麻市大隈町※=0.7 飯塚市川島=0.6 中間市長津※=0.5 みやこ町豊津※=0.5 宗像市江口神原※=0.5				
		島根県 1 浜田市三隅町三隅※=1.4 吉賀町柿木村柿木※=1.4 吉賀町六日市※=1.3 益田市常盤町※=1.3 津和野町後田※=1.2 江津市江津町※=1.1 大田市温泉津町小浜※=0.8 邑南町瑞穂支所※=0.7 浜田市殿町※=0.7 島根美郷町都賀本郷※=0.7 浜田市大辻町=0.5 津和野町枕瀬※=0.5 川本町川本※=0.5 邑南町下口羽※=0.5				
		大分県 1 中津市三光※=0.5				
10	2 18 51	釧路沖 北海道 1 根室市牧の内※=1.0 根室市瑤瑤瑁※=0.6	42° 51.7' N	145° 34.3' E	35km	M: 3.8
11	3 06 51	静岡県西部 長野県 1 根羽村役場※=0.7 売木村役場※=0.5 静岡県 1 浜松天竜区佐久間町※=0.5 愛知県 1 新城市作手高里松風呂※=0.5	35° 03.8' N	137° 52.7' E	24km	M: 2.8
12	3 07 34	福井県嶺北 福井県 1 勝山市旭町=0.9 永平寺町山王※=0.6 大野市天神町※=0.5	36° 06.6' N	136° 29.9' E	8km	M: 3.1
13	3 08 23	福井県嶺北 福井県 1 勝山市旭町=0.5	36° 06.5' N	136° 29.7' E	8km	M: 2.5
14	3 08 27	福井県嶺北 福井県 1 勝山市旭町=0.5	36° 06.6' N	136° 29.7' E	8km	M: 2.7
15	3 09 10	和歌山県北部 和歌山県 2 みなべ町芝※=1.9 田辺市中屋敷町※=1.8 白浜町日置※=1.8 1 御坊市藺=1.4 湯浅町青木※=1.4 田辺市中辺路町栗栖川※=1.4 御坊市湯川※=1.3 田辺市鮎川※=1.3 上富田町朝来※=1.2 田辺市本宮町本宮※=1.1 日高川町土生※=1.1 白浜町消防本部=1.1 有田川町清水※=1.1 すさみ町周参見※=1.1 みなべ町土井=1.0 由良町里※=0.9 紀美野町下佐々※=0.9 田辺市龍神村西※=0.8 海南市下津※=0.7 和歌山日高町高家※=0.7 有田市初島町※=0.6 田辺市中辺路町近露=0.6 和歌山美浜町和田※=0.5 和歌山市一番丁※=0.5 かつらぎ町花園梁瀬※=0.5 三重県 1 熊野市紀和町板屋※=1.4 紀宝町神内※=0.9 三重紀北町相賀※=0.8 三重御浜町阿田和※=0.5 奈良県 1 桜井市初瀬=1.1 十津川村小原※=1.0 天川村洞川=0.6 明日香村橋※=0.6 吉野町上市※=0.6 徳島県 1 美波町西の地※=0.6	33° 48.4' N	135° 21.1' E	46km	M: 3.8
16	3 11 42	豊後水道 愛媛県 1 宇和島市津島町※=1.3 宇和島市丸穂※=1.2 愛媛鬼北町近永※=1.0 大洲市肱川町※=1.0 愛南町船越※=0.9 八幡浜市五反田※=0.9 大洲市長浜※=0.9 西予市三瓶町※=0.8 愛南町城辺※=0.7 八幡浜市保内町※=0.7 松野町松丸※=0.7 伊方町三崎※=0.6 西予市明浜町※=0.6 宇和島市三間町※=0.6 内子町内子※=0.5 西予市宇和町※=0.5 高知県 1 宿毛市桜町※=1.2	33° 15.1' N	132° 24.7' E	38km	M: 3.4
17	3 12 32	石川県能登地方 石川県 1 穴水町大町※=0.9	37° 14.8' N	136° 49.9' E	11km	M: 2.8
18	3 13 52	豊後水道 愛媛県 2 宇和島市丸穂※=1.5 1 愛南町柏※=0.7 愛南町船越※=0.7 西予市明浜町※=0.5 高知県 1 宿毛市桜町※=1.4 宿毛市片島=0.6	33° 11.5' N	132° 23.1' E	37km	M: 3.2
19	4 01 35	豊後水道 愛媛県 1 宇和島市丸穂※=1.0 愛南町船越※=0.9 松野町松丸※=0.6 高知県 1 宿毛市桜町※=1.1	33° 12.5' N	132° 20.7' E	38km	M: 3.2
20	4 09 40	豊後水道 愛媛県 3 宇和島市丸穂※=2.5 2 宇和島市三間町※=2.4 西予市三瓶町※=1.9 宇和島市住吉町=1.8 大洲市肱川町※=1.8 松野町松丸※=1.8 西予市城川町※=1.8 宇和島市吉田町※=1.8 西予市明浜町※=1.8 西予市宇和町※=1.6 八幡浜市五反田※=1.6 宇和島市津島町※=1.6 愛媛鬼北町近永※=1.6 愛南町一本松※=1.5 愛南町船越※=1.5 1 久万高原町久万※=1.4 西予市野村町=1.4 愛南町柏※=1.3 大洲市大洲※=1.2 愛媛鬼北町成川=1.2 内子町内子※=1.1 愛南町城辺※=1.1 東温市南方※=1.0 愛媛鬼北町下鍵山※=1.0 内子町平岡※=1.0 大洲市長浜※=1.0 伊予市中山町※=1.0 大洲市河辺町※=1.0 今治市菊間町※=0.9 東温市見奈良※=0.9 砥部町総津※=0.8 八幡浜市広瀬=0.8 砥部町宮内※=0.7 内子町小田※=0.7 伊方町湊浦※=0.7 八幡浜市保内町※=0.7 松山市富久町※=0.7 西条市丹原町鞍瀬=0.6 愛南町御荘※=0.6 伊予市下吾川※=0.6 松山市中島大浦※=0.5 高知県 3 宿毛市桜町※=2.6 2 宿毛市片島=1.5 四万十町大正※=1.5 黒潮町佐賀※=1.5 1 大月町弘見※=1.1 四万十市古津賀※=1.1 四万十町十川※=1.0 黒潮町入野=1.0 四万十町琴平町※=0.7 四万十町窪川中津川=0.5 大分県 1 国東市田深※=1.2 臼杵市臼杵※=1.1 国東市鶴川=0.9 津久見市立花町※=0.8 津久見市宮本町※=0.8	33° 13.8' N	132° 22.4' E	38km	M: 3.9

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		佐伯市蒲江蒲江浦=0.8 佐伯市直川*=0.8 佐伯市鶴見*=0.8 佐伯市春日町*=0.7 佐伯市上浦*=0.6 佐伯市弥生*=0.6 佐伯市米水津*=0.6 国東市安岐町*=0.6 宮崎県 1 延岡市北川町川内名白石*=0.9 高千穂町三田井=0.5				
21	4 09 41	石川県能登地方 石川県 1 輪島市河井町*=0.5	37° 23.7' N	136° 53.8' E	8km	M: 1.7
22	4 14 14	トカラ列島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村中之島徳之尾=2.3 1 鹿児島十島村口之島出張所*=1.3 鹿児島十島村中之島出張所*=0.6	29° 56.5' N	130° 00.3' E	14km	M: 3.2
23	4 23 32	豊後水道 高知県 1 宿毛市桜町*=0.8	33° 10.7' N	132° 23.0' E	37km	M: 2.6
24	5 01 34	種子島近海 鹿児島県 2 中種子町野間*=1.8 1 南種子町西之*=1.4 南種子町中之上*=1.4 南種子町中之下=1.1	30° 20.0' N	131° 02.2' E	15km	M: 3.7
25	5 06 54	岩手県沖 岩手県 1 九戸村伊保内*=0.7	40° 20.9' N	142° 02.0' E	52km	M: 3.4
26	5 14 47	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.5	29° 56.8' N	130° 00.7' E	11km	M: 2.2
27	5 14 52	京都府南部 京都府 1 亀岡市安町=1.3 京都中京区西ノ京=0.8 亀岡市余部町*=0.8 京都右京区京北周山町*=0.7 京都西京区樫原*=0.7 京都西京区大枝*=0.6 南丹市八木町八木*=0.5 大阪府 1 能勢町森上*=1.0 豊能町余野*=0.6 能勢町役場*=0.5 兵庫県 1 三田市下里*=0.9	35° 02.9' N	135° 32.6' E	12km	M: 3.0
28	6 00 50	豊後水道 愛媛県 3 宇和島市丸穂*=2.6 2 八幡浜市五反田*=2.4 愛南町柏*=2.3 宇和島市吉田町*=2.2 西予市明浜町*=2.0 愛南町船越*=1.8 八幡浜市広瀬=1.8 宇和島市住吉町=1.7 愛南町一本松*=1.7 大洲市長浜*=1.6 西予市宇和町*=1.6 愛南町城辺*=1.6 西予市三瓶町*=1.5 1 八幡浜市保内町*=1.4 伊方町湊浦*=1.3 愛南町御荘*=1.2 西予市野村町=1.1 大洲市肱川町*=1.0 宇和島市津島町*=1.0 松野町松丸*=1.0 久万高原町久万*=1.0 内子町小田*=0.9 伊方町三崎*=0.9 宇和島市三間町*=0.9 愛媛鬼北町近永*=0.9 大洲市大洲*=0.8 西予市城川町*=0.8 伊方町三机*=0.7 松山市富久町*=0.7 愛媛鬼北町成川=0.6 内子町平岡*=0.6 高知県 3 宿毛市桜町*=2.6 2 黒潮町佐賀*=1.6 宿毛市片島=1.5 山口県 1 四万十市古津賀*=1.1 四万十町大正*=0.9 大月町弘見*=0.6 黒潮町入野=0.5 大分県 1 防府市西浦*=0.6 柳井市大島*=0.5 周防大島町東和総合支所*=0.5 1 国東市田深*=1.1 大分市佐賀関*=1.1 臼杵市臼杵*=1.0 国東市鶴川=0.8 佐伯市蒲江蒲江浦=0.8 津久見市宮本町*=0.7 佐伯市鶴見*=0.7 津久見市立花町*=0.6 佐伯市弥生*=0.6 国東市安岐町*=0.6 宮崎県 1 高千穂町三田井=0.8	33° 09.3' N	132° 24.6' E	37km	M: 3.9
29	6 03 53	石川県能登地方 石川県 2 輪島市鳳至町=1.6 1 輪島市河井町*=1.1 穴水町大町*=0.9	37° 23.0' N	136° 56.2' E	10km	M: 3.3
30	6 15 26	種子島南東沖 鹿児島県 1 南種子町西之*=1.3 屋久島町口永良部島公民館*=1.2 南種子町中之上*=1.1 中種子町野間*=0.9 南種子町中之下=0.6 錦江町田代支所*=0.6	29° 57.2' N	131° 17.0' E	24km	M: 4.6
31	7 15 08	北海道東方沖 北海道 2 根室市瑤瑤瑠*=2.0 1 根室市落石東*=1.4 根室市牧の内*=1.0 根室市厚床*=0.9 別海町本別海*=0.7 根室市弥栄=0.6 別海町常盤=0.5	43° 34.0' N	146° 33.1' E	50km	M: 4.0
32	7 16 01	新潟県中越地方 新潟県 1 十日町市松代*=0.5	37° 06.0' N	138° 38.6' E	10km	M: 1.9
33	7 16 25	トカラ列島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村中之島徳之尾=2.4 鹿児島十島村口之島出張所*=1.6 1 鹿児島十島村中之島出張所*=0.9	29° 56.4' N	130° 00.6' E	13km	M: 3.6
34	7 23 17	福島県沖 福島県 1 白河市新白河*=0.9	37° 03.8' N	141° 13.6' E	59km	M: 3.6
35	8 06 53	能登半島沖 石川県 1 珠洲市正院町*=1.2 珠洲市三崎町=1.1	37° 34.6' N	137° 24.1' E	8km	M: 3.6

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
36	8 08 47	豊後水道 愛媛県 1 宇和島市丸穂※=0.5	33° 11.7' N	132° 23.1' E	36km	M: 2.4
37	8 10 36	豊後水道 愛媛県 高知県 1 宇和島市丸穂※=0.8 松野町松丸※=0.7 1 宿毛市桜町※=0.7	33° 12.2' N	132° 20.9' E	38km	M: 3.0
38	8 20 39	豊後水道 愛媛県 高知県 1 宇和島市丸穂※=0.9 愛南町船越※=0.7 1 宿毛市桜町※=1.2	33° 12.6' N	132° 20.9' E	39km	M: 3.3
39	9 04 34	大分県南部 愛媛県 2 宇和島市丸穂※=1.5 1 宇和島市三間町※=1.3 大洲市肱川町※=1.2 伊方町湊浦※=0.9 愛南町柏※=0.8 西予市明浜町※=0.8 宇和島市住吉町=0.7 愛南町一本松※=0.7 松野町松丸※=0.6 西予市野村町=0.6 愛媛鬼北町近永※=0.5 愛南町船越※=0.5 熊本県 2 阿蘇市波野※=1.7 熊本高森町高森※=1.5 1 産山村山鹿※=1.2 山都町浜町※=0.9 山都町今※=0.7 南阿蘇村中松=0.5 大分県 2 大分市新春日町※=1.6 佐伯市蒲江蒲江浦=1.5 1 佐伯市春日町※=1.2 中津市植野※=1.2 臼杵市臼杵※=1.2 佐伯市役所※=1.1 豊後大野市千歳町※=1.1 竹田市直入町※=1.1 津久見市宮本町※=1.1 佐伯市弥生※=1.0 豊後大野市清川町※=1.0 佐伯市米水津※=1.0 佐伯市鶴見※=1.0 佐伯市上浦※=0.9 由布市挾間町※=0.9 豊後大野市犬飼町犬飼※=0.9 津久見市立花町※=0.9 竹田市荻町※=0.9 豊後大野市緒方町※=0.8 竹田市竹田小学校※=0.8 竹田市会々※=0.8 佐伯市宇目※=0.8 豊後大野市三重町=0.8 大分市明野北=0.7 大分市野津原※=0.7 豊後大野市大野町※=0.7 豊後大野市朝地町※=0.6 由布市庄内町※=0.6 豊後大野市犬飼町黒松※=0.6 大分市佐賀関※=0.6 宇佐市上田※=0.5 国東市国見町伊美※=0.5 別府市上野口町※=0.5 宮崎県 2 延岡市北川町川内名白石※=1.6 1 延岡市北方町総合支所※=1.4 西都市上の宮※=1.4 高鍋町上江※=1.3 宮崎都農町役場※=1.3 門川町平城東※=1.3 宮崎美郷町田代※=1.2 川南町川南※=1.1 高千穂町三田井=1.1 延岡市北浦町古江※=1.0 木城町高城※=0.9 椎葉村総合運動公園※=0.9 高千穂町寺迫※=0.8 西都市聖陵町※=0.7 椎葉村下福良※=0.7 延岡市天神小路=0.6 小林市真方=0.6 小林市中原※=0.6 延岡市北川町総合支所※=0.5 日向市大王谷運動公園=0.5 高知県 1 宿毛市片島=1.4 宿毛市桜町※=1.2 黒潮町佐賀※=1.0 四万十町大正※=0.6 山口県 1 下関市竹崎=0.8 周防大島町平野※=0.7 周防大島町東和総合支所※=0.7 阿武町奈古※=0.5 山陽小野田市日の出※=0.5 福岡県 1 朝倉市杷木池田※=1.1 みやこ町犀川本庄※=0.8 豊前市吉木※=0.7 行橋市今井※=0.5	33° 04.1' N	131° 31.2' E	96km	M: 4.0
40	9 16 14	石川県能登地方 石川県 1 穴水町大町※=0.6	37° 11.3' N	136° 51.9' E	10km	M: 2.6
41	9 20 59	豊後水道 愛媛県 高知県 1 宇和島市丸穂※=0.8 愛媛鬼北町近永※=0.5 1 宿毛市桜町※=0.9	33° 12.8' N	132° 22.4' E	37km	M: 3.1
42	10 05 38	石川県能登地方 石川県 1 輪島市鳳至町=0.9 輪島市河井町※=0.5	37° 22.0' N	136° 53.6' E	7km	M: 2.7
43	10 08 39	茨城県南部 茨城県 栃木県 1 笠間市笠間※=0.5 筑西市二木成※=0.5 1 下野市笹原※=0.9 栃木市旭町=0.8 下野市田中※=0.6 宇都宮市明保野町=0.6	36° 04.4' N	139° 54.5' E	46km	M: 3.0
44	10 16 18	熊本県熊本地方 熊本県 1 宇城市小川町※=0.5	32° 35.4' N	130° 44.7' E	8km	M: 2.3
45	10 17 30	十勝地方南部 北海道 2 浦幌町桜町※=1.8 1 豊頃町茂岩本町※=1.2 十勝池田町西1条※=1.0 幕別町忠類錦町※=0.8 本別町向陽町※=0.7 十勝大樹町東本通※=0.7 白糠町西1条※=0.7 新得町2条※=0.6 中札内村東2条※=0.5	42° 25.3' N	143° 23.8' E	52km	M: 3.9
46	10 18 50	石川県能登地方 石川県 3 輪島市鳳至町=3.1 輪島市河井町※=2.5 2 穴水町大町※=1.7 1 七尾市能登島向田町※=1.0 七尾市本府中町=0.8 輪島市門前町走出※=0.8 能登町宇出津=0.8 七尾市袖ヶ江町※=0.6 能登町柳田※=0.6 志賀町富来領家町=0.5	37° 22.3' N	136° 54.4' E	11km	M: 3.8
47	10 19 40	能登半島沖 石川県 1 珠洲市正院町※=0.6 珠洲市三崎町=0.5	37° 36.6' N	137° 28.3' E	14km	M: 3.8
48	11 02 34	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 一関市千厩町※=0.6 1 気仙沼市笹が陣※=0.5	38° 49.0' N	141° 59.9' E	47km	M: 3.3

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
49	11 03 16	石川県能登地方 石川県 2 輪島市鳳至町=1.7 1 輪島市河井町*=1.4	37° 21.7' N	136° 52.4' E	7km	M: 2.7
50	11 05 42	京都府南部 京都府 3 京都右京区京北周山町*=2.9 1 京都上京区藪ノ内町*=1.1 京都中京区西ノ京=1.1 京都左京区広河原能見町*=0.9 亀岡市安町=0.9 京都山科区安朱川向町*=0.8 京都中京区河原町御池*=0.8 京都左京区田中*=0.7 京都東山区清水*=0.7 京都下京区河原町塩小路*=0.6 亀岡市余部町*=0.6 久御山町田井*=0.6 八幡市八幡*=0.5 京都伏見区醍醐*=0.5	35° 09.5' N	135° 40.5' E	7km	M: 3.3
51	11 05 43	京都府南部 京都府 1 京都右京区京北周山町*=0.6	35° 09.4' N	135° 40.5' E	7km	M: 2.1
52	11 06 56	徳島県南部 徳島県 2 美馬市木屋平*=1.6 1 那賀町木頭和無田*=1.2 海陽町大里*=0.7 神山町神領*=0.6 上勝町旭*=0.5	33° 48.9' N	134° 11.3' E	18km	M: 3.3
53	11 09 47	十勝沖 北海道 2 釧路市音別町中園*=1.9 浦幌町桜町*=1.8 1 十勝大樹町東本通*=1.2 十勝池田町西1条*=1.1 幕別町忠類錦町*=1.1 様似町栄町*=1.0 白糠町西1条*=1.0 豊頃町茂岩本町*=0.9 幕別町本町*=0.9 浦河町築地*=0.9 広尾町並木通=0.8 えりも町えりも岬*=0.7 浦河町潮見=0.7 広尾町白樺通=0.6 帯広市東4条=0.5	41° 45.4' N	144° 13.8' E	17km	M: 4.9
54	11 13 09	岐阜県美濃中西部 岐阜県 1 各務原市那加桜町*=1.1 美濃加茂市太田町=1.0 岐阜市京町*=0.9 可児市広見*=0.9 大野町大野*=0.9 北方町北方*=0.9 瑞穂市別府*=0.9 坂祝町取組*=0.9 美濃市役所*=0.8 揖斐川町東杉原*=0.8 揖斐川町谷汲*=0.7 揖斐川町東津汲*=0.7 関市若草通り*=0.7 美濃加茂市西町*=0.6 岐阜山県市高富*=0.6 大垣市墨俣町*=0.6 各務原市川島河田町*=0.5 岐南町八剣*=0.5 愛知県 1 一宮市千秋=1.2	35° 25.1' N	136° 49.1' E	15km	M: 3.3
55	11 19 52	奄美大島近海 鹿児島県 2 瀬戸内町請島*=2.0 瀬戸内町加計呂麻島*=1.9 瀬戸内町与路島*=1.8 奄美市名瀬港町=1.7 瀬戸内町古仁屋*=1.5 1 宇検村湯湾*=1.3 奄美市住用町西仲間*=1.2 大和村思勝*=1.0 伊仙町伊仙*=1.0 奄美市名瀬幸町*=0.9 天城町平土野*=0.5	28° 08.2' N	129° 09.4' E	27km	M: 3.8
56	12 07 00	石川県能登地方 石川県 2 輪島市鳳至町=1.7 1 輪島市河井町*=1.1 穴水町大町*=0.9 輪島市門前町走出*=0.6 七尾市能登島向田町*=0.6	37° 21.8' N	136° 57.4' E	10km	M: 3.4
57	12 07 19	宮崎県南部山沿い 宮崎県 1 高原町西麓*=0.7 小林市真方=0.5	31° 56.0' N	131° 01.4' E	6km	M: 2.4
58	12 12 03	山梨県東部・富士五湖 山梨県 1 富士河口湖町船津=0.6	35° 29.2' N	138° 57.3' E	20km	M: 2.5
59	12 12 03	福島県浜通り 福島県 1 田村市都路町*=0.8 川内村下川内=0.7 大熊町大川原*=0.7 浪江町幾世橋=0.7 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.5	37° 15.8' N	140° 48.2' E	99km	M: 3.6
60	12 14 34	豊後水道 愛媛県 1 宇和島市丸穂*=0.7 大洲市長浜*=0.5 大分県 1 豊後大野市清川町*=0.5	33° 15.0' N	132° 04.0' E	55km	M: 3.4
61	13 01 37	宮城県沖 宮城県 1 石巻市桃生町*=1.2 大崎市鹿島台*=1.1 仙台泉区将監*=0.9 名取市増田*=0.8 大崎市田尻*=0.7 石巻市大街道南*=0.7 登米市豊里町*=0.7 松島町高城=0.7 岩沼市桜*=0.7 柴田町船岡=0.7 宮城川崎町前川*=0.7 亘理町悠里*=0.7 仙台宮城野区苦竹*=0.6 石巻市北上町*=0.6 石巻市泉町=0.5 石巻市鮎川浜*=0.5 福島県 1 福島伊達市霊山町*=0.9 飯館村伊丹沢*=0.9 相馬市中村*=0.8 大熊町大川原*=0.8	38° 10.9' N	141° 42.2' E	52km	M: 3.9
62	13 16 38	徳島県北部 徳島県 1 佐那河内村下*=0.7	34° 02.6' N	134° 22.8' E	4km	M: 2.4
63	13 23 13	根室半島南東沖 北海道 1 根室市瑤瑤瑠*=1.0	43° 20.2' N	146° 24.0' E	47km	M: 3.7
64	14 02 13	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.6	36° 25.5' N	141° 11.4' E	39km	M: 3.6

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
65	14 19 05	鹿児島県薩摩地方 熊本県 1 天草市牛深町=1.2 鹿児島県 1 長島町鷹巣*=1.2 長島町指江*=1.0 長島町伊唐島*=0.5	32° 08.7' N	130° 09.4' E	10km	M: 2.7
66	15 02 49	能登半島沖 石川県 3 志賀町香能*=2.6 1 志賀町富来領家町=0.6	37° 09.5' N	136° 39.8' E	3km	M: 2.9
67	15 10 00	能登半島沖 石川県 1 志賀町香能*=0.5	37° 09.4' N	136° 40.3' E	2km	M: 1.5
68	15 13 38	豊後水道 高知県 1 宿毛市桜町*=0.7	33° 13.3' N	132° 23.4' E	37km	M: 2.8
69	16 03 55	石川県能登地方 石川県 1 志賀町香能*=0.6	37° 09.0' N	136° 42.2' E	3km	M: 2.1
70	16 09 48	紀伊水道 和歌山県 1 御坊市湯川*=1.0 日高川町土生*=0.9 御坊市藺=0.7	33° 44.1' N	135° 02.9' E	38km	M: 3.1
71	16 11 26	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原*=1.2	37° 02.1' N	139° 22.9' E	7km	M: 2.0
72	16 13 58	石川県能登地方 石川県 1 穴水町大町*=1.3	37° 14.8' N	136° 53.1' E	10km	M: 2.7
73	16 22 18	岩手県沖 岩手県 2 山田町大沢*=1.5 1 宮古市鯉ヶ崎=1.4 宮古市五月町*=1.4 宮古市田老*=1.2 山田町八幡町=1.2 宮古市川井*=1.0 宮古市茂市*=0.7 大槌町上町*=0.7 釜石市中妻町*=0.5 釜石市只越町=0.5	39° 38.2' N	142° 06.2' E	48km	M: 3.7
74	17 00 15	熊本県熊本地方 熊本県 2 熊本北区植木町*=1.6 1 熊本西区春日=1.4 和水町江田*=1.2 大津町大津*=1.1 合志市御代志*=1.1 菊池市隈府*=1.0 菊池市旭志*=0.9 菊池市泗水町*=0.9 益城町宮園*=0.9 合志市竹迫*=0.8 嘉島町上島*=0.7 熊本南区城南町*=0.7 玉名市天水町*=0.6 大津町引水*=0.6 菊陽町久保田*=0.5	32° 49.8' N	130° 42.2' E	13km	M: 3.2
75	17 01 15	福島県沖 福島県 2 田村市大越町*=1.8 葛尾村落合落合*=1.7 大熊町大川原*=1.6 檜葉町北田*=1.5 田村市船引町=1.5 田村市常葉町*=1.5 1 富岡町本岡*=1.4 小野町小野新町*=1.3 福島広野町下北迫大谷地原*=1.2 田村市都路町*=1.2 双葉町長塚*=1.2 川内村上川内早渡*=1.1 いわき市平四ツ波*=1.1 本宮市本宮*=0.8 須賀川市岩瀬支所*=0.8 福島伊達市霊山町*=0.8 浪江町幾世橋=0.8 川内村上川内小山平*=0.7 白河市新白河*=0.7 川俣町五百田*=0.6 天栄村下松本*=0.6 大熊町野上*=0.6 福島広野町下北迫苗代替*=0.6 玉川村小高*=0.5 小野町中通*=0.5 大玉村玉井*=0.5 郡山市湖南町*=0.5 宮城県 1 岩沼市桜*=0.6 角田市角田*=0.5	37° 22.9' N	141° 29.0' E	48km	M: 4.0
76	17 14 05	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=0.5	36° 13.2' N	137° 33.0' E	3km	M: 1.8
77	17 14 27	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=0.5	36° 13.2' N	137° 33.1' E	4km	M: 1.6
78	17 18 53	福島県浜通り 福島県 1 田村市都路町*=1.3 大熊町大川原*=0.9 川内村下川内=0.6 檜葉町北田*=0.6	37° 20.5' N	140° 46.8' E	101km	M: 3.5
79	18 09 55	茨城県沖 茨城県 3 潮来市辻*=3.0 行方市麻生*=2.6 茨城鹿嶋市宮中*=2.6 潮来市堀之内=2.5 2 稲敷市江戸崎甲*=2.4 稲敷市結佐*=2.4 稲敷市須賀津*=2.4 神栖市溝口*=2.4 鉾田市汲上*=2.2 土浦市常名=2.1 石岡市柿岡=2.1 大洗町磯浜町*=2.1 茨城鹿嶋市鉢形=2.0 美浦村受領*=2.0 取手市井野*=2.0 行方市山田*=2.0 稲敷市伊佐津*=2.0 神栖市波崎*=1.9 つくば市研究学園*=1.9 桜川市真壁*=1.9 ひたちなか市南神敷台*=1.9 土浦市藤沢*=1.8 取手市寺田*=1.8 つくば市小荳*=1.8 鉾田市鉾田=1.8 稲敷市役所*=1.8 水戸市内原町*=1.7 かすみがうら市大和田*=1.7 龍ヶ崎市役所*=1.7 水戸市栗崎町*=1.7 鉾田市造谷*=1.6 河内町源清田*=1.6 行方市玉造*=1.6 常総市新石下*=1.5 つくば市天王台*=1.5 水戸市千波町*=1.5 小美玉市堅倉*=1.5 取手市藤代*=1.5 1 茨城町小堤*=1.4 小美玉市小川*=1.4 土浦市田中*=1.4 下妻市鬼怒*=1.4 牛久市中央*=1.4 守谷市大柏*=1.4 つくばみらい市加藤*=1.4 つくばみらい市福田*=1.4 那珂市福田*=1.3 下妻市本城町*=1.3 笠間市笠間*=1.3 東海村東海*=1.3 坂東市岩井=1.3 筑西市舟生=1.3 日立市助川小学校*=1.2 小美玉市上玉里*=1.2 阿見町中央*=1.2 八千代町菅谷*=1.2 境町旭町*=1.2 笠間市中央*=1.2 利根町布川=1.2 茨城古河市仁連*=1.2 坂東市山*=1.2 石岡市若宮*=1.2 常総市水海道諏訪町*=1.2 石岡市石岡*=1.2 水戸市金町=1.2	35° 55.5' N	141° 02.4' E	15km	M: 4.5

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		千葉県 かすみがうら市上土田＊=1.1 結城市中央町＊=1.1 ひたちなか市山ノ上町=1.1 高萩市安良川＊=1.1 筑西市門井＊=1.0 筑西市海老ヶ島＊=1.0 茨城古河市下大野＊=1.0 桜川市岩瀬＊=1.0 桜川市羽田＊=1.0 ひたちなか市東石川＊=1.0 石岡市八郷＊=1.0 城里町石塚＊=1.0 五霞町小福田＊=0.9 坂東市役所＊=0.9 常陸大宮市北町＊=0.7 笠間市下郷＊=0.7 高萩市本町＊=0.6 日立市役所＊=0.5 3 香取市仁良＊=3.2 多古町多古=2.5 香取市役所＊=2.5 2 芝山町小池＊=2.4 千葉佐倉市海隣寺町＊=2.4 匝瑳市今泉＊=2.3 香取市佐原平田=2.3 成田市松子＊=2.3 匝瑳市八日市場＊=2.3 香取市岩部＊=2.2 山武市埴谷＊=2.2 野田市鶴奉＊=2.2 旭市萩園＊=2.2 旭市ニ＊=2.2 富里市七栄＊=2.2 神崎町神崎本宿＊=2.1 山武市松尾町富士見台=2.1 旭市南堀之内＊=2.1 八街市八街＊=2.1 香取市羽根川＊=2.1 横芝光町栗山＊=2.0 山武市松尾町五反田＊=2.0 成田市名古屋=2.0 成田市中台＊=2.0 成田市役所＊=2.0 香取市佐原諏訪台＊=2.0 習志野市鷺沼＊=2.0 白井市復＊=2.0 横芝光町宮川＊=2.0 成田国際空港=1.9 八千代市大和田新田＊=1.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷＊=1.9 印西市大森＊=1.9 印西市笠神＊=1.9 栄町安食台＊=1.9 東金市日吉台＊=1.9 千葉若葉区野呂町＊=1.8 船橋市湊町＊=1.8 銚子市小畑新町=1.8 山武市蓮沼ハ＊=1.8 松戸市西馬橋＊=1.7 千葉美浜区ひび野=1.7 柏市旭町=1.6 柏市柏＊=1.6 旭市高生＊=1.6 四街道市鹿渡＊=1.6 山武市殿台＊=1.6 印西市美瀬＊=1.6 市川市大町＊=1.6 東金市東新宿=1.5 千葉中央区中央港=1.5 東金市東岩崎＊=1.5 柏市大島田＊=1.5 千葉美浜区稲毛海岸＊=1.5 市川市本行徳＊=1.5 山武市蓮沼ニ＊=1.5 東庄町笹川＊=1.5 銚子市若宮町＊=1.5 1 長南町総合グラウンド=1.4 成田市猿山＊=1.4 市原市姉崎＊=1.4 我孫子市我孫子＊=1.4 浦安市日の出=1.3 銚子市川口町=1.3 九十九里町片貝＊=1.2 野田市東宝珠花＊=1.2 流山市平和台＊=1.2 酒々井町中央台＊=1.1 一宮町一宮=1.1 いすみ市大原＊=1.0 大網白里市大網＊=1.0 市川市八幡＊=0.9 茂原市道表＊=0.9 君津市久留里市場＊=0.7 松戸市根本＊=0.7 勝浦市墨名=0.6 勝浦市新官＊=0.5 埼玉県 2 春日部市粕壁＊=1.6 春日部市谷原新田＊=1.6 吉川市きよみ野＊=1.6 川口市中青木分室＊=1.5 春日部市金崎＊=1.5 東京都 1 久喜市下早見=1.4 草加市中央＊=1.4 八潮市中央＊=1.4 宮代町笠原＊=1.4 川口市安行領家＊=1.2 越谷市越ヶ谷＊=1.2 戸田市上戸田＊=1.2 和光市広沢＊=1.2 三郷市中央＊=1.2 加須市大利根＊=1.2 さいたま南区別所＊=1.1 さいたま緑区中尾＊=1.1 さいたま浦和区高砂=1.1 蕨市中央＊=1.0 幸手市東＊=1.0 さいたま見沼区堀崎＊=1.0 白岡市千駄野＊=1.0 鴻巣市川里＊=1.0 久喜市青葉＊=1.0 所沢市北有楽町＊=1.0 鴻巣市中央＊=0.9 松伏町松伏＊=0.9 さいたま西区指扇＊=0.9 さいたま北区宮原＊=0.9 川口市三ツ和＊=0.9 さいたま大宮区天沼町＊=0.8 久喜市菖蒲＊=0.8 狭山市人間川＊=0.8 志木市中宗岡＊=0.8 新座市野火止＊=0.8 鴻巣市吹上富士見＊=0.8 加須市騎西＊=0.7 上尾市本町＊=0.7 さいたま大宮区大門＊=0.7 北本市本町＊=0.7 加須市北川辺＊=0.7 川島町下八ツ林＊=0.7 朝霞市本町＊=0.7 熊谷市大里＊=0.7 さいたま中央区下落合＊=0.6 埼玉三芳町藤久保＊=0.6 久喜市鷺宮＊=0.6 吉見町下細谷＊=0.6 桶川市泉＊=0.6 入間市豊岡＊=0.6 行田市本丸＊=0.5 東松山市松葉町＊=0.5 2 東京千代田区大手町=1.7 東京渋谷区本町＊=1.5 東京足立区神明南＊=1.5 東京江戸川区船堀＊=1.5 1 東京文京区本郷＊=1.4 東京江戸川区鹿骨＊=1.4 東京中野区江古田＊=1.3 調布市西つつじヶ丘＊=1.3 東京杉並区高井戸＊=1.2 東京板橋区相生町＊=1.2 東京江戸川区中央=1.2 東京千代田区富士見＊=1.1 東京中央区勝どき＊=1.1 東京港区南青山＊=1.1 東京江東区森下＊=1.1 東京品川区平塚＊=1.1 東京北区西ヶ原＊=1.1 東京練馬区東大泉＊=1.1 小平市小川町＊=1.1 国分寺市泉町＊=1.1 東京千代田区麹町＊=1.0 東京世田谷区成城＊=1.0 東京中野区中野＊=1.0 東京杉並区桃井＊=1.0 東京豊島区南池袋＊=1.0 東京荒川区東尾久＊=1.0 東京中央区日本橋兜町＊=0.9 東京港区海岸=0.9 東京新宿区上落合＊=0.9 東京新宿区百人町＊=0.9 東京練馬区光が丘＊=0.9 東京足立区伊興＊=0.9 東京葛飾区立石＊=0.9 東京品川区北品川＊=0.9 東京世田谷区三軒茶屋＊=0.9 西東京市中町＊=0.9 東大和市中央＊=0.9 東京葛飾区金町＊=0.8 東京文京区大塚＊=0.8 東京中央区築地＊=0.8 国分寺市戸倉=0.8 東京大田区多摩川＊=0.8 東京渋谷区宇田川町＊=0.8 東京台東区東上野＊=0.7 東京墨田区東向島＊=0.7 東京江東区青海=0.7 八王子市堀之内＊=0.7 東京府中市朝日町＊=0.7 東京文京区スポーツセンタ＊=0.7 東京荒川区荒川＊=0.7 町田市森野＊=0.6 日野市神明＊=0.6 東京板橋区高島平＊=0.6 東京目黒区中央町＊=0.6 東京大田区本羽田＊=0.6 東京港区白金＊=0.6 東京世田谷区中町＊=0.6 町田市忠生＊=0.5 東京江東区枝川＊=0.5 東京品川区広町＊=0.5 武蔵野市緑町＊=0.5 東京墨田区吾妻橋＊=0.5 栃木県 1 下野市笹原＊=1.2 真岡市石島＊=1.1 小山市神鳥谷＊=1.1 栃木市岩舟町静＊=1.0 市貝町市塙＊=1.0 壬生町壬生甲＊=1.0 野木町丸林＊=1.0 下野市田中＊=1.0 益子町益子=0.7 芳賀町祖母井＊=0.6 宇都宮市明保野町=0.6 真岡市田町＊=0.6 群馬県 1 渋川市赤城町＊=0.8 板倉町板倉=0.5 千代田町赤岩＊=0.5 邑楽町中野＊=0.5 前橋市富士見町＊=0.5 神奈川県 1 横浜港北区日吉本町＊=1.4 横浜鶴見区末広町＊=1.1 横浜神奈川区広台太田町＊=0.9 川崎川崎区宮前町＊=0.9 横浜中区山手町=0.7				
80	18 15 53	岐阜県美濃中西部 岐阜県	35° 41.0' N	136° 37.4' E	14km	M: 2.8
		1 揖斐川町東杉原＊=1.0				
81	18 17 01	石川県能登地方 石川県	37° 30.6' N	137° 14.8' E	11km	M: 2.8
		1 珠洲市正院町＊=0.6 珠洲市大谷町＊=0.6				
82	18 19 11	父島近海 東京都	26° 53.5' N	141° 46.1' E	114km	M: 4.0
		1 小笠原村母島=0.5				
83	19 00 45	福島県沖 福島県	37° 09.6' N	141° 29.1' E	42km	M: 4.5
		3 大熊町大川原＊=3.1 檜葉町北田＊=2.7				
		2 富岡町本岡＊=2.4 双葉町長塚＊=2.4 福島広野町下北迫大谷地原＊=2.3 いわき市平四ツ波＊=2.2 浪江町幾世橋=2.1 白河市新白河＊=2.1 大熊町野上＊=2.0 いわき市平梅本＊=1.9 田村市常葉町＊=1.8				

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時刻 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		川内村上川内早渡＊=1.8 矢祭町東館＊=1.7 田村市大越町＊=1.7 浅川町浅川＊=1.6 玉川村小高＊=1.6 田村市都路町＊=1.5 川内村下川内=1.5 川内村上川内小山平＊=1.5 田村市滝根町＊=1.5 いわき市小名浜=1.5 古殿町松川新桑原＊=1.5 いわき市錦町＊=1.5 南相馬市小高区＊=1.5 郡山市湖南町＊=1.5 福島広野町下北迫苗代替＊=1.5 1 須賀川市岩瀬支所＊=1.4 国見町藤田＊=1.4 天栄村下松本＊=1.4 泉崎村泉崎＊=1.4 小野町小野新町＊=1.4 相馬市中村＊=1.4 小野町中通＊=1.3 須賀川市八幡町＊=1.3 須賀川市八幡山＊=1.3 葛尾村落合落合＊=1.3 矢祭町戸塚＊=1.3 鏡石町不時沼＊=1.2 飯館村伊丹沢＊=1.2 棚倉町棚倉中居野=1.2 白河市郭内=1.2 白河市表郷＊=1.2 川俣町五百田＊=1.2 田村市船引町=1.2 西郷村熊倉＊=1.1 南相馬市鹿島区西町＊=1.1 福島伊達市霊山町＊=1.1 白河市大信＊=1.1 本宮市本宮＊=1.0 二本松市針道＊=1.0 白河市東＊=1.0 石川町長久保＊=1.0 福島伊達市梁川町＊=1.0 南相馬市原町区高見町＊=0.9 二本松市油井＊=0.9 郡山市開成＊=0.9 新地町谷地小屋＊=0.9 二本松市金色＊=0.9 南相馬市鹿島区柗窪=0.9 本宮市白岩＊=0.8 福島市花園町=0.8 平田村永田＊=0.8 大玉村南小屋=0.8 郡山市朝日=0.8 古殿町松川横川=0.7 南相馬市原町区三島町=0.7 福島市桜木町＊=0.7 福島市五老内町＊=0.7 福島伊達市月館町＊=0.6 大玉村玉井＊=0.6 福島市飯野町＊=0.5 宮城県 2 岩沼市桜＊=1.5 1 蔵王町円田＊=1.2 山元町浅生原＊=1.2 石巻市桃生町＊=1.1 角田市角田＊=1.0 大崎市松山＊=1.0 大河原町新南＊=1.0 大崎市田尻＊=1.0 名取市増田＊=1.0 宮城川崎町前川＊=0.9 仙台若林区遠見塚＊=0.9 利府町利府＊=0.8 仙台空港=0.8 大崎市古川三日町=0.8 亘理町悠里＊=0.8 東松島市小野＊=0.8 登米市中田町=0.7 白石市亘理町＊=0.7 登米市迫町＊=0.7 東松島市矢本＊=0.7 松島町高城=0.7 宮城加美町中新田＊=0.7 色麻町四竈＊=0.7 仙台宮城野区苦竹＊=0.6 柴田町船岡=0.6 大崎市古川大崎=0.5 仙台宮城野区五輪=0.5 茨城県 2 大子町池田＊=2.4 日立市助川小学校＊=1.6 日立市十王町友部＊=1.6 水戸市内原町＊=1.5 1 常陸太田市高柿町＊=1.3 笠間市笠間＊=1.3 東海村東海＊=1.3 常陸大宮市野口＊=1.3 高萩市安良川＊=1.2 北茨城市磯原町＊=1.2 笠間市中央＊=1.2 ひたちなか市南神敷台＊=1.2 桜川市真壁＊=1.2 高萩市本町＊=1.1 城里町石塚＊=1.1 土浦市常名=1.1 桜川市岩瀬＊=1.1 常陸大宮市北町＊=1.0 常陸大宮市山方＊=1.0 那珂市瓜連＊=1.0 水戸市千波町＊=1.0 水戸市栗崎町＊=1.0 日立市役所＊=1.0 桜川市羽田＊=1.0 小美玉市堅倉＊=0.9 石岡市柿岡=0.9 北茨城市中郷町＊=0.9 鉾田市汲上＊=0.9 常陸太田市町屋町=0.9 常陸太田市金井町＊=0.9 筑西市舟生=0.8 筑西市門井＊=0.8 笠間市下郷＊=0.7 水戸市金町=0.7 ひたちなか市東石川＊=0.7 つくば市研究学園＊=0.7 稲敷市江戸崎甲＊=0.7 常陸大宮市高部＊=0.6 石岡市若宮＊=0.6 美浦村受領＊=0.6 常陸太田市町田町＊=0.6 小美玉市小川＊=0.6 常陸大宮市中富町=0.6 土浦市藤沢＊=0.6 城里町阿波山＊=0.5 つくば市天王台＊=0.5 鉾田市鉾田=0.5 茨城鹿嶋市宮中＊=0.5 岩手県 1 一関市千厩町＊=0.5 一関市室根町＊=0.5 栃木県 1 大田原市湯津上＊=1.4 宇都宮市明保野町=1.3 那須町寺子＊=1.2 市貝町市塙＊=1.2 栃木那珂川町小川＊=1.1 益子町益子=1.0 芳賀町祖母井＊=1.0 栃木那珂川町馬頭＊=0.9 宇都宮市中里町＊=0.8 茂木町茂木＊=0.8 那須烏山市神長=0.8 真岡市田町＊=0.6 壬生町壬生甲＊=0.6 日光市鬼怒川温泉大原＊=0.5 大田原市黒羽田町=0.5 那須塩原市鍋掛＊=0.5 千葉県 1 野田市鶴奉＊=0.6 香取市佐原平田=0.5				
84	19 05 23	能登半島沖 石川県 1 志賀町香能＊=1.2	37° 10.0' N	136° 40.9' E	4km	M: 2.2
85	19 06 32	福島県浜通り 茨城県 2 北茨城市磯原町＊=1.8 1 高萩市安良川＊=1.1 北茨城市中郷町＊=0.8 高萩市本町＊=0.6 常陸大宮市北町＊=0.6 日立市助川小学校＊=0.5 福島県 1 いわき市錦町＊=1.0 いわき市小名浜=0.6 栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.5	36° 52.6' N	140° 46.8' E	10km	M: 3.4
86	19 19 45	能登半島沖 石川県 1 志賀町香能＊=0.5	37° 13.6' N	136° 40.8' E	9km	M: 2.7
87	20 03 45	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 球磨村渡＊=0.7 芦北町芦北=0.5	32° 15.8' N	130° 33.1' E	8km	M: 2.3
88	20 10 29	宮城県中部 宮城県 2 東松島市小野＊=1.8	38° 24.6' N	141° 10.7' E	7km	M: 2.6
89	21 01 08	千葉県南部 千葉県 1 君津市久留里市場＊=1.0 市原市姉崎＊=0.5	35° 12.6' N	140° 10.7' E	26km	M: 2.9
90	21 01 13	釧路地方北部 北海道 1 弟子屈町サワンチサップ＊=0.6	43° 36.3' N	144° 23.3' E	2km	M: 0.8
91	21 09 39	父島近海 東京都 4 小笠原村母島=4.2 3 小笠原村父島三日月山=3.2 小笠原村父島西町=3.1	26° 14.3' N	141° 29.6' E	52km	M: 5.6
92	21 21 06	青森県東方沖 青森県 2 八戸市湊町=1.8 八戸市内丸＊=1.6 1 野辺地町田狭沢＊=1.4 八戸市南郷＊=1.3 階上町道仏＊=1.3 青森南部町苫米地＊=1.2 東北町上北南＊=1.1 青森南部町平＊=1.1 五戸町倉石中市＊=1.1 三戸町在府小路町＊=1.0	40° 36.5' N	142° 13.9' E	87km	M: 4.2

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		五戸町古館=0.9 東通村白糠*=0.9 東北町塔ノ沢山*=0.9 八戸市島守=0.7 青森南部町沖田面*=0.6 おいらせ町中下田*=0.6 横浜町林ノ脇*=0.6 七戸町森ノ上*=0.6 三沢市桜町*=0.5 平内町東田沢*=0.5 十和田市奥瀬*=0.5 岩手県 1 軽米町軽米*=1.1 二戸市浄法寺町*=0.9 九戸村伊保内*=0.9 八幡平市田頭*=0.8 岩手洋野町大野*=0.7 二戸市福岡=0.6				
93	22 05 46	福島県沖 宮城県 福島県	37° 27.4' N	142° 00.0' E	47km	M: 4.1
		1 利府町利府*=0.7 石巻市桃生町*=0.6 岩沼市桜*=0.5 1 田村市都路町*=0.8 大熊町大川原*=0.7 檜葉町北田*=0.6 浪江町幾世橋=0.5				
94	22 06 40	千葉県西北部 茨城県 栃木県 千葉県 東京都	35° 47.3' N	140° 05.0' E	78km	M: 3.7
		1 石岡市柿岡=1.1 桜川市岩瀬*=1.1 筑西市門井*=1.0 つくば市小茎*=1.0 桜川市真壁*=1.0 土浦市常名=0.8 土浦市藤沢*=0.7 筑西市舟生=0.7 水戸市内原町*=0.5 1 栃木市旭町=0.5 宇都宮市明保野町=0.5 1 野田市鶴奉*=0.9 市川市大町*=0.7 1 八王子市堀之内*=0.5				
95	22 12 09	与那国島近海 沖縄県	24° 21.6' N	122° 36.7' E	57km	M: 4.1
		1 与那国町役場*=0.9 与那国町久部良=0.5				
96	22 13 56	千葉県東方沖 千葉県	35° 22.5' N	140° 28.1' E	29km	M: 3.2
		2 長南町総合グラウンド=1.5 1 大網白里市大網*=1.4 長生村本郷*=1.0 一宮町一宮=0.9 東金市日吉台*=0.8 白子町関*=0.8 茂原市道表*=0.8 九十九里町片貝*=0.7 いすみ市岬町長者*=0.6 東金市東新宿=0.5 東金市東岩崎*=0.5				
97	22 17 13	石川県能登地方 石川県	37° 11.6' N	136° 44.6' E	7km	M: 3.0
		1 志賀町富来領家町=0.9 志賀町香能*=0.8				
98	23 12 26	日向灘 宮崎県	32° 07.9' N	131° 44.9' E	34km	M: 3.1
		1 西都市上の宮*=0.6				
99	23 16 28	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 55.3' N	130° 00.1' E	12km	M: 2.4
		1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.8				
100	23 19 59	根室半島南東沖 北海道	43° 04.9' N	145° 33.7' E	48km	M: 4.6
		3 根室市厚床*=3.3 根室市落石東*=3.0 浜中町茶内*=2.5 別海町本別海*=2.5 2 別海町常盤=2.3 根室市瑤瑤瑠*=2.2 標津町北2条*=2.1 根室市牧の内*=2.0 中標津町丸山*=1.9 羅臼町岬町*=1.7 別海町西春別*=1.5 1 浜中町湯沸=1.3 根室市弥栄=1.3 標茶町塘路*=1.2 中標津町養老牛=1.0 根室市豊里=1.0 厚岸町真栄*=0.6 羅臼町緑町*=0.6 釧路市幸町=0.5				
101	24 02 13	三重県北部 三重県	34° 54.1' N	136° 26.3' E	11km	M: 2.1
		1 亀山市椿世町*=0.6				
102	24 23 30	石川県能登地方 石川県	37° 11.1' N	136° 44.7' E	7km	M: 3.3
		2 志賀町香能*=1.5 1 志賀町富来領家町=1.4 輪島市門前町走出*=0.6				
103	25 09 03	豊後水道 愛媛県	33° 12.3' N	132° 22.7' E	37km	M: 2.8
		1 宇和島市丸穂*=0.7				
104	25 13 35	京都府南部 京都府	35° 06.5' N	135° 32.5' E	7km	M: 3.1
		2 京都右京区京北周山町*=1.5 1 京丹波町蒲生*=1.4 京都中京区西ノ京=1.2 南丹市園部町小桜町*=1.2 亀岡市安町=1.1 南丹市日吉町保野田*=0.9 南丹市八木町八木*=0.7 京都山科区安朱川向町*=0.5 亀岡市余部町*=0.5 京都西京区大枝*=0.5				
105	25 15 44	石川県能登地方 石川県	37° 11.3' N	136° 50.4' E	10km	M: 2.6
		1 穴水町大町*=0.7				
106	26 00 07	八丈島東方沖 東京都	33° 30.5' N	141° 03.8' E	44km	M: 4.6
		1 八丈町富士グラウンド*=1.2 八丈町三根=0.9				
107	26 00 55	茨城県南部 茨城県	36° 09.4' N	140° 05.6' E	66km	M: 4.7
		3 筑西市舟生=3.0 筑西市二木成*=2.9 筑西市門井*=2.8 境町旭町*=2.8 常総市新石下*=2.8 常総市水海道諏訪町*=2.8 坂東市役所*=2.8 下妻市鬼怒*=2.8 桜川市真壁*=2.7 石岡市柿岡=2.7 坂東市馬立*=2.7 つくばみらい市福田*=2.6 土浦市常名=2.6 水戸市内原町*=2.6 取手市寺田*=2.5 2 取手市井野*=2.4 つくば市天王台*=2.4 守谷市大柏*=2.4 坂東市岩井=2.4 桜川市岩瀬*=2.4 常陸大宮市野口*=2.3 坂東市山*=2.3 笠間市笠間*=2.3 笠間市中央*=2.2 つくばみらい市加藤*=2.2 土浦市田中*=2.2 つくば市研究学園*=2.2 八千代町菅谷*=2.2 土浦市藤沢*=2.2 石岡市八郷*=2.2 下妻市本城町*=2.2 筑西市海老ヶ島*=2.2 かすみがうら市上土田*=2.1 利根町布川=2.1 茨城古河市仁連*=2.1 稲敷市江戸崎甲*=2.0				

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		阿見町中央※=2.0 石岡市石岡※=2.0 五霞町小福田※=2.0 小美玉市小川※=2.0 小美玉市上玉里※=2.0 茨城古河市下大野※=2.0 笠間市下郷※=2.0 城里町石塚※=1.9 石岡市若宮※=1.9 つくば市小荃※=1.9 常陸大宮市北町※=1.9 取手市藤代※=1.9 結城市中央町※=1.8 龍ヶ崎市役所※=1.8 かつみがうら市大和田※=1.8 茨城町小堤※=1.8 稲敷市結佐※=1.7 日立市助川小学校※=1.7 城里町徳蔵※=1.7 大子町池田※=1.7 小美玉市堅倉※=1.7 水戸市千波町※=1.6 美浦村受領※=1.6 城里町阿波山※=1.6 桜川市羽田※=1.6 稲敷市伊佐津※=1.5 水戸市金町=1.5 常陸太田市金井町※=1.5 東海村東海※=1.5 稲敷市役所※=1.5 行方市玉造※=1.5				
		1 常陸太田市町屋町=1.4 ひたちなか市南神敷台※=1.4 常陸大宮市山方※=1.4 牛久市中央※=1.4 茨城鹿嶋市鉢形=1.4 河内町源清田※=1.4 行方市麻生※=1.4 鉾田市汲上※=1.4 ひたちなか市東石川※=1.3 稲敷市須賀津※=1.3 水戸市栗崎町※=1.3 鉾田市鉾田=1.2 那珂市福田※=1.2 行方市山田※=1.1 日立市役所※=1.1 茨城古河市長谷町※=1.1 鉾田市造谷※=1.1 茨城鹿嶋市宮中※=1.1 常陸大宮市高部※=1.1 潮来市辻※=1.0 常陸太田市高柿町※=1.0 高萩市安良川※=1.0 那珂市瓜連※=1.0 日立市十王町友部※=1.0 常陸大宮市中富町=1.0 潮来市堀之内=1.0 常陸太田市町田町※=0.9 大洗町磯浜町※=0.9 北茨城市中郷町※=0.8 常陸大宮市上小瀬※=0.7 北茨城市磯原町※=0.7 ひたちなか市山ノ上町=0.6				
		3 宇都宮市明保野町=3.0 鹿沼市晃望台※=2.9 小山市神鳥谷※=2.9 壬生町壬生甲※=2.9 真岡市石島※=2.8 栃木市岩舟町静※=2.6 下野市笹原※=2.6 栃木市大平町富田※=2.5 小山市中央町※=2.5 佐野市葛生東※=2.5 益子町益子=2.5				
		2 日光市足尾町中才※=2.4 宇都宮市中里町※=2.4 栃木市西方町本城※=2.4 佐野市高砂町※=2.4 佐野市田沼町※=2.4 茂木町茂木※=2.4 佐野市中町※=2.3 宇都宮市旭※=2.3 真岡市田町※=2.3 栃木市旭町=2.3 真岡市荒野※=2.2 野木町丸林※=2.1 宇都宮市中岡本町※=2.1 足利市大正町※=2.1 高根沢町石末※=2.0 下野市田中※=2.0 栃木市万町※=2.0 日光市湯元※=1.9 下野市大松山※=1.9 日光市御幸町※=1.9 鹿沼市口栗野※=1.9 日光市鬼怒川温泉大原※=1.9 芳賀町祖母井※=1.9 栃木市藤岡町藤岡※=1.9 日光市芹沼※=1.8 日光市足尾町通洞※=1.7 栃木市都賀町家中※=1.7 日光市黒部※=1.7 宇都宮市塙田※=1.7 鹿沼市今宮町※=1.7 日光市瀬川=1.6 上三川町しらさぎ※=1.5 日光市藤原庁舎※=1.5				
		1 市貝町市塙※=1.4 栃木那珂川町小川※=1.3 日光市今市本町※=1.3 大田原市湯津上※=1.3 栃木さくら市氏家※=1.3 栃木那珂川町馬頭※=1.3 那須塩原市塩原庁舎※=1.2 茂木町北高岡天矢場※=1.2 栃木さくら市喜連川※=1.2 矢板市本町※=1.2 塩谷町玉生※=1.1 那須町寺子※=1.1 大田原市本町※=1.0 日光市中宮祠=1.0 那須烏山市大金※=1.0 那須塩原市あたご町※=0.9 那須烏山市神長=0.7 那須烏山市役所※=0.6 大田原市黒羽田町=0.6 那須塩原市鍋掛※=0.5 那須塩原市中塩原※=0.5				
		3 板倉町板倉=3.1 邑楽町中野※=2.5				
		2 桐生市黒保根町※=2.4 館林市上三林町※=2.4 桐生市新里町※=2.3 伊勢崎市西久保町※=2.3 太田市西本町※=2.3 渋川市赤城町※=2.3 千代田町赤岩※=2.3 大泉町日の出※=2.2 桐生市元宿町※=2.2 群馬明和町新里※=2.2 渋川市吹屋※=2.1 前橋市富士見町※=2.1 館林市城町※=2.0 沼田市西倉内町=2.0 前橋市粕川町※=2.0 前橋市堀越町※=1.9 太田市浜町※=1.9 みどり市笠懸町※=1.8 みどり市大間々町※=1.8 前橋市鼻毛石町※=1.8 沼田市下久屋町※=1.8 伊勢崎市東町※=1.8 桐生市錦町=1.7 渋川市伊香保町※=1.7 伊勢崎市今泉町※=1.7 みどり市東町※=1.6 太田市粕川町※=1.5				
		1 沼田市白沢町※=1.4 東吾妻町奥田※=1.4 前橋市大手町※=1.4 伊勢崎市境※=1.4 太田市新田金井町※=1.4 藤岡市鬼石※=1.4 片品村鎌田※=1.3 群馬昭和村糸井※=1.2 前橋市昭和町=1.2 神流町生利※=1.2 吉岡町下野田※=1.1 みなかみ町鹿野沢※=1.1 東吾妻町本宿※=1.1 前橋市駒形町※=1.1 渋川市北橋町※=1.0 沼田市尾瀬高等学校=1.0 玉村町下新田※=1.0 中之条町中之条町※=1.0 高崎市高松町※=1.0 高崎市足門町※=1.0 高崎市吉井町吉井川※=1.0 渋川市石原※=1.0 神流町神ヶ原※=0.9 沼田市利根町※=0.9 渋川市有馬※=0.9 渋川市村上※=0.9 富岡市七日市=0.9 安中市安中※=0.9 榛東村新井※=0.9 中之条町日影=0.8 甘楽町小幡※=0.8 川場村谷地※=0.8 高崎市新町※=0.7 高崎市倉沢町※=0.6 高崎市箕郷町※=0.6 富岡市妙義町※=0.6 安中市松井田町※=0.6 中之条町入山※=0.5 群馬高山村中山※=0.5				
		3 加須市騎西※=2.9 春日部市粕壁※=2.9 さいたま南区別所※=2.9 鴻巣市吹上富士見※=2.8 久喜市菖蒲※=2.8 宮代町笠原※=2.7 加須市三保※=2.6 川口市中青木分室※=2.6 さいたま中央区下落合※=2.6 熊谷市桜町=2.6 熊谷市宮町※=2.6 熊谷市大里※=2.6 春日部市金崎※=2.5 春日部市谷原新田※=2.5 行田市本丸※=2.5 さいたま桜区道場※=2.5 加須市大利根※=2.5				
		2 熊谷市江南※=2.4 鴻巣市川里※=2.4 久喜市栗橋※=2.4 滑川町福田※=2.4 東松山市松葉町※=2.3 羽生市東※=2.3 鴻巣市中央※=2.3 久喜市鷺宮※=2.3 戸田市上戸田※=2.3 北本市本町※=2.3 八潮市中央※=2.3 さいたま大宮区天沼町※=2.3 さいたま見沼区堀崎※=2.3 さいたま北区宮原※=2.2 さいたま大宮区大門※=2.2 さいたま浦和区高砂=2.2 さいたま緑区中尾※=2.2 久喜市下早見=2.2 上尾市本町※=2.2 和光市広沢※=2.1 桶川市泉※=2.1 埼玉美里町木部※=2.1 さいたま岩槻区本丸※=2.1 行田市南河原※=2.1 草加市中央※=2.1 白岡市千駄野※=2.0 嵐山町杉山※=2.0 川口市安行領家※=2.0 熊谷市妻沼※=2.0 加須市北川辺※=2.0 三郷市中央※=2.0 蓮田市黒浜※=2.0 幸手市東※=2.0 さいたま西区指扇※=2.0 東松山市市ノ川※=2.0 深谷市仲町※=2.0 久喜市青葉※=1.9 さいたま浦和区常盤※=1.9 蕨市中央※=1.9 志木市中宗岡※=1.8 本庄市児玉町=1.8 長瀨町野上郷※=1.8 吉川市きよみ野※=1.8 川島町下八ツ林※=1.8 杉戸町清地※=1.8 富士見市鶴馬※=1.7 吉見町下細谷※=1.7 越生町越生※=1.7 朝霞市本町※=1.7 ときがわ町桃木※=1.6 伊奈町中央※=1.6 川口市三ツ和※=1.6 越谷市越ヶ谷※=1.6 川越市新宿町※=1.5 松伏町松伏※=1.5 長瀨町本野上※=1.5				
		1 深谷市花園※=1.4 深谷市普濟寺※=1.4 小川町大塚※=1.4 新座市野火止※=1.4 坂戸市千代田※=1.4 秩父市近戸町※=1.4 ときがわ町玉川※=1.2 狭山市入間川※=1.2 皆野町皆野※=1.2 埼玉神川町植竹※=1.1 毛呂山町中央※=1.1 東秩父村御堂※=1.0 埼玉神川町下阿久原※=1.0 川越市旭町=1.0 所沢市北有楽町※=1.0 入間市豊岡※=1.0 埼玉三芳町藤久保※=1.0 秩父市上町=1.0 鳩山町大豆戸=0.9 鶴ヶ島市三ツ木※=0.9 ふじみ野市福岡※=0.9 本庄市本庄※=0.8				

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		千葉県	秩父市熊木町*0.8 横瀬町横瀬*0.8 寄居町寄居*0.8 飯能市名栗*0.7 上里町七本木*0.7 ふじみ野市大井*0.6 秩父市中津川*0.6 小鹿野町小鹿野*0.5 秩父市吉田*0.5 秩父市荒川*0.5 3 野田市鶴奉*2.8 柏市柏*2.6 柏市大島田*2.6 松戸市西馬橋*2.5 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*2.5 印西市大森*2.5 2 千葉花見川区花島町*2.4 市川市本行徳*2.4 野田市東宝珠花*2.4 習志野市鷺沼*2.4 八千代市大和田新田*2.4 我孫子市我孫子*2.4 市川市大町*2.3 船橋市湊町*2.3 柏市旭町=2.3 流山市平和台*2.2 白井市復*2.1 千葉美浜区ひび野=2.0 浦安市日の出=2.0 四街道市鹿渡*2.0 栄町安食台*2.0 浦安市猫実*1.8 千葉稲毛区園生町*1.8 千葉美浜区稲毛海岸*1.8 印西市笠神*1.7 印西市美瀬*1.7 千葉中央区中央港=1.7 市川市八幡*1.7 成田国際空港=1.7 千葉佐倉市海隣寺町*1.7 千葉若葉区小倉台*1.6 市原市姉崎*1.6 松戸市根本*1.6 成田市市古屋=1.6 香取市役所*1.5 成田市中台*1.5 富津市下飯野*1.5 1 茂原市道表*1.4 神崎町神崎本宿*1.4 香取市佐原諏訪台*1.4 山武市埴谷*1.4 酒々井町中央台*1.4 木更津市富士見*1.4 南房総市富浦町青木*1.4 南房総市白浜町白浜*1.4 東金市日吉台*1.3 睦沢町下之郷*1.3 成田市松子*1.3 君津市久留里市場*1.3 鋸南町下佐久間*1.3 市原市国分寺台中央*1.2 八街市八街*1.2 富里市七栄*1.2 館山市北条*1.2 南房総市岩糸*1.2 芝山町小池*1.2 香取市佐原平田=1.2 山武市蓮沼ニ*1.2 成田市役所*1.2 長南町総合グラウンド=1.1 香取市仁良*1.1 山武市松尾町富士見台=1.1 千葉緑区おゆみ野*1.1 君津市久保*1.1 九十九里町片貝*1.1 南房総市谷向*1.1 香取市羽根川*1.0 館山市長須賀=1.0 大多喜町大多喜*1.0 東金市東新宿=1.0 東金市東岩崎*1.0 多古町多古=1.0 木更津市太田=0.9 鴨川市横渚*0.9 一宮町一宮=0.9 成田市猿山*0.9 香取市岩部*0.8 山武市蓮沼ハ*0.8 南房総市上堀=0.6 鴨川市八色=0.6			
		東京都	3 東京板橋区高島平*2.7 東京足立区神明南*2.5 2 東京江東区森下*2.4 東京杉並区高井戸*2.3 東京杉並区桃井*2.2 東京板橋区相生町*2.2 東京江東区東陽*2.1 東京北区西ヶ原*2.1 東京荒川区東尾久*2.1 東京足立区千住中居町*2.1 東京葛飾区立石*2.1 東京墨田区東向島*2.0 東京江東区枝川*2.0 東京品川区平塚*2.0 東京荒川区荒川*2.0 東京足立区伊興*2.0 東京江戸川区中央=2.0 東京江戸川区船堀*2.0 東京世田谷区三軒茶屋*1.9 東京練馬区豊玉北*1.9 東京江戸川区鹿骨*1.9 調布市西つつじヶ丘*1.9 東京千代田区大手町=1.9 東京江東区亀戸*1.9 東京練馬区東大泉*1.8 東京足立区中央本町*1.8 東京葛飾区金町*1.8 東京中央区勝どき*1.8 東京台東区千束*1.8 小平市小川町*1.8 東京江東区青海=1.8 東京渋谷区本町*1.8 東京中野区江古田*1.8 東京練馬区光が丘*1.7 東京文京区本郷*1.7 東京墨田区横川=1.7 武蔵野市緑町*1.7 町田市本町田*1.7 東京品川区北品川*1.7 東京中野区中野*1.7 東京千代田区富士見*1.6 国分寺市泉町*1.6 東京中央区築地*1.6 東京港区海岸=1.6 東京文京区大塚*1.6 東京墨田区吾妻橋*1.6 東京大田区本羽田*1.6 東京世田谷区成城*1.6 東京渋谷区宇田川町*1.6 町田市忠生*1.6 東京大田区多摩川*1.5 東京港区南青山*1.5 東京新宿区上落合*1.5 武蔵野市吉祥寺東町*1.5 小金井市本町*1.5 東京北区赤羽南*1.5 西東京市中町*1.5 東大和市中央*1.5 東京板橋区板橋*1.5 東京千代田区麹町*1.5 1 東京中央区日本橋兜町*1.4 東京港区白金*1.4 東京文京区スポーツセンタ*1.4 東京目黒区中央町*1.4 東京豊島区南池袋*1.4 八王子市堀之内*1.4 東京府中市寿町*1.4 日野市神明*1.4 国分寺市戸倉=1.4 多摩市関戸*1.4 東京新宿区百人町*1.3 東京台東区東上野*1.3 三鷹市新川*1.3 町田市森野*1.3 稲城市東長沼*1.3 狛江市和泉本町*1.2 東京新宿区歌舞伎町*1.2 東京大田区大森東*1.2 東京杉並区阿佐谷=1.2 東村山市本町*1.2 東京港区芝公園*1.1 東京新宿区西新宿=1.1 東京品川区広町*1.1 東京国際空港=1.1 八王子市石川町*1.1 東京府中市朝日町*1.1 調布市小島町*1.1 武蔵村山市本町*1.1 東京大田区蒲田*1.0 東京世田谷区中町*1.0 東村山市美住町*1.0 青梅市東青梅=1.0 清瀬市中里*0.9 清瀬市中清戸*0.9 青梅市日向和田*0.9 八王子市大横町=0.8 伊豆大島町波浮港*0.6 多摩市鶴牧*0.5			
		神奈川県	2 横浜戸塚区鳥が丘*2.4 横浜神奈川区神大寺*2.3 横浜神奈川区広台太田町*2.2 横浜西区浜松町*2.1 横浜中区山手町=2.0 横浜保土ヶ谷区上菅田町*2.0 横浜港北区日吉本町*2.0 横浜鶴見区末広町*1.9 横浜旭区川井宿町*1.9 横浜瀬谷区中屋敷*1.9 横浜中区山吹町*1.8 横浜瀬谷区三ツ境*1.8 川崎川崎区千鳥町*1.8 湯河原町中央=1.8 横浜中区山下町*1.7 横浜金沢区白帆*1.7 横浜緑区十日市場町*1.7 川崎川崎区宮前町*1.7 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.7 大和市下鶴間*1.7 厚木市中町*1.7 横浜西区みなとみらい*1.6 横浜保土ヶ谷区神戸町*1.6 横浜磯子区洋光台*1.6 横浜戸塚区平戸町*1.6 横浜戸塚区戸塚町*1.6 横浜港南区野庭町*1.6 横浜旭区今宿東町*1.6 横浜緑区鴨居*1.6 川崎中原区小杉町*1.6 川崎宮前区宮前平*1.6 川崎宮前区野川*1.6 三浦市城山町*1.6 横浜磯子区磯子*1.5 横浜旭区大池町*1.5 横浜旭区上白根町*1.5 横浜泉区岡津町*1.5 横浜泉区和泉町*1.5 平塚市浅間町*1.5 藤沢市大庭*1.5 藤沢市長後*1.5 愛川町角田*1.5 1 横浜金沢区釜利谷南*1.4 藤沢市打戻*1.4 藤沢市辻堂西海岸*1.4 小田原市荻窪*1.4 相模原南区磯部*1.4 相模原緑区橋本*1.4 横浜鶴見区鶴見*1.3 横浜鶴見区馬場*1.3 横浜中区日本大通*1.3 横浜栄区小菅ヶ谷*1.3 横浜都筑区池辺町*1.3 川崎川崎区中島*1.3 横須賀市光の丘=1.3 座間市相武台*1.3 綾瀬市深谷中*1.3 二宮町中里*1.3 中井町比奈窪*1.3 松田町松田惣領*1.3 箱根町湯本*1.3 清川村煤ヶ谷*1.3 横浜金沢区寺前*1.2 横浜港北区綱島西*1.2 横浜港南区丸山台北部*1.2 横浜栄区桂台南*1.2 川崎幸区戸手本町*1.2 川崎中原区小杉陣屋町=1.2 海老名市大谷*1.2 寒川町富山*1.2 秦野市曽屋=1.2 相模原中央区水郷田名*1.2 相模原緑区中野*1.2 相模原緑区久保沢*1.2 横浜港北区大倉山*1.1 横浜青葉区榎が丘*1.1 川崎多摩区登戸*1.1 南足柄市関本*1.1 神奈川大井町金子*1.1 川崎高津区下作延*1.0 川崎麻生区片平*1.0 横須賀市坂本町*1.0 横浜南区六ツ川*1.0 川崎麻生区万福寺*0.9 藤沢市朝日町*0.9 逗子市桜山*0.9 大磯町月京*0.8 秦野市平沢*0.8 小田原市久野=0.7 鎌倉市御成町*0.6			
		山梨県	2 富士河口湖町長浜*1.5 1 富士川町鯉沢*1.3 大月市御太刀*1.3 山中湖村山中*1.3 富士河口湖町船津=1.3			

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時刻 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		山梨北杜市長坂町＊=1.2 甲州市塩山上於曽＊=1.2 上野原市役所＊=1.1 南アルプス市寺部＊=1.0 大月市大月=1.0 忍野村忍草＊=1.0 甲府市飯田=0.9 甲府市相生＊=0.9 甲府市古閑町＊=0.9 笛吹市境川町藤盛＊=0.9 甲州市大和町初鹿野＊=0.8 甲州市勝沼町勝沼＊=0.8 中央市成島＊=0.8 鳴沢村役場＊=0.8 昭和町押越＊=0.8 甲斐市下今井＊=0.8 甲州市塩山下於曽=0.7 富士河口湖町勝山＊=0.7 甲州市役所＊=0.7 中央市大鳥居＊=0.7 甲府市下曽根町＊=0.7 富士吉田市上吉田＊=0.7 富士吉田市下吉田＊=0.7 都留市上谷＊=0.7 身延町大磯小磯=0.7 西桂町小沼＊=0.6 丹波山村丹波＊=0.5 静岡県 2 東伊豆町奈良本＊=1.6 1 河津町田中＊=1.1 富士宮市野中＊=1.1 富士市吉永＊=1.1 富士市大淵＊=1.1 熱海市泉＊=1.0 伊豆の国市長岡＊=1.0 小山町須走＊=1.0 熱海市網代=0.9 西伊豆町字久須＊=0.9 沼津市西間門＊=0.9 沼津市戸田＊=0.9 富士宮市弓沢町=0.9 伊東市大原=0.8 小山町藤曲＊=0.8 函南町平井＊=0.7 御殿場市萩原=0.7 伊東市八幡野＊=0.6 松崎町江奈＊=0.6 沼津市原＊=0.6 御殿場市竈＊=0.6 宮城県 1 岩沼市桜＊=0.6 福島県 1 白河市新白河＊=1.4 白河市表郷＊=1.4 矢祭町東館＊=1.3 玉川村小高＊=1.3 古殿町松川新桑原＊=1.2 白河市東＊=1.2 棚倉町棚倉中居野=1.1 郡山市湖南町＊=1.1 白河市大信＊=1.1 西郷村熊倉＊=1.1 白河市郭内=1.0 須賀川市岩瀬支所＊=1.0 浅川町浅川＊=0.9 石川町長久保＊=0.9 田村市都路町＊=0.9 いわき市三和町=0.9 いわき市錦町＊=0.9 大熊町大川原＊=0.9 浪江町幾世橋=0.9 須賀川市八幡山＊=0.9 いわき市小名浜=0.8 二本松市針道＊=0.8 泉崎村泉崎＊=0.8 田村市常葉町＊=0.8 双葉町長塚＊=0.8 鏡石町不時沼＊=0.8 葛尾村落合落合＊=0.8 檜枝岐村上河原＊=0.8 南会津町松戸原＊=0.8 田村市大越町＊=0.7 本宮市本宮＊=0.7 檜葉町北田＊=0.6 田村市船引町=0.6 矢祭町戸塚＊=0.6 天栄村湯本支所＊=0.6 南会津町田島=0.5 新潟県 1 南魚沼市六日町=0.6 十日町市上山＊=0.5 長野県 1 長野南牧村海ノ口＊=1.0 小海町豊里＊=0.9 茅野市葛井公園＊=0.5				
108	26 05 32	石川県能登地方 石川県 1 輪島市鳳至町=0.8 輪島市河井町＊=0.6	37° 21.7' N	136° 54.4' E	9km	M: 2.7
109	26 14 23	大分県中部 大分県 3 別府市天間=3.0 2 由布市湯布院町川上＊=2.3 1 別府市鶴見=1.3 宇佐市院内町＊=0.8 九重町後野上＊=0.8 別府市上野口町＊=0.7 中津市耶馬溪町＊=0.5	33° 18.9' N	131° 25.1' E	6km	M: 3.3
110	26 16 59	宮城県沖 岩手県 2 陸前高田市高田町＊=2.1 釜石市中妻町＊=2.0 住田町世田米＊=2.0 一関市東山町＊=2.0 一関市室根町＊=2.0 一関市千厩町＊=1.9 大船渡市猪川町=1.7 釜石市只越町=1.6 大槌町上町＊=1.5 1 大船渡市大船渡町=1.4 北上市相去町＊=1.4 花巻市東和町＊=1.3 一関市大東町=1.2 一関市藤沢町＊=1.2 平泉町平泉＊=1.2 西和賀町沢内太田＊=1.2 奥州市衣川＊=1.2 大船渡市盛町＊=1.2 奥州市胆沢＊=1.1 花巻市大迫町=1.0 奥州市前沢＊=1.0 山田町大沢＊=1.0 一関市川崎町＊=0.9 矢巾町南矢幅＊=0.9 西和賀町沢内川舟＊=0.9 遠野市青笹町＊=0.9 一関市花泉町＊=0.8 宮古市区界＊=0.8 花巻市石鳥谷町＊=0.8 花巻市大迫総合支所＊=0.7 北上市柳原町=0.7 金ヶ崎町西根＊=0.7 奥州市江刺＊=0.7 宮古市川井＊=0.6 宮古市鉄ヶ崎=0.6 八幡平市田頭＊=0.5 盛岡市馬場町＊=0.5 盛岡市洩民＊=0.5 宮城県 2 気仙沼市唐桑町＊=2.0 石巻市北上町＊=1.9 色麻町四竈＊=1.6 気仙沼市笹が陣＊=1.6 石巻市桃生町＊=1.6 登米市中田町=1.5 石巻市泉町=1.5 涌谷町新町裏=1.5 1 南三陸町歌津＊=1.4 気仙沼市本吉町西川内=1.3 栗原市栗駒=1.3 登米市豊里町＊=1.3 登米市登米町＊=1.3 登米市石越町＊=1.3 大崎市鳴子＊=1.3 栗原市築館＊=1.2 栗原市志波姫＊=1.2 登米市東和町＊=1.2 石巻市大街道南＊=1.2 石巻市雄勝町＊=1.2 気仙沼市赤岩=1.1 大崎市古川旭＊=1.1 大崎市松山＊=1.1 大崎市田尻＊=1.1 宮城加美町中新田＊=1.1 栗原市一迫＊=1.1 東松島市小野＊=1.1 東松島市矢本＊=1.1 大崎市鹿島台＊=1.0 栗原市鶯沢＊=1.0 岩沼市桜＊=1.0 仙台青葉区作並＊=1.0 石巻市鮎川浜＊=1.0 栗原市花山＊=1.0 登米市米山町＊=1.0 気仙沼市本吉町津谷＊=1.0 大崎市古川大崎=1.0 亘理町悠里＊=0.9 仙台青葉区大倉=0.9 栗原市瀬峰＊=0.9 登米市津山町＊=0.9 栗原市高清水＊=0.9 南三陸町志津川=0.8 栗原市金成＊=0.8 宮城美里町北浦＊=0.8 大崎市古川三日町=0.8 石巻市大瓜=0.7 名取市増田＊=0.7 石巻市前谷地＊=0.7 登米市迫町＊=0.7 女川町女川＊=0.7 宮城美里町木間塚＊=0.6 仙台宮城野区苦竹＊=0.6 仙台区将監＊=0.6 宮城川崎町前川＊=0.6 大郷町粕川＊=0.6 角田市角田＊=0.5 秋田県 1 仙北市西木町上桧木内＊=0.5 山形県 1 尾花沢市若葉町＊=0.7	38° 45.1' N	141° 34.9' E	75km	M: 4.1
111	26 23 13	島根県東部 鳥取県 2 米子市東町＊=1.5 1 境港市東本町=1.3 鳥取南部町天萬＊=1.2 米子市博労町=1.0 境港市竹内町＊=0.7 伯耆町吉長＊=0.7 日吉津村日吉津＊=0.6 島根県 2 安来市伯太町東母里＊=1.5 1 松江市東出雲町揖屋＊=1.4 松江市八雲町西岩坂＊=1.3 安来市広瀬町広瀬祖父谷丁＊=1.1 安来市安来町＊=0.8	35° 21.7' N	133° 14.9' E	11km	M: 3.0
112	27 02 04	和歌山県北部 和歌山県 1 有田川町清水＊=0.6	34° 05.0' N	135° 23.1' E	5km	M: 2.2
113	27 02 47	石川県能登地方 石川県 1 穴水町大町＊=0.9	37° 12.8' N	136° 54.1' E	5km	M: 1.5

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
114	27 14 13	豊後水道 愛媛県 高知県 1 宇和島市丸穂※=1.2 1 宿毛市桜町※=0.7	33° 11.9' N	132° 22.7' E	38km	M: 3.1
115	28 00 03	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原※=0.9	37° 03.3' N	139° 20.9' E	7km	M: 1.7
116	28 11 50	能登半島沖 石川県 2 志賀町香能※=2.0	37° 06.6' N	136° 38.6' E	8km	M: 3.0
117	28 17 57	日高地方東部 北海道 1 浦河町築地※=0.8 浦河町潮見=0.7	42° 14.3' N	142° 41.1' E	35km	M: 3.4
118	28 18 55	福島県沖 宮城県 2 亘理町悠里※=1.7 1 山元町浅生原※=1.3 石巻市桃生町※=1.3 岩沼市桜※=1.2 角田市角田※=1.2 名取市増田※=1.1 仙台北空港=1.0 宮城川崎町前川※=0.9 登米市南方町※=0.9 登米市米山町※=0.9 石巻市大街道南※=0.8 石巻市北上町※=0.8 蔵王町円田※=0.8 涌谷町新町裏=0.8 大崎市田尻※=0.8 栗原市一迫※=0.7 柴田町船岡=0.7 登米市迫町※=0.7 丸森町鳥屋※=0.7 栗原市志波姫※=0.6 丸森町上滝=0.6 大崎市古川大崎=0.6 登米市中田町=0.6 七ヶ宿町関※=0.6 大河原町新南※=0.6 栗原市築館※=0.6 大崎市古川三日町=0.5 栗原市高清水※=0.5 気仙沼市笹が陣※=0.5 気仙沼市赤岩=0.5 2 相馬市中村※=1.8 檜葉町北田※=1.8 大熊町大川原※=1.8 南相馬市原町区三島町=1.7 双葉町長塚※=1.5 浪江町幾世橋=1.5 新地町谷地小屋※=1.5 富岡町本岡※=1.5 1 国見町藤田※=1.4 田村市都路町※=1.4 福島伊達市保原町※=1.4 福島伊達市霊山町※=1.4 南相馬市原町区高見町※=1.4 田村市船引町=1.3 本宮市本宮※=1.3 飯館村伊丹沢※=1.3 南相馬市原町区本町※=1.3 田村市滝根町※=1.2 福島伊達市梁川町※=1.2 南相馬市鹿島区西町※=1.2 天栄村下松本※=1.1 葛尾村落合落合※=1.1 福島伊達市前川原※=1.1 二本松市油井※=1.1 田村市常葉町※=1.1 川俣町五百田※=1.0 いわき市三和町=1.0 福島広野町下北迫大谷地原※=1.0 川内村上川内早渡※=1.0 玉川村小高※=1.0 二本松市針道※=1.0 田村市大越町※=1.0 白河市新白河※=1.0 須賀川市岩瀬支所※=0.9 福島伊達市月館町※=0.9 本宮市白岩※=0.9 桑折町谷地※=0.9 福島市花園町=0.8 川内村下川内=0.8 大玉村南小屋=0.8 鏡石町不時沼※=0.8 南相馬市鹿島区栃窪=0.8 泉崎村泉崎※=0.8 二本松市金色※=0.8 南相馬市小高区※=0.8 大熊町野上※=0.7 小野町小野新町※=0.7 福島市桜木町※=0.7 須賀川市八幡山※=0.7 郡山市朝日=0.6 川内村上川内小山平※=0.6 白河市郭内=0.6 浅川町浅川※=0.6 棚倉町棚倉中居野=0.5 郡山市湖南町※=0.5 岩手県 1 一関市藤沢町※=0.7 一関市千厩町※=0.7 一関市室根町※=0.6	37° 42.0' N	141° 50.1' E	44km	M: 4.4
119	29 00 55	兵庫県南東部 兵庫県 1 西宮市平木※=0.5	34° 47.8' N	135° 19.3' E	9km	M: 2.5
120	29 02 02	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原※=0.9	37° 03.3' N	139° 20.8' E	7km	M: 2.1
121	29 06 14	石川県能登地方 石川県 1 輪島市鳳至町=1.0 穴水町大町※=0.6	37° 21.2' N	136° 53.2' E	10km	M: 3.1
122	29 08 22	浦河沖 北海道 1 新ひだか町三石旭町※=1.1 新ひだか町静内御幸町※=0.6 安平町追分柏が丘※=0.6 新ひだか町静内山手町=0.5	42° 06.7' N	142° 36.8' E	65km	M: 3.6
123	29 18 12	茨城県南部 茨城県 千葉県 1 茨城鹿嶋市鉢形=1.1 稲敷市江戸崎甲※=1.0 かすみがうら市大和田※=0.7 鉾田市汲上※=0.6 1 成田市名古屋=1.0 香取市仁良※=0.8 香取市役所※=0.7	35° 52.5' N	140° 16.6' E	43km	M: 3.0
124	29 20 59	能登半島沖 石川県 1 志賀町香能※=0.8	37° 06.5' N	136° 38.8' E	7km	M: 2.5
125	30 02 14	東海道南方沖 福島県 2 双葉町長塚※=1.6 1 玉川村小高※=1.4 いわき市三和町=1.4 田村市大越町※=1.3 浪江町幾世橋=1.3 南相馬市小高区※=1.2 大熊町大川原※=1.2 白河市東※=1.2 いわき市錦町※=1.1 田村市滝根町※=1.1 檜葉町北田※=1.0 川内村上川内早渡※=0.9 南相馬市鹿島区西町※=0.9 須賀川市八幡山※=0.9 福島広野町下北迫大谷地原※=0.8 田村市都路町※=0.8 浅川町浅川※=0.8 棚倉町棚倉中居野=0.8 田村市常葉町※=0.8 矢祭町東館※=0.7 大熊町野上※=0.7 石川町長久保※=0.7 白河市新白河※=0.7 福島市花園町=0.5 郡山市湖南町※=0.5 小野町中通※=0.5 田村市船引町=0.5 川内村上川内小山平※=0.5 いわき市小名浜=0.5 栃木県 2 宇都宮市明保野町=1.9 鹿沼市晃望台※=1.7 下野市笹原※=1.5 1 高根沢町石末※=1.4 下野市田中※=1.4 宇都宮市中岡本町※=1.3 栃木市岩舟町静※=1.3 益子町益子=1.3 真岡市石島※=1.2 壬生町壬生甲※=1.2 野木町丸林※=1.1 大田原市湯津上※=1.1 宇都宮市中里町※=1.1 栃木市藤岡町藤岡※=1.0 佐野市高砂町※=1.0 鹿沼市口栗野※=1.0 真岡市田町※=1.0 市貝町市塙※=0.9 芳賀町祖母井※=0.9 日光市芹沼※=0.9 栃木市旭町=0.9 栃木市大平町富田※=0.9 佐野市田沼町※=0.9 小山市神鳥谷※=0.9 小山市中央町※=0.9 真岡市荒町※=0.9 佐野市中町※=0.8 佐野市葛生東※=0.8 茂木町茂木※=0.7	32° 18.6' N	137° 47.2' E	405km	M: 5.5

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		東京都 日光市鬼怒川温泉大原＊=0.7 栃木那珂川町小川＊=0.7 宇都宮市埴田＊=0.6 2 東京千代田区大手町=1.8 1 東京荒川区東尾久＊=1.2 東京中央区勝どき＊=1.1 東京練馬区豊玉北＊=1.1 東京足立区神明南＊=1.1 東京江戸川区中央=1.1 東京渋谷区本町＊=1.0 東京北区西ヶ原＊=1.0 東京練馬区東大泉＊=1.0 調布市西つつじヶ丘＊=1.0 西東京市中町＊=1.0 東京港区海岸=0.9 東京文京区本郷＊=0.9 東京江東区森下＊=0.9 東京渋谷区宇田川町＊=0.9 東京中野区中野＊=0.9 東京足立区千住中居町＊=0.9 東京葛飾区立石＊=0.9 東京港区白金＊=0.8 東京品川区北品川＊=0.8 東京世田谷区三軒茶屋＊=0.8 東京荒川区荒川＊=0.8 東京江戸川区船堀＊=0.8 東京新宿区歌舞伎町＊=0.7 東京新宿区百人町＊=0.7 東京江東区青海=0.7 東京江東区枝川＊=0.7 東京品川区平塚＊=0.7 東京大田区多摩川＊=0.7 東京足立区伊興＊=0.7 東京千代田区富士見＊=0.7 東京杉並区高井戸＊=0.6 東京新宿区上落合＊=0.6 東京練馬区光が丘＊=0.6 東京文京区スポーツセンタ＊=0.6 東京文京区大塚＊=0.6 東京江戸川区鹿骨＊=0.6 国分寺市戸倉=0.6 東京国際空港=0.6 東京大田区本羽田＊=0.6 東京世田谷区成城＊=0.6 東京板橋区高島平＊=0.5 東京板橋区相生町＊=0.5 東京目黒区中央町＊=0.5 町田市忠生＊=0.5 東京港区芝公園＊=0.5 東京杉並区桃井＊=0.5 宮城県 1 松島町高城=1.1 岩沼市桜＊=1.0 大河原町新南＊=0.7 丸森町鳥屋＊=0.7 大崎市田尻＊=0.7 大崎市松山＊=0.6 茨城県 1 日立市助川小学校＊=1.4 日立市十王町友部＊=1.4 取手市井野＊=1.4 桜川市真壁＊=1.4 小美玉市上玉里＊=1.3 水戸市内原町＊=1.3 笠間市中央＊=1.3 茨城町小堤＊=1.3 小美玉市小川＊=1.2 小美玉市堅倉＊=1.2 茨城古河市下大野＊=1.2 石岡市若宮＊=1.2 筑西市舟生=1.2 桜川市羽田＊=1.2 石岡市石岡＊=1.1 常陸大宮市野口＊=1.1 坂東市岩井=1.1 桜川市岩瀬＊=1.1 北茨城市中郷町＊=1.1 つくばみらい市福田＊=1.1 土浦市常名=1.1 笠間市笠間＊=1.1 石岡市柿岡=1.1 笠間市下郷＊=1.0 石岡市八郷＊=1.0 土浦市藤沢＊=1.0 取手市寺田＊=1.0 高萩市安良川＊=0.9 東海村東海＊=0.9 常陸大宮市北町＊=0.9 つくば市小基＊=0.9 城里町石塚＊=0.9 筑西市門井＊=0.9 筑西市二本成＊=0.9 かすみがうら市上土田＊=0.9 城里町阿波山＊=0.8 ひたちなか市南神敷台＊=0.8 大子町池田＊=0.7 常陸大宮市山方＊=0.7 水戸市千波町＊=0.7 つくば市天王台＊=0.7 稲敷市江戸崎甲＊=0.6 水戸市金町=0.6 常陸太田市町屋町=0.6 常陸大宮市中富町=0.6 利根町布川=0.5 群馬県 1 渋川市赤城町＊=1.0 板倉町板倉=1.0 桐生市黒保根町＊=0.9 邑楽町中野＊=0.9 渋川市吹屋＊=0.8 大泉町日の出＊=0.8 沼田市白沢町＊=0.6 群馬明和町新里＊=0.5 千代田町赤岩＊=0.5 桐生市元宿町＊=0.5 館林市城町＊=0.5 埼玉県 1 加須市大利根＊=1.2 春日部市粕壁＊=1.2 春日部市谷原新田＊=1.2 宮代町笠原＊=1.2 熊谷市大里＊=1.1 さいたま大宮区天沼町＊=1.1 春日部市金崎＊=1.0 さいたま中央区下落合＊=1.0 さいたま緑区中尾＊=1.0 加須市騎西＊=0.9 久喜市下早見=0.9 越谷市越ヶ谷＊=0.9 三郷市中央＊=0.9 川島町下八ツ林＊=0.9 さいたま北区宮原＊=0.9 さいたま浦和区高砂=0.8 鴻巣市吹上富士見＊=0.8 川口市安行領家＊=0.8 狭山市入間川＊=0.8 草加市中央＊=0.8 富士見市鶴馬＊=0.8 幸手市東＊=0.8 吉川市きよみ野＊=0.8 志木市中宗岡＊=0.7 新座市野火止＊=0.7 桶川市泉＊=0.7 八潮市中央＊=0.7 加須市北川辺＊=0.7 さいたま大宮区大門＊=0.7 さいたま見沼区堀崎＊=0.7 吉見町下細谷＊=0.7 さいたま南区別所＊=0.7 白岡市千駄野＊=0.7 ふじみ野市福岡＊=0.6 上尾市本町＊=0.6 埼玉三芳町藤久保＊=0.6 久喜市青葉＊=0.6 蕨市中央＊=0.6 久喜市栗橋＊=0.6 和光市広沢＊=0.6 久喜市菖蒲＊=0.5 久喜市鷲宮＊=0.5 伊奈町中央＊=0.5 熊谷市妻沼＊=0.5 行田市南河原＊=0.5 鴻巣市中央＊=0.5 千葉県 1 市川市大町＊=1.3 市原市姉崎＊=1.3 印西市大森＊=1.3 木更津市富士見＊=1.2 千葉中央区中央港=1.1 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷＊=1.1 鴨川市八色=1.1 君津市久留里市場＊=1.1 南房総市岩糸＊=1.1 山武市蓮沼ニ＊=1.0 野田市鶴奉＊=1.0 浦安市日の出=1.0 白井市復＊=1.0 勝浦市墨名=1.0 鴨川市横渚＊=1.0 東金市日吉台＊=1.0 長南町総合グラウンド=0.9 千葉花見川区花島町＊=0.9 柏市柏＊=0.9 八千代市大和田新田＊=0.9 多古町多古=0.8 千葉美浜区ひび野=0.8 市川市本行徳＊=0.8 館山市長須賀=0.8 勝浦市新宮＊=0.8 一宮町一宮=0.7 山武市松尾町富士見台=0.7 東金市東新宿=0.6 香取市佐原平田=0.5 千葉美浜区稲毛海岸＊=0.5 神奈川県 1 横浜市中区山手町=1.4 横浜神奈川区神大寺＊=1.1 川崎川崎区宮前町＊=1.0 川崎宮前区宮前平＊=0.9 川崎中原区小杉町＊=0.8 川崎中原区小杉陣屋町=0.6 三浦市城山町＊=0.6 横須賀市光の丘=0.5				
126	30 06 11	広島県北部 35° 04.1' N 133° 06.3' E 8km M: 3.0 島根県 1 奥出雲町横田＊=0.6 広島県 1 庄原市西城町大佐＊=1.4 庄原市高野町＊=1.4				
127	30 11 54	山梨県中・西部 35° 43.6' N 138° 18.7' E 16km M: 3.9 山梨県 3 山梨北杜市長坂町＊=3.4 2 甲斐市下今井＊=2.3 甲斐市島上条＊=1.9 山梨北杜市武川町＊=1.9 南アルプス市榎原＊=1.9 韮崎市水神＊=1.8 山梨北杜市明野町＊=1.8 昭和町押越＊=1.7 山梨北杜市健康ランド須玉＊=1.7 南アルプス市芦安芦倉＊=1.7 南アルプス市寺部＊=1.6 南アルプス市飯野＊=1.6 山梨北杜市白州町＊=1.6 山梨北杜市大泉町＊=1.6 中央市臼井阿原＊=1.6 富士川町鯉沢＊=1.6 南アルプス市小笠原＊=1.6 甲府市相生＊=1.6 甲斐市篠原＊=1.5 南アルプス市鮎沢＊=1.5 1 山梨北杜市高根町＊=1.4 甲府市飯田=1.3 甲府市下曽根町＊=1.2 市川三郷町役場＊=1.2 富士河口湖町船津=1.2 山梨北杜市役所＊=1.1 甲府市古閑町＊=1.1 富士川町天神中条＊=1.1 甲州市役所＊=1.0 中央市大鳥居＊=1.0 市川三郷町六郷支所＊=1.0 笛吹市春日居町寺本＊=0.9 甲州市勝沼町勝沼＊=0.9 山梨北杜市小淵沢町＊=0.9 甲州市塩山上於曽＊=0.9 富士河口湖町役場＊=0.8 笛吹市境川町藤袋＊=0.8 市川三郷町上野＊=0.8 早川町葉袋＊=0.8 身延町大磯小磯=0.8 身延町役場＊=0.8 富士河口湖町長浜＊=0.7 早川町保＊=0.7 富士河口湖町本栖＊=0.7 笛吹市八代町南＊=0.7 長野県 2 大鹿村大河原＊=2.0 長野高森町下市田＊=1.8 中川村大草＊=1.5 1 飯島町飯島=1.2 豊丘村神稲＊=1.2 飯田市高羽町=1.1 飯田市上郷黒田＊=1.1 伊那市高遠町荊口=1.1 長野川上村大深山＊=1.0 泰阜村役場＊=1.0 喬木村役場＊=1.0 小海町豊里＊=0.9 長野南牧村海ノ口＊=0.9 飯田市南信濃＊=0.7 根羽村役場＊=0.6 売木村役場＊=0.6 駒ヶ根市赤須町＊=0.6 宮田村役場＊=0.6 飯田市大久保町＊=0.5				

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時刻 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		埼玉県 岐阜県 静岡県 秩父市中津川*≒1.2 恵那市上矢作町*≒0.7 富士市大淵*≒1.1 静岡葵区梅ヶ島*≒0.8 富士宮市弓沢町=0.5				
128	30 20 42	宮城県沖 岩手県 38° 45.1' N 141° 33.2' E 58km M: 3.2 1 住田町世田米*≒0.6				
129	31 00 46	高知県中部 高知県 33° 46.5' N 133° 29.1' E 3km M: 2.8 2 土佐町土居*≒2.1 1 大川村小松*≒1.3 本山町本山*≒1.0				
130	31 01 06	長野県南部 長野県 35° 52.2' N 137° 37.9' E 8km M: 2.2 1 木曽町新開*≒0.6				
131	31 01 58	静岡県西部 長野県 静岡県 愛知県 山梨県 岐阜県 34° 55.3' N 137° 51.8' E 36km M: 4.1 2 根羽村役場*≒1.6 1 壳木村役場*≒0.9 飯田市上郷黒田*≒0.6 飯田市高羽町=0.6 中川村大草*≒0.5 2 牧之原市静波*≒2.1 牧之原市鬼女新田=1.8 静岡菊川市赤土*≒1.8 掛川市西大淵*≒1.7 掛川市長谷*≒1.6 浜松天竜区佐久間町*≒1.5 静岡森町森*≒1.5 1 磐田市福田*≒1.4 掛川市三俣*≒1.4 湖西市新居町浜名*≒1.4 袋井市浅名*≒1.3 湖西市吉美*≒1.3 浜松天竜区春野町*≒1.3 浜松天竜区二俣町鹿島*≒1.1 浜松中央区雄踏*≒1.1 焼津市宗高*≒1.1 浜松浜名区三ヶ日町=1.0 浜松天竜区龍山町*≒1.0 吉田町住吉*≒0.9 浜松中央区江之島町*≒0.9 静岡葵区梅ヶ島*≒0.9 磐田市下野部*≒0.9 掛川市篠場=0.9 袋井市新屋=0.9 島田市元島田=0.9 藤枝市岡出山*≒0.9 静岡菊川市堀之内*≒0.9 浜松中央区元城町*≒0.9 藤枝市岡部町岡部*≒0.8 島田市金谷代官町*≒0.8 島田市川根町家山=0.8 富士市吉永*≒0.8 浜松浜名区西美園*≒0.8 浜松中央区舞阪町*≒0.7 磐田市国府台*≒0.7 磐田市岡*≒0.7 静岡駿河区曲金=0.7 御前崎市池新田*≒0.7 焼津市石津*≒0.7 浜松中央区高丘東=0.7 浜松中央区三組町*≒0.7 川根本町東藤川*≒0.7 富士宮市野中*≒0.6 浜松天竜区水窪町*≒0.5 2 新城市作手高里松風呂*≒1.6 豊田市長興寺*≒1.5 1 新城市東入船*≒1.3 豊根村富山*≒1.3 豊田市坂上町*≒1.3 新城市作手清岳=1.1 新城市作手高里縄手上*≒1.0 田原市田原町*≒1.0 豊田市大沼町*≒1.0 豊根村下黒川*≒0.9 豊田市小坂町*≒0.9 豊橋市向山=0.8 豊田市大洞町=0.8 蒲郡市御幸町*≒0.8 豊田市小渡町*≒0.8 新城市乗本=0.7 田原市赤羽根町*≒0.7 豊川市赤坂町*≒0.7 幸田町菱池*≒0.7 愛知みよし市三好町*≒0.7 蒲郡市水竹町*≒0.6 岡崎市榎山町*≒0.6 豊田市藤岡飯野町*≒0.6 豊川市一宮町*≒0.6 西尾市矢曾根町*≒0.6 東郷町春木*≒0.6 豊川市御津町*≒0.6 瀬戸市追分町*≒0.5 豊田市足助町*≒0.5 豊田市小坂本町=0.5 1 富士川町鯉沢*≒1.1 山梨南部町栄小学校*≒0.9 身延町役場*≒0.9 富士河口湖町船津=0.6 富士河口湖町長浜*≒0.5 1 恵那市上矢作町*≒1.3 中津川市本町*≒0.7 恵那市岩村町*≒0.6 恵那市明智町*≒0.5				
132	31 04 46	熊本県熊本地方 熊本県 鹿児島県 32° 35.0' N 130° 38.8' E 13km M: 4.7 4 八代市千丁町*≒4.1 八代市平山新町=3.9 宇城市豊野町*≒3.9 上天草市姫戸町*≒3.7 八代市新地町*≒3.5 3 宇土市浦田町*≒3.4 宇城市不知火町*≒3.4 上天草市大矢野町=3.4 芦北町田浦町*≒3.3 八代市鏡町*≒3.3 宇城市三角町*≒3.1 上天草市龍ヶ岳町*≒3.1 上天草市松島町*≒3.1 八代市泉支所*≒3.1 宇城市松橋町=3.1 熊本美里町永富*≒3.0 天草市牛深町=3.0 熊本南区富合町*≒3.0 熊本美里町馬場*≒2.9 西原村小森*≒2.9 熊本南区城南町*≒2.9 水俣市牧ノ内*≒2.9 芦北町芦北=2.9 氷川町島地*≒2.8 八代市坂本町*≒2.8 御船町御船*≒2.8 球磨村渡*≒2.8 甲佐町豊内*≒2.8 天草市倉岳町*≒2.8 天草市五和町*≒2.8 水俣市陣内*≒2.8 八代市東陽町*≒2.8 宇城市小川町*≒2.7 天草市河浦町*≒2.7 津奈木町小津奈木*≒2.7 氷川町宮原*≒2.6 嘉島町上島*≒2.6 八代市泉町=2.6 あさぎり町須恵*≒2.5 2 熊本西区春日=2.4 天草市有明町*≒2.4 天草市御所浦町*≒2.3 天草市栖本町*≒2.3 熊本高森町高森*≒2.3 山都町浜町*≒2.3 五木村甲*≒2.2 益城町宮園*≒2.1 熊本北区植木町*≒2.1 人吉市蟹作町*≒2.1 南阿蘇村吉田*≒2.1 苓北町志岐*≒2.1 天草市天草町*≒2.1 合志市竹迫*≒2.0 南阿蘇村河陽*≒2.0 天草市新和町*≒2.0 あさぎり町岡原*≒2.0 人吉市西間下町=1.9 湯前町役場*≒1.8 大津町大津*≒1.8 阿蘇市内牧*≒1.8 南阿蘇村河陰*≒1.8 多良木町上球磨消防署*≒1.7 熊本東区佐土原*≒1.7 相良村深水*≒1.7 山鹿市鹿央町*≒1.7 山都町今*≒1.7 天草市本渡町本渡*≒1.7 熊本中央区大江*≒1.7 多良木町多良木=1.7 山江村山田*≒1.6 天草市本町=1.6 水上村岩野*≒1.6 錦町一武*≒1.6 菊池市旭志*≒1.6 菊陽町久保田*≒1.5 あさぎり町深田*≒1.5 玉名市天水町*≒1.5 山鹿市鹿本町*≒1.5 1 玉名市横島町*≒1.4 山鹿市菊鹿町*≒1.4 大津町引水*≒1.4 和水町江田*≒1.4 菊池市隈府*≒1.3 合志市御代志*≒1.3 南阿蘇村中松=1.3 山都町大平*≒1.2 あさぎり町上*≒1.2 長洲町長洲*≒1.2 産山村山鹿*≒1.1 玉名市中尾*≒1.1 山鹿市鹿北町*≒1.1 菊池市七城町*≒1.1 玉名市岱明町*≒1.0 山鹿市老人福祉センター*≒1.0 菊池市泗水町*≒1.0 南関町関町*≒1.0 南小国町赤馬場*≒0.9 阿蘇市波野*≒0.9 荒尾市宮内出目*≒0.8 熊本小国町宮原*≒0.6 玉名市築地=0.6 4 長島町伊唐島*≒3.5 3 長島町鷹巣*≒3.4 長島町獅子島*≒3.4 鹿児島出水市高尾野町*≒2.7 鹿児島出水市野田町*≒2.6 長島町指江*≒2.6 伊佐市大口山野=2.6 鹿児島出水市緑町*≒2.5 2 阿久根市鶴見町*≒2.4 薩摩川内市中郷=2.4 薩摩川内市東郷町*≒2.4 さつま町宮之城保健センタ*≒2.4 伊佐市大口鳥巢*≒2.4 阿久根市赤瀬川=2.2 薩摩川内市神田町*≒2.2 薩摩川内市入来町*≒2.1 薩摩川内市祁答院町*≒2.0 伊佐市菱刈前目*≒2.0 薩摩川内市樋脇町*≒1.9 霧島市横川町中ノ*≒1.9 薩摩川内市上飯町*≒1.9 さつま町神子*≒1.8 湧水町吉松*≒1.7 いちき串木野市緑町*≒1.7 さつま町宮之城屋地=1.6 薩摩川内市鹿島町*≒1.6				

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 枕崎市高見町=1.4 南さつま市大浦町*=1.4 湧水町栗野*=1.3 いちき串木野市湊町*=1.3 鹿児島空港=1.3 鹿児島市本城*=1.2 鹿児島市上谷口*=1.2 始良市加治木町本町*=1.1 始良市宮島町*=1.1 さつま町求名*=1.0 日置市伊集院町郡*=1.0 南さつま市金峰町尾下*=1.0 薩摩川内市里町*=1.0 霧島市国分中央*=0.9 鹿児島市下福元=0.9 日置市吹上町中原*=0.8 南九州市川辺町平山*=0.8 鹿児島市東郡元=0.7 鹿児島市喜入町*=0.7 鹿児島市郡山*=0.7 南さつま市笠沙町片浦*=0.6 枕崎市若葉町*=0.6 薩摩川内市下甌町手打*=0.6 南さつま市加世田川畑*=0.5 薩摩川内市下甌町青瀬=0.5 長崎県 3 南島原市北有馬町*=3.0 南島原市加津佐町*=2.9 南島原市口之津町*=2.7 南島原市布津町*=2.7 雲仙市小浜町雲仙=2.6 2 南島原市有家町*=2.4 雲仙市小浜町北本町*=2.3 雲仙市南串山町*=2.3 南島原市西有家町*=2.3 南島原市深江町*=2.2 諫早市多良見町*=2.2 南島原市南有馬町*=2.0 雲仙市雲仙出張所*=2.0 島原市有明町*=1.8 時津町浦*=1.8 雲仙市国見町=1.7 長崎市元町*=1.6 島原市下折橋町*=1.6 福岡県 1 長崎市布巻町*=1.4 諫早市飯盛町*=1.4 大村市玖島*=1.4 諫早市森山町*=1.3 雲仙市千々石町*=1.3 雲仙市愛野町*=1.3 佐世保市鹿町町*=1.2 長崎市神浦江川町*=1.2 雲仙市瑞穂町*=1.1 諫早市堂崎町*=1.0 雲仙市吾妻町*=1.0 川棚町中組*=1.0 諫早市東小路町=0.9 諫早市高来町*=0.9 松浦市志佐町*=0.8 平戸市志々伎町*=0.8 東彼杵町蔵本*=0.7 長崎市南山手=0.7 長与町嬉里*=0.7 平戸市岩の上町=0.6 平戸市鏡川町*=0.6 2 みやま市高田町*=1.7 柳川市本町*=1.5 1 大牟田市昭和町*=1.4 柳川市三橋町*=1.4 八女市矢部村*=1.4 大川市酒見*=1.4 みやこ町犀川本庄*=1.3 筑前町下高場=1.3 筑前町篠隈*=1.3 行橋市今井*=1.2 みやま市瀬高町*=1.2 柳川市大和町*=1.2 朝倉市杷木池田*=1.1 八女市吉田*=1.0 嘉麻市大隈町*=1.0 久留米市津福本町=0.9 久留米市北野町*=0.9 大任町大行事*=0.9 八女市黒木町今*=0.8 みやま市山川町*=0.8 みやこ町勝山上田*=0.7 大牟田市笹林=0.7 八女市黒木町北木屋=0.6 久留米市三潞町*=0.5 八女市立花町*=0.5 朝倉市堤*=0.5 朝倉市宮野*=0.5 筑後市山ノ井*=0.5 福岡空港=0.5 佐賀県 2 白石町有明*=1.9 小城市芦刈*=1.6 佐賀市川副*=1.5 白石町福富*=1.5 1 白石町福田*=1.4 太良町多良=1.3 佐賀市久保田*=1.3 唐津市相知*=1.1 佐賀市東与賀*=1.1 嬉野市下宿乙*=1.1 江北町山口*=1.1 嬉野市塩田*=1.0 佐賀鹿島市納富分*=1.0 神埼市千代田*=1.0 上峰町坊所*=1.0 佐賀市三瀬*=1.0 小城市牛津*=0.9 佐賀市駅前中央=0.8 佐賀市栄町*=0.8 小城市三日月*=0.7 多久市北多久町*=0.7 唐津市西城内=0.5 唐津市竹木場*=0.5 大分県 2 竹田市荻町*=1.7 日田市前津江町*=1.5 1 佐伯市春日町*=1.2 日田市田島*=1.1 九重町後野上*=1.1 竹田市会々*=0.9 中津市植野*=0.8 佐伯市蒲江蒲江浦=0.8 日田市三本松=0.8 中津市耶馬溪町*=0.7 日田市上津江町*=0.7 日田市大山町*=0.6 津久見市宮本町*=0.6 豊後大野市三重町=0.6 日田市中津江村栃野*=0.6 中津市上宮永=0.5 豊後大野市緒方町*=0.5 宮崎県 2 宮崎美郷町田代*=2.3 椎葉村総合運動公園*=2.2 宮崎市高岡町内山*=2.2 椎葉村下福良*=2.1 西都市上の宮*=2.0 西都市聖陵町*=1.9 小林市真方=1.8 宮崎都農町役場*=1.8 川南町川南*=1.7 国富町本庄*=1.7 宮崎市霧島=1.6 延岡市北川町川内名白石*=1.6 小林市野尻町東麓*=1.6 宮崎市松橋*=1.5 高鍋町上江*=1.5 えびの市加久藤*=1.5 高千穂町三田井=1.5 1 延岡市北方町総合支所*=1.4 日向市東郷町山陰*=1.4 高原町西麓*=1.4 門川町平城東*=1.3 高千穂町寺迫*=1.3 宮崎市田野町体育館*=1.3 宮崎市佐土原町下田島*=1.3 小林市中原*=1.3 綾町南俣健康センター*=1.2 小林市役所*=1.2 木城町高城*=1.1 諸塚村家代*=1.1 綾町役場*=1.1 日向市大王谷運動公園=1.1 新富町上富田=1.1 都城市山之口町花木*=1.0 日之影町七折*=1.0 五ヶ瀬町三ヶ所*=1.0 宮崎市田野支所*=0.9 日南市南郷町南町*=0.9 延岡市北浦町古江*=0.8 宮崎市清武町船引*=0.8 西米良村板谷*=0.8 延岡市天神小路=0.7 宮崎美郷町宇納間*=0.7 日向市亀崎=0.7 宮崎都農町川北=0.7 都城市菖蒲原=0.7 都城市高城町穂満坊*=0.7 三股町五本松*=0.7 延岡市北川町総合支所*=0.6 宮崎美郷町神門*=0.6 延岡市北方総合運動公園=0.5 山口県 1 防府市西浦*=0.9 山陽小野田市日の出*=0.7 下関市清末陣屋*=0.5				
133	31 13 23	根室地方北部 北海道	43° 40.5' N	145° 06.1' E	140km	M: 3.4
		1 根室市厚床*=0.7				

● 付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数 〈令和5年（2023年）6月～令和6年（2024年）5月〉

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
令和5年（2023年）											
6月	106	48	14	2	1					171	11日 苫小牧沖（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （6月中：震度3：1回、震度2：7回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震12回を含む） トカラ列島近海の地震活動 （6月中：震度4：1回、震度3：1回、震度2：7回、震度1：22回）
7月	87	33	7	2						129	石川県能登地方の地震活動 （7月中：震度3：2回、震度2：3回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震6回を含む）
8月	82	29	10	1						122	石川県能登地方の地震活動 （8月中：震度2：1回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震4回、富山湾で発生した地震1回を含む） トカラ列島近海の地震活動 （8月中：震度2：1回、震度1：10回）
9月	323	111	33	4						471	石川県能登地方の地震活動 （9月中：震度3：1回、震度2：4回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震5回を含む） トカラ列島近海（小宝島付近）の地震活動 （9月中：震度4：2回、震度3：25回、震度2：82回、震度1：237回）
10月	105	34	9	1						149	石川県能登地方の地震活動 （10月中：震度2：2回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震5回及び富山湾で発生した地震1回を含む）
11月	105	34	9	4						152	トカラ列島近海（口之島・中之島付近）の地震活動 （11月中：震度4：1回、震度3：3回、震度2：2回、震度1：15回）
12月	108	35	7							150	トカラ列島近海の地震活動 （12月中：震度3：1回、震度2：3回、震度1：11回）
令和6年（2024年）											
1月※	1024	425	164	47	7	8	2		1	1678	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （1月中：震度7：1回、震度6弱：2回、震度5強：8回、震度5弱：7回、震度4：45回、震度3：159回、震度2：395回、震度1：941回）
2月	189	64	23	7						283	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （2月中：震度4：3回、震度3：12回、震度2：34回、震度1：95回） 千葉県東方沖の地震活動 （2月中：震度4：1回、震度3：3回、震度2：3回、震度1：6回）
3月	122	58	16	8	2					206	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （3月中：震度3：4回、震度2：17回、震度1：49回） 千葉県東方沖の地震活動 （3月中：震度4：3回、震度3：4回、震度2：12回、震度1：16回）
4月	160	56	20	4	2		1			243	2日 岩手県沿岸北部（震度5弱） 8日 大隅半島東方沖（震度5弱） 17日 豊後水道（震度6弱） （4月中：震度6弱：1回、震度4：1回、震度3：2回、震度2：15回、震度1：47回） 「令和6年能登半島地震」の地震活動 （4月中：震度3：4回、震度2：9回、震度1：32回）
5月	86	33	12	2						133	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （5月中：震度3：2回、震度2：6回、震度1：20回） 豊後水道の地震活動 （5月中：震度3：2回、震度2：1回、震度1：10回）
2024年計	1581	636	235	68	11	8	3	0	1	2543	
過去1年計	2497	960	324	82	12	8	3	0	1	3887	（令和5年6月～令和6年5月）

※ 2024年1月中の回数は、後日の調査で変更する場合がある。

注）「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数
 <令和5年（2023年）6月～令和6年（2024年）5月>

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
令和5年（2023年）								
6月	335	78	12	2		427	92	11日 苫小牧沖 (M6.2) 28日 日本海北部 (M6.3)
7月	296	66	11			373	77	
8月	354	66	7	2		429	75	11日 青森県東方沖 (M6.2) 25日 三陸沖 (M6.0)
9月	496	76	12	3		587	91	18日 宮古島北西沖 (M6.5) 19日 鳥島近海 (M6.1) 29日 択捉島南東沖 (M6.2)
10月	416	161	29	5		611	195	3日 鳥島近海 (M6.4) 4日 鳥島近海 (M6.2) 5日 鳥島近海 (M6.5) 6日 鳥島近海 (M6.0) 16日 宮古島近海 (M6.0)
11月	333	62	7		1	403	70	24日 マリアナ諸島 (M7.5)
12月	351	83	5	1		440	89	28日 択捉島南東沖 (M6.6)
令和6年（2024年）								
1月	1488	255	22	2	1	1768	280	1日16時10分 石川県能登地方 (M7.6) 1日16時18分 石川県能登地方 (M6.1) 9日 佐渡付近 (M6.1)
2月	466	77	14	1		558	92	12日 硫黄島近海 (M6.5)
3月	329	69	8			406	77	
4月	908	217	41	13	1	1180	272	2日 岩手県沿岸北部 (M6.0) 3日08時58分 台湾付近 (M7.7) 3日09時11分 台湾付近 (M6.6) 3日09時35分 台湾付近 (M6.3) 3日10時39分 台湾付近 (M6.0) 3日11時14分 台湾付近 (M6.0) 4日 福島県沖 (M6.3) 17日 豊後水道 (M6.6) 22日 台湾付近 (M6.2) 23日03時26分 台湾付近 (M6.7) 23日03時32分 台湾付近 (M6.5) 23日05時49分 台湾付近 (M6.0) 23日09時04分 台湾付近 (M6.3) 27日 小笠原諸島西方沖 (M6.7)
5月	430	82	5	1		518	88	10日 台湾付近 (M6.5)
2024年計	3621	700	90	17	2	4430	809	
過去1年計	6202	1292	173	30	3	7700	1498	(令和5年6月～令和6年5月)

注) 日本及びその周辺: 原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和6年5月に長周期地震動階級※1以上を観測した地震はなかった。

平成25年3月～令和6年5月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成31年 /令和元年 (2019年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和2年 (2020年)	1	1	1	1	0	2	0	0	2	0	1	2	11
令和3年 (2021年)	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6
令和4年 (2022年)	2	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	8
令和5年 (2023年)	0	1	1	0	5	1	0	1	2	0	0	0	11
令和6年 (2024年)	15	0	1	4	0								20

長周期地震動階級関連解説表

	長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
	長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
	長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
	長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
	長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和5年12月号の付録10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

https://www.data.jma.go.jp/egev/data/gaikyo/monthly/202312/202312furoku_10.pdf

● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和6年5月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は54回であった。

平成19年10月～令和6年5月に発表した緊急地震速報の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年 (2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年 (2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年 (2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年 (2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年 (2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年 /令和元年 (2019年)	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)	0(59)	1(56)	0(50)	0(72)	0(56)	2(68)	8(763)
令和2年 (2020年)	1(60)	1(54)	1(60)	2(76)	4(74)	1(96)	2(59)	0(46)	1(67)	0(42)	1(43)	3(77)	17(754)
令和3年 (2021年)	0(62)	1(90)	1(75)	0(74)	1(79)	0(52)	0(80)	0(80)	1(60)	3(56)	2(60)	2(92)	11(860)
令和4年 (2022年)	2(81)	0(63)	6(150)	0(74)	2(83)	2(78)	0(49)	1(64)	0(68)	1(65)	1(66)	0(72)	15(913)
令和5年 (2023年)	1(59)	1(45)	0(56)	0(70)	12(155)	1(74)	0(49)	0(51)	1(82)	1(60)	0(61)	0(62)	17(824)
令和6年 (2024年)	20(376)	2(104)	2(82)	4(90)	0(54)								28(706)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（ ）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。